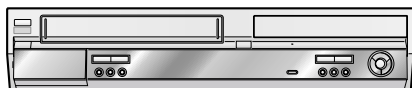
Panasonic®

取扱説明書

DVDビデオレコーダー

品番 DMR-E250V

DIGA ディーガ

上手に使って上手に節電

バージョンアップなどのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。
インターネットまたは郵送での登録が可能です。詳しくは、同梱の「ユーザー登録カード」をご覧ください。

保証書別添付

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/dvd/

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

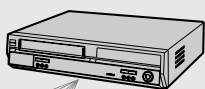
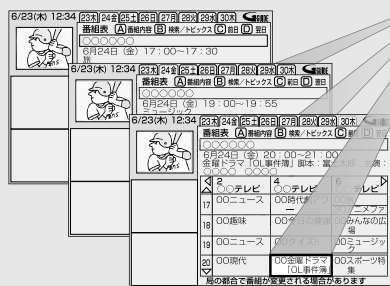
このたびはパナソニックDVDビデオレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(6～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0L34

目的別ページ 早わかり

本機1台で、HDD、DVD、VHSの3つが楽しめます。

画面から番組を選んで、簡単に録画予約したい

番組表(テレビ番組ガイド)予約

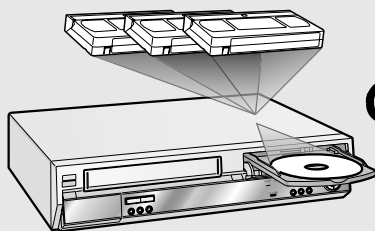
HDD/DVD→42
VHS→76

HDDまたはDVDとVHSで、異なる番組を同時に録画したい

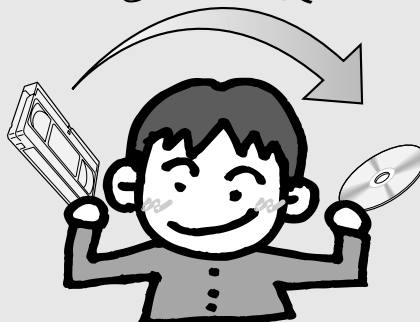
2チャンネル同時録画

HDD/DVD→38
VHS→74

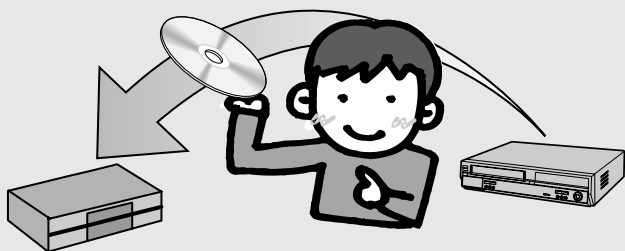
録りためたビデオテープをHDDでまとめて編集したい お気に入りだけをDVDに残したい

ビデオテープからHDDやDVDへ、
またHDDからDVDやVHSへ、
それぞれ双方向にワンタッチでダビングができます。

ワンタッチ6wayダビング

→88,92,96,100,104,108

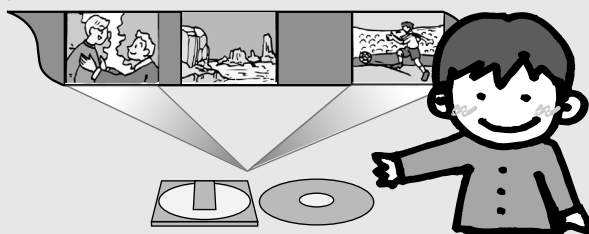
S-VHS(ET)方式のテープをそのまま高画質でダビングしたい

S-VHSダビング設定

→66,99

録画したDVD-Rを他のプレーヤーで再生したい

ファイナライズ

→58

お気に入りの番組だけをディスクに高速でダビングしたい

DVD-Rに高速モードでダビングするには、
HDDに録画する前に「DVD-R高速モード用録画」を
「入」に設定します。

DVD-R高速モード用録画→65
HDDからDVDへダビング→88

付属品

さらに、HDD/DVDだから…

高画質・高音質

大切な映像をHDD/DVDに高画質・高音質で録画できます。
また、プログレッシブ対応テレビと接続すれば、従来のテレビ(インターレース方式)と比べて、さらに高密度でちらつきのない映像を楽しめます。

プログレッシブ出力 ➜22

下記のフォーマットで記録されたディスクを視聴できます。詳しくは(➜12)
●DVD-Video●DVD-R●DVD-RAM●DVD-Audio●ビデオCD
●音楽用CD　●CD-R/RW(CD-DA、ビデオCD、MP3)

早送り/巻き戻し不要

自動的に未収録部分を探して録画します。また、見たい映像をすぐに再生する機能も充実しています。

録画中の番組を録画終了を待たずに最初から再生するには

追っかけ再生 ➜48

HDDやディスク内のすでに録画済みの部分を録画中の画面と同時に再生するには

タイムワープ ➜48

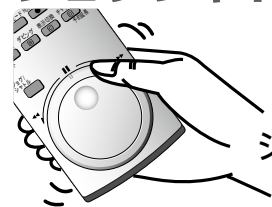
録画した番組の編集も簡単

録画した番組のリストから、番組をすばやく選んで再生/編集できます。

プログラムナビ ➜49,52

お好みのシーンだけを集めて自分だけの場面集を作ることができます。

プレイリスト ➜54

ジョグシャトルリモコン

コマ送りやスロー再生など、再生の速度を変えながらお好みのシーンを探すことができます。

ジョグダイヤル/シャトルリング機能 ➜17,37,73

VHSでも…

CMを自動的に早送り

番組がモノラルまたは二重音声で、CMがステレオのときに働きます。

自動CM早送り再生 ➜72

HDD/DVD側でも同様に、自動CM早送り再生することができます。(➜63)

長時間録画

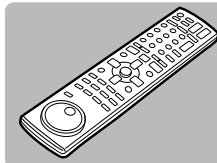
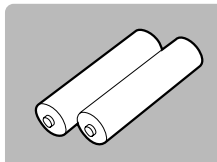
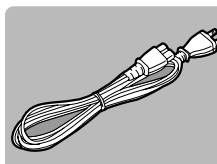
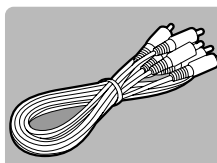
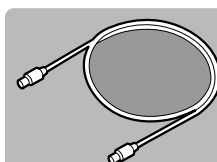
例えば、120分カセットに約10時間の録画ができます。

5倍モード録画 ➜74

かんたん操作で録画内容消去

カセットに録画されている内容を一度にすべて消去することができます。

テープリフレッシュ ➜83

- 下記の部品が入っているか確かめてください。
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。
(以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品・別売品の品番は、2004年8月現在のものです。

リモコン
(➜16)
EUR7632X30

リモコン用乾電池(2本)
(➜17)
単3形乾電池(R6P)

電源コード
(➜20)
VJA0536T

映像・音声コード
(➜20)
K2KA6CA00001

75Ω同軸ケーブル
(➜20)
VJA1125

本書内の表現について

- 参照していただくページを(➜○○)で示しています。
- 内蔵ハードディスク部分を「**HDD**」、ディスク部分を「**DVD**」、ビデオ部分を「**VHS**」として、主に説明しています。

もくじ

はじめに

使用前

HDD・DVD

見る/聞く

録る

VHS

見る

録る

その他

ダビング

ご自分で設置される方は…**お使いになる前に、以下の項目を必ず行ってください**

便利機能

便利機能

ご参考

使用前 見る/聞く 録る 便利機能 見る 録る 便利機能 ダビング ご参考

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コード・プラグについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

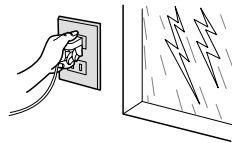
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

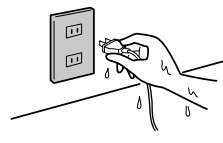
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

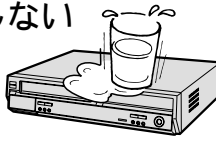
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

●内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

異常時について

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

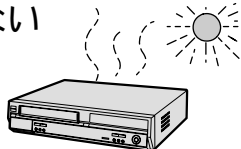
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

●販売店にご相談ください。

※本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

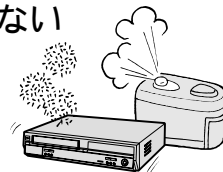
⚠注意

設置・接続について

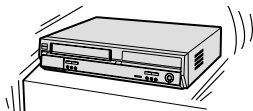
異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
●後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因となることがあります。
●設置・工事は販売店にご相談ください。

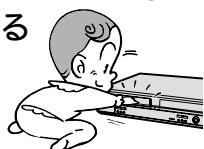
乾電池について

電池は誤った使いかたをしない

・⊕と⊖は逆に入れない
・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
・乾電池は充電しない
・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
・被覆のはがれた電池は使わない
・乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
●長期間使わないときは、取り出しておいてください。
●万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ご使用について

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意 けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
●ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

接続するときは、すべての機器の電源を切ってから接続してください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

- 本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
  このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
  DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
  別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

- 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
- 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
- **他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

使わないとき

- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約4.0ワット(時刻表示消灯時は約1.0ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1カ月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

お手入れについて

■ キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■ 汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■ 録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用していると、録画/再生用レンズにほこりなどが付着して正常に録画・再生できなくなる場合があります。
使用環境や使用回数にもよりますが、DVD-RAM/PDレンズクリーナー(別売)(➜128)で約1年に一度、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングのしかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

著作権について

■ 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。

Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社は、テレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

本機はMP3形式で記録されたディスクを再生できます。
MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。

本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

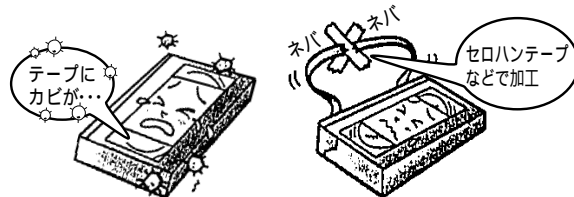
この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
お問い合わせ先：(社)私的録画補償金管理協会
☎ 03-3560-3107(代)

カセットについて

■ 品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
  ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  ・テープがたるんでいる
- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)**(➜128)**でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

・ほこりの多いところ
・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
・温度差が激しいところ
・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
・湯気や油煙の出るところ
・冷暖房機器に近いところ
・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

「露付き」について

「露付き」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
  このような現象を「露付き」といいます。

- ビデオヘッドやカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- HDD内部に「露付き」が起こると、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  ・梅雨の時期
  ・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
  ・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
  ・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
  ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

HDDについて

種　類	特　長	本書でのマーク
ハードディスク 内蔵HDD 160 GB	**一時的録画用** ● 最大約284時間録画できます。(EP(8H)モード時(**➜41**)) ● 追っかけ再生(**➜48**)ができます。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送が録画できます。 デジタルハイビジョン画質での録画はできません。録画した番組は、「CPRM」(**➜14,115**)対応のDVD-RAMへ移動できます。(HDDからは消去されます)	HDD

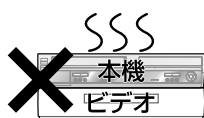
HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。大切な映像の保存のためにも、DVDディスクあるいはカセット(テープ)へのダビングを前提のうえでお使いください。

■ HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です。
- 設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■ HDDは一時的な保管場所です。
- HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■ HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)してください。
- HDD内に不具合箇所があると、異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングしてください。
  HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

重要なお願い

■ 設置するとき
- **後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオなどの熱源となるものの上に置かない**

- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「露付き」が起こりにくい場所に設置する(**➜左ページ**)

■ たばこの煙などは故障の原因になります
たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■ 動作中
- 振動や衝撃を与えない(HDDが破損することがあります)
- 電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない

通電中、HDDは高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■ 移動するとき
① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

■ HDDの記録時間の残量について
HDDへの録画は、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式：VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。残量表示が少ないときは、あらかじめ不要な番組(タイトル)を消去し、余裕がある状態で録画してください。(プレイリストを消去しても残量は増えません)

■ 本体表示窓に「HDD SLP(SLEEP)**」が表示されたとき**
HDDが自動的に休止状態になっています。(通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で30分以上操作しないと休止します)
- **[HDD]ボタン**を押すと起動します。
- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。
- HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

ディスクについて

■ 録画できるディスク(12 cm/8 cm)

種　類	特　長	ディスクのロゴマーク	本書でのマーク
ディーブイディー ラム **DVD-RAM** ・4.7 GB/9.4 GB (12 ㎝) ・4.7 GB (12 ㎝) Ver. 2.1/ 3X- SPEED DVD-RAM Revision 1.0 ・2.8 GB (8 ㎝)	**保存用(繰り返し使用可能)** ● 最大約16時間録画できます。(両面ディスクでEP(8H)モード時(➜41)。両面への連続録画・再生はできません) ● 追っかけ再生ができます。(➜48) ● 傷やほこりに強いカートリッジ付きや、大容量(9.4 GB)の両面型もあります。 ● 著作権保護技術「CPRM」(➜14,115)に対応したディスクでは、「1回だけ録画可能」のデジタル放送が録画できます。(デジタルハイビジョン画質での録画はできません。録画した番組はダビングできません) ● 高速記録対応のディスクを使うと、HDDから最大24倍速でダビングできます。(➜87) ● **本機で録画したDVD-RAMは、互換性のない機器では再生できません。**	DVD RAM RAM4.7	RAM
ディーブイディー アール **DVD-R** ・4.7 GB (12 ㎝)/ 1.4 GB (8 ㎝) for General Ver. 2.0 ・4.7 GB (12 ㎝) for General Ver. 2.0/ 4X- SPEED DVD-R Revision 1.0	**保存用(1回のみ)**(ディスクがいっぱいになるまで追記可能) ● 最大約8時間録画できます。(EP(8H)モード時(➜41)) ● ファイナライズ(➜58,115)すると、DVDビデオ(再生専用)としてDVDプレーヤーなどで再生できます。 ● すでに録画や編集をした部分には、書き換えや編集はできません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は録画できません。 ● 高速記録対応のディスクを使うと、HDDから最大32倍速でダビングできます。(➜87)	DVD R R4.7	ファイナライズ前は DVD-R ファイナライズ後は DVD-V

ディスクは、本機との相性が確認されている当社製のものをおすすめします
- 当社製以外のDVD-Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/dvd/)

■ 再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

種　類	特　長	ディスクのロゴマーク	本書でのマーク
DVDオーディオ	**高音質の音楽用市販ソフト** ● 本機では2チャンネルで再生されます。	DVD AUDIO	DVD-A
DVDビデオ	**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ● 本機では右のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」または「ALL」を含むもの 例) 2 ALL 1 2 4 ・番号は地域ごとに違います。	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD-V
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-R、CD-RWを含む※)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-DAフォーマット CD
	MP3圧縮形式(➜36)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※	—	MP3フォーマット MP3
ビデオCD (VCD)	**音楽や映像が記録された市販ソフト**(CD-R、CD-RWを含む※)	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VCDフォーマット VCD

※CD-DA、ビデオCD、またはMP3のフォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ(➜115)された音楽用CD-RとCD-RWも再生できます。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
- ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

■ 当社製ディスクのご紹介

別売品の品番は、2004年8月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

- **TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク**(9.4 GB：両面)
  :LM-AD240L(1枚、3×高速記録対応)
  :LM-AD240P3(3枚組)
- **TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク**(4.7 GB：片面)
  :LM-AB120L(1枚、3×高速記録対応)
  :LM-AB120S3(3枚組)
- **DVD-RAMディスク**(4.7 GB：片面、カートリッジなし)
  :LM-AF120L(1枚、3×高速記録対応)
  :LM-AF120P5(5枚組)
  :LM-AF120LP5(5枚組、3×高速記録対応)
- **DVD-Rディスク**(4.7 GB：片面、カートリッジなし)
  :LM-RF120LJ(1枚、4×高速記録対応)
  :LM-RF120LJ5(5枚組、4×高速記録対応)
  :LM-RF120LH
  (1枚、4×高速記録対応、インクジェットプリンター対応)

対応していないディスクについて

- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- ビデオレコーディング規格に準拠して記録されていないDVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(**➜115**)されていないDVD-R
- PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
- リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
- DVD-ROM ● DVD-RW ● +R ● +RW
- CD-ROM ● CDV ● CD-G ● Photo-CD
- CVD ● SVCD ● SACD ● MV-Disc
- PD　など

ジャケットの各マークについて

- **音声数** ● **字幕数** ● **アングル数**

(それぞれが複数収録されている例です)

- ジャケットにこのような表示がない場合は、切り換えできません。
- ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができるディスクもあります。

- **記録されている音声の種類**

DOLBY DIGITAL：ドルビーデジタル
本機では、このディスクを2チャンネルの音声でお楽しみいただけます。
さらに、ドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプ(別売)に接続すると、マルチチャンネルの音声を楽しめます。

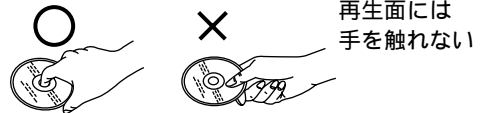
：DTSデジタルサラウンド
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。リアルな音響効果が得られます。
DTSデコーダーを内蔵する機器(別売)と接続すると、DTSの音声をお楽しみいただけます。本機の**初期設定**「デジタル出力」で、「DTS」の設定を行ってください。(**➜67**)

ディスクの取り扱いについて

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで文字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷付き防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できない場合があります)
- ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、当社製のものをお使いください。(当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因になることがあります)
- 次のようなディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク
  ・そっていたり、割れたりひびの入っているディスク
  ・ハート型など、特殊な形状のディスク

- 次のような場所に置かない。
  ・直射日光の当たるところ
  ・湿気やほこりの多いところ
  ・暖房器具の熱が直接当たるところ

持ちかた

■ 汚れたときや、露が付いたとき

RAM DVD-R

- 必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナー(別売)(**➜128**)でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

DVD-A DVD-V CD VCD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス(別売)(**➜128**)

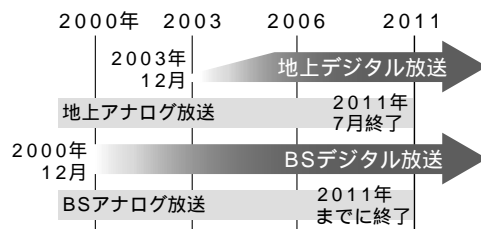
使用前 ディスクについて

デジタル放送のお知らせ

2003年12月から地上デジタル放送が始まっています

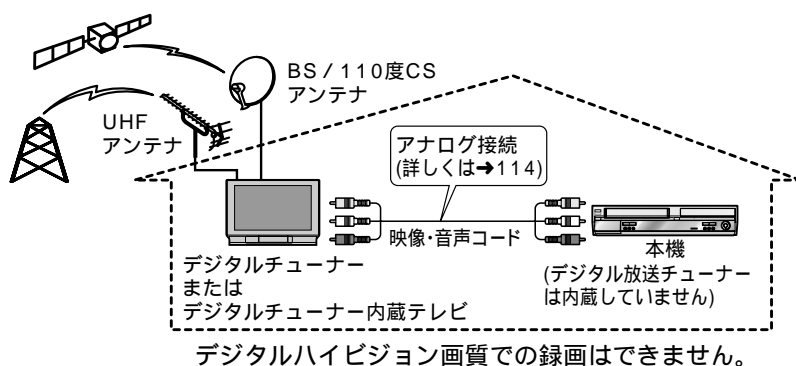
アナログ放送からデジタル放送への移行について

■ デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。
ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。
また、録画機器により録画画質は異なります。
番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

- 上記内容はJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の規定に基づくものです。
- 上記文中の「アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器」とは、本機や通常のビデオデッキがこれに該当します。

- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

デジタル放送には「1回だけ録画可能」※のコピー制御信号が加えられています。
※「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。 **(2004年4月から)**

- 「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMという著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画できます。
- コピー制御信号は、デジタル放送の不正なダビングを防止し、著作権を保護するためのものです。
- コピー制御信号の入った番組は、他のデジタル録画機器(D-VHSやDVDレコーダーなど)にはダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会 http://www.d-pa.org/
社団法人 BSデジタル放送推進協会 http://www.bpa.or.jp/

録画の制限について

デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は
- **HDDまたはCPRM※対応のDVD-RAMに録画できます。**
- **DVD-Rや2.8 GB(8 cm)のDVD-RAMには録画できません。**

※1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

(○: 録画できる、×: 録画できない)

放送の種類 ＼ 録画先	HDD(内蔵)	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R	ビデオカセット
制限なしに録画可能	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	×	×	○
録画禁止	×	×	×	×	×

DVD側での予約録画時は、挿入されているディスクにお気を付けください。

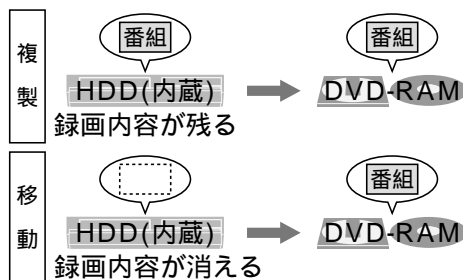
お願い/ヒント

- 録画制限のある番組とない番組を1つの番組(タイトル)として続けて録画した場合は、録画制限のある番組(タイトル)になります。時刻設定のずれなどにより、録画した番組(タイトル)の一部に録画制限のある番組が入った場合も同様です。タイトル分割(**➜51**)などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、CPRM方式に対応していない機器では再生できません。(当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーは、すべてCPRM方式に対応しています)

本機で「1回だけ録画可能」な番組をダビングするとき

デジタル放送をディスクにダビングするときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は
- **HDDからCPRM※1対応のDVD-RAMに移動※2できます。(HDDからは消去されます)**
- **DVD-RAMからHDDへの複製・移動※2はできません。**

※1 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。
※2 **複製と移動の違いについて**

HDD(内蔵)
「1回だけ録画可能」な番組

(○: ダビングできる、×: ダビングできない)

ダビング先			
DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R	ビデオカセット
○ ※3	×	×	○ ※4

DVD-RAM (CPRM対応)
「1回だけ録画可能」な番組

(○: ダビングできる、×: ダビングできない)

ダビング先	
HDD(内蔵)	ビデオカセット
×	○ ※4

ビデオカセット
「1回だけ録画可能」な番組

(○: ダビングできる、×: ダビングできない)

ダビング先			
HDD(内蔵)	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R
○	○	×	×

※3 移動します。(HDDからは消去されます)
※4 再度、HDDやDVD-RAMへダビングすることはできません。
(ビデオカセットにコピー制御信号が合わせて記録されます)

お願い/ヒント
- 「1回だけ録画可能」の番組をビデオカセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

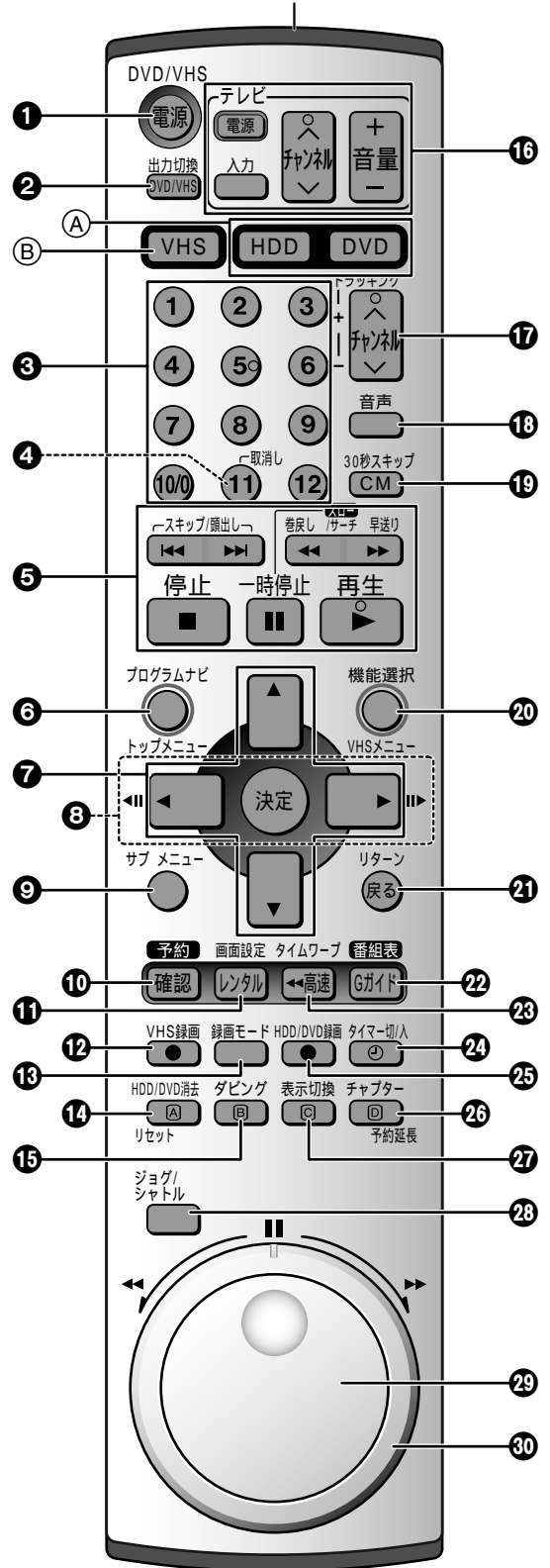
各部の働き

リモコン (本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

ⒶHDD/DVDドライブ選択ボタン
リモコンモードと本機の出力が、HDD/DVD側に切り換わります。
HDDの操作をするときは[HDD]ボタンを、DVDの操作をするときは[DVD]ボタンを操作を行う前に押してください。
ドライブを切り換えるごとに、テレビ画面に「切換中」と表示されます。

Ⓑ[VHS]ボタン
リモコンモードと本機の出力が、VHS側に切り換わります。VHSの操作を行う前に押してください。

VHSモードのときは、VHSの再生や録画の操作ボタンを押すごとに、[VHS]ボタンが約3秒間赤く点灯します。

❶ HDD DVD VHS ：電源を切/入する ......(➜25,42,76)
❷ HDD DVD VHS ：HDD/DVDとVHSの出力を切り換える....(➜33)
❸ HDD DVD VHS ：
チャンネルの数字や番組(タイトル)などの番号を入力する ......(➜26,38,65,74)
DVD ：曲番などの数字を直接入力する ......(➜35,36)
❹ HDD DVD VHS ：入力した数値などを取り消す......(➜26,29,81)
❺ HDD DVD VHS ：再生や録画時の基本操作........(➜34,38,70,74)
❻ HDD DVD ：録画した番組を探す/編集する ......(➜49,52)
DVD ：ディスクメニューを表示する ......(➜34,36)
VHS ：予約録画した番組を探す......(➜80)
❼ HDD DVD VHS ：
項目などを選んで決定する ......(➜26,34,42,62,64,76,85)
❽ HDD DVD ：コマ送り(戻し)する......(➜35)
❾ HDD DVD ：サブメニューを表示する ......(➜49,52,56)
❿ HDD DVD VHS ：予約録画の設定を確認する....(➜44,46,77,78)
⓫ HDD DVD ：ディスクの再生方法を設定する ......(➜62)
VHS ：再生時の画質を選ぶ ......(➜72)
⓬ VHS ：VHSに録画する......(➜74)
⓭ HDD DVD VHS ：録画モードを選ぶ......(➜38,74)
⓮ HDD DVD ：
HDDまたはディスクに録画した不要な番組などを消去する......(➜37)
HDD DVD VHS ：番組表で番組の詳しい内容を見る......(➜43)
VHS ：テープカウンターをリセットする ......(➜84)
⓯ HDD DVD ：
マニュアルダビングする ......(➜89,94,98,102,105,110)
HDD DVD VHS ：
番組表で番組を検索する/トピックスを見る......(➜43)

お願い/ヒント

- **[VHS録画●]ボタンなど誤動作や各種設定にかかわるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。**
- 本書では、ボタン名を[**再生▶**]などで示し、“ ボタン ”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカー設定(**➜24**)後に行えるようになります。

⑯ テレビ：テレビを操作する……(➜24)
⑰ HDD DVD VHS：
チャンネルを順に切り換える……(➜26,36,38,74)
VHS：トラッキングや垂直同期を調整する……(➜82)
⑱ HDD DVD VHS：音声を切り換える……(➜61,84)
⑲ HDD DVD：約30秒先へ飛びこす……(➜36)
VHS：CMをとばして再生･録画する……(➜72,75)
⑳ HDD DVD：機能選択画面を表示する……(➜25,64)
VHS：メニュー画面を表示する……(➜85)
㉑ HDD DVD VHS：
1つ前のメニュー画面に戻る……(➜25,36,64,85)
㉒ HDD DVD VHS：
番組表から予約録画する……(➜42,76)
㉓ HDD DVD：
時間を指定して飛びこす/
子画面でテレビを見る……(➜36,48)
VHS：高速で巻き戻す……(➜71)
㉔ HDD DVD VHS：
予約録画のタイマーを切/入する……(➜44,47,78)
㉕ HDD DVD：HDDまたはDVDに録画する……(➜38)
㉖ HDD DVD：
HDDまたはディスクに録画した番組を
複数の場面に区切る……(➜37)
HDD DVD VHS：翌日の番組表を見る……(➜42,76)
VHS：予約録画の終了時刻を延長する……(➜78)
㉗ HDD DVD VHS：操作の状態を表示する……(➜61,84)
HDD DVD VHS：前日の番組表を見る……(➜42,76)
㉘ HDD DVD VHS：
ジョグダイヤル/シャトルリング機能を
切/入する……(➜37,73)

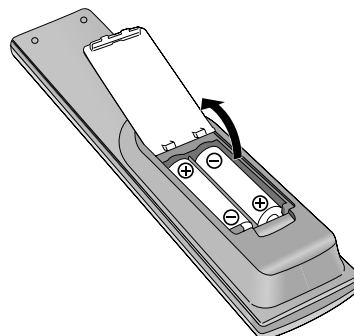
ジョグダイヤル/シャトルリング機能が「入」のときは、**[ジョグ/シャトル]ボタン**が点灯します。
何も操作せずに約30秒以上放置すると、ボタンが消灯し、ジョグダイヤル/シャトルリング機能が「切」になります。

㉙ **ジョグダイヤル**
[ジョグ/シャトル]ボタンを押して、点灯させたあと操作することができます。
HDD DVD：
コマ送り(戻し)やスロー(逆スロー)再生などをする……(➜37)
VHS：
コマ送りやスロー再生などをする……(➜73)

㉚ **シャトルリング**
[ジョグ/シャトル]ボタンを押して、点灯させたあと操作することができます。
HDD DVD VHS：
再生の速度を変える……(➜37,73)

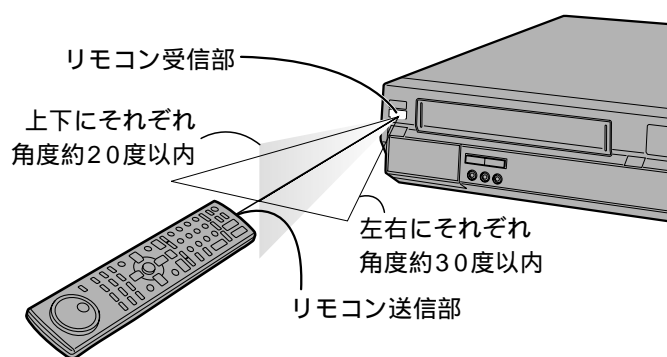
電池を入れる

ふたを開け、単3形乾電池(付属)を入れる

● ⊕⊖を確認してください。

● 入れたあとは、ふたを元どおり閉じてください。

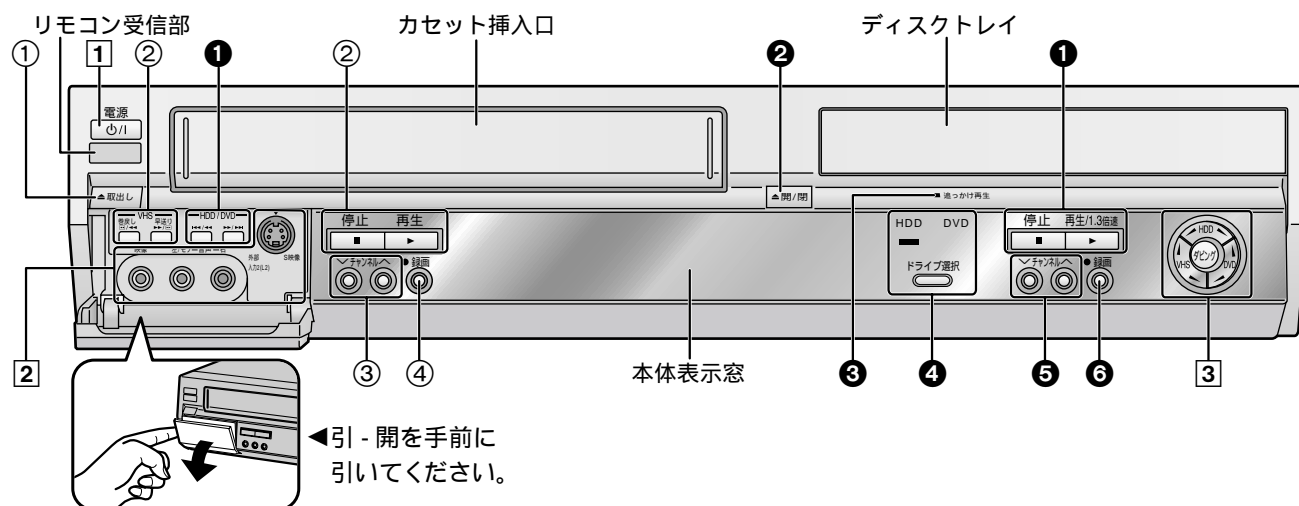
お願い/ヒント

● 操作できる範囲(**➜下記**)が狭くなってきたり、操作できなくなったときは、電池を交換してください。
(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
● 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(**➜24**)、リモコンモード(**➜68**)を合わせ直してください。
● 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
● 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
● 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた

お願い/ヒント

● 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。
(ただし、周囲の明るさで変わります)
● 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
● 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
● リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

各部の働き（つづき）

本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

□HDD/DVD/VHS共通部

1 **電源を切/入する**..................................(➜25,42,76)

節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(➜65)

2 **外部機器などを接続する**.................................(➜113)

3 **ワンタッチ**
ダビングする.........(➜88,92,96,100,104,108)

○VHS操作部

① **カセットを取り出す**...(➜70)

② **再生時の基本操作**...(➜70)

③ **チャンネルを切り換える**...................................(➜74)

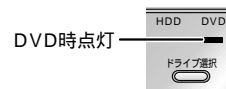
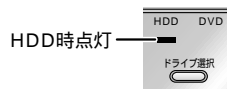
④ **録画する/録画終了時刻を指定する**....(➜74,75,113)

●HDD/DVD操作部

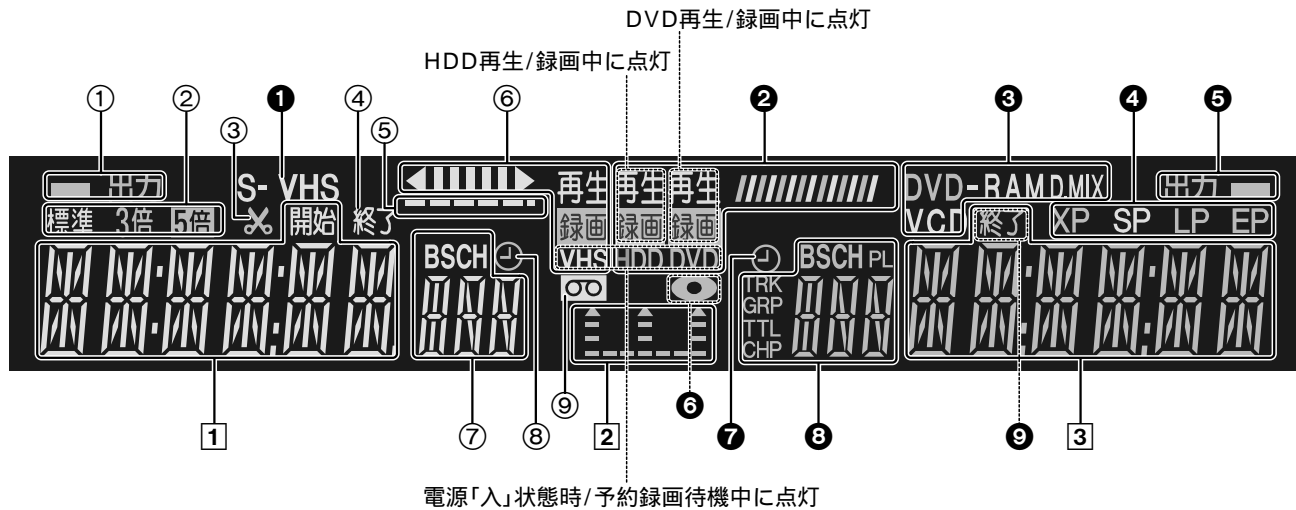
❶ **再生時の基本操作**...(➜34)

❷ **ディスクトレイを開閉する**..........................(➜34,38)

❸ **録画しながら再生中に点灯**.................................(➜48)

❹ **HDDとDVDを切り換える**......................(➜25,34,38)

❺ **チャンネルを切り換える**...............................(➜26,38)

❻ **録画する/録画終了時刻を指定する**....(➜38,41,113)

本体表示窓

□HDD/DVD/VHS共通

1 メイン表示部

- 時刻
- VHS再生・録画経過時間
- テープ残量
- 予約録画開始の日付/時刻
- 各種メッセージ…など。

2 ダビング時 ....(➜88～112)

3 メイン表示部

- HDD/DVD再生･録画経過時間
- HDD/ディスク残量
- 予約録画終了時刻
- 各種メッセージ…など。

○VHS操作時

① **出力選択が“ VHS側 ”に なっているとき...................................(➜33,70,74)**
- 選んだ直後は約5秒間点滅します。

② **録画モード...........................(➜74,76,93,109,113)**

③ **CMカット録画時 ....(➜75)**

④ **録画終了時刻を指定したとき ....(➜75)**

⑤ **テープ残量 ....(➜74,84)**

⑥ **テープ動作状態**

⑦ **チャンネル番号 ....(➜74)**
- 現在の受信チャンネルを表示。

⑧ **予約録画の待機中、実行中.................................(➜76)**

⑨ **カセットが入っているとき**
- カセットが入っていないときに、録画・予約録画などの操作をすると点滅。

●HDD/DVD操作時

❶ **S-VHSダビングの実行中 ....(➜99)**

❷ **ディスク動作状態**

❸ **ディスクの種類**
- MP3ディスクのときは、3メイン表示部に“ MP3 ”と表示。

D.MIX(マルチチャンネルのDVDオーディオのみ)
点灯：ダウンミックス(**➜115**)して2チャンネルで再生できるとき
消灯：フロントの2チャンネルのみ再生されるとき

❹ **録画モード...........................(➜38,42,97,101,113)**
全点灯：FR(フレキシブルレコーディングモード)

❺ **出力選択が“ HDD/DVD側 ”に なっているとき..................................(➜33,34,38)**
- 選んだ直後は約5秒間点滅します。

❻ **ディスクが入っているとき**

❼ **予約録画の待機中、実行中.................................(➜42)**

❽ **チャンネル番号 ....(➜38)**
- 現在の受信チャンネル、およびHDD/DVD側/VHS側の予約録画チャンネルを表示。

番組や曲の番号と表示モード
PL: プレイリスト　TRK:トラック　GRP: グループ
TTL:タイトル　CHP:チャプター

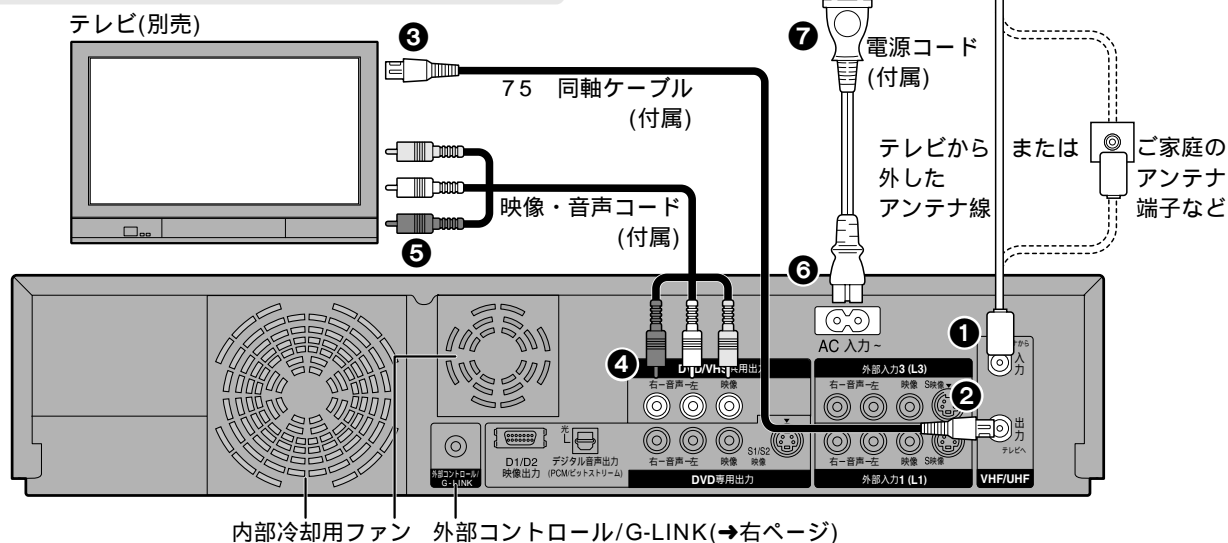
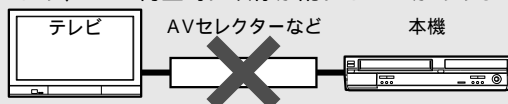
❾ **録画終了時刻を指定したとき ....(➜41)**

※再生や早送りなど、動作によってバーの移動速度などが変わります。

準備1 接続する

アナログ放送

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
AVセレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 テレビから外したアンテナ線を接続する
(VHF/UHF・アンテナから入力端子❶)

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❷～VHF/UHFアンテナ入力端子❸)

3 映像・音声コード(付属)を接続する
(DVD/VHS共用出力端子❹～ビデオ入力端子❺)
- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

4 電源コード(付属)を接続する
(AC入力ソケット❻～ご家庭の電源コンセント❼)

■ **テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき**
- 別売の部品や加工が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

■ **テレビにビデオ入力(映像·音声)端子がないとき**
- 本機と接続することはできません。

■ **DVDの映像をより高画質で楽しむ**
- テレビにコンポーネントビデオ入力端子やD映像入力端子があるときは、DVDの映像をより高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力)(**➜22,23**)

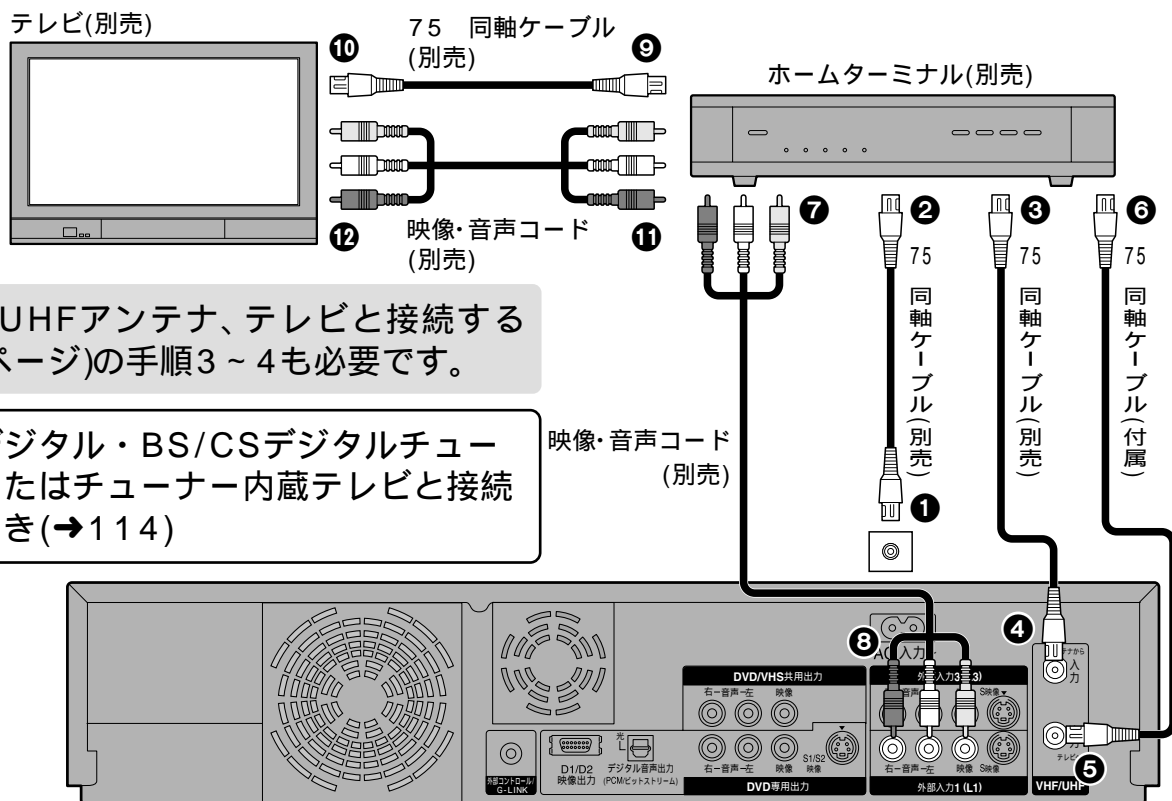
お願い/ヒント
- 後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。

時刻表示を確かめる

電源コンセントに接続したあと、
本体表示窓の現在時刻が合っているか、確かめる
- 間違っていたら、合わせ直してください。(**➜69**)

お願い/ヒント
- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能(**➜右記**)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。(**➜69**)
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・時刻表示が“ 0：00 ”で点滅しているとき

自動バックアップ機能について
- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。(**➜69**)

CATVホームターミナル、テレビと接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する(➔左ページ)の手順3〜4も必要です。

地上デジタル・BS/CSデジタルチューナーまたはチューナー内蔵テレビと接続するとき(➔114)

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(ご家庭のケーブルテレビ端子❶〜ケーブル入力端子❷)

2 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(ケーブル出力[VTRへ]端子❸〜VHF/UHF･アンテナから入力端子❹)

3 75Ω同軸ケーブル(付属)を接続する
(VHF/UHF･テレビへ出力端子❺〜ビデオRF入力[VTR出力から]端子❻)

4 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像・音声出力[VTR]端子❼〜外部入力1(L1)端子❽)

5 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(RF出力[TV入力へ]端子❾〜VHF/UHFアンテナ入力端子❿)

6 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像・音声出力[TV]端子⓫〜ビデオ入力端子⓬)

お願い/ヒント

- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

外部コントロール

ブロードバンドレシーバー(別売)(➔128)を接続すると、HDDまたはDVDへのみ携帯電話から予約録画できます。
詳しくはサポートページをご覧ください。http://panasonic.jp/support/bbr/
接続・操作方法はブロードバンドレシーバーの説明書をご覧ください。

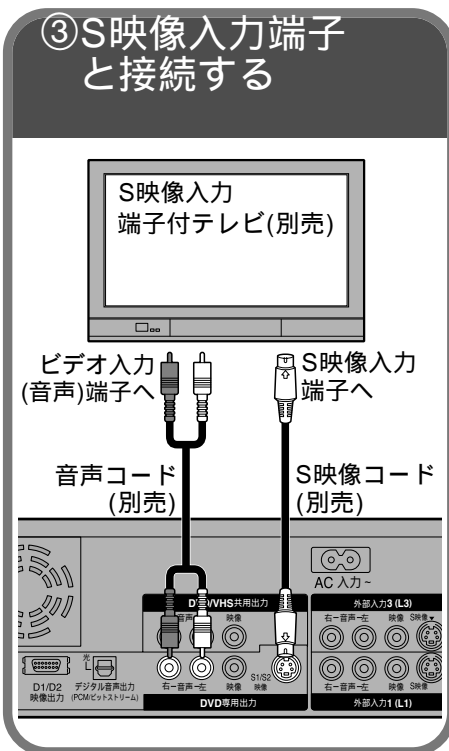
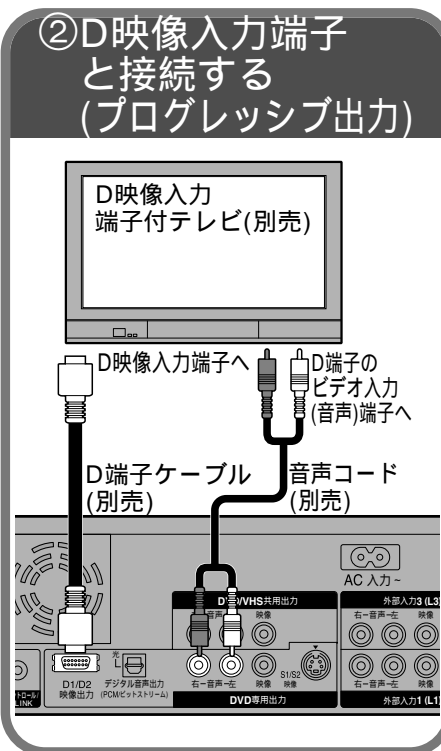
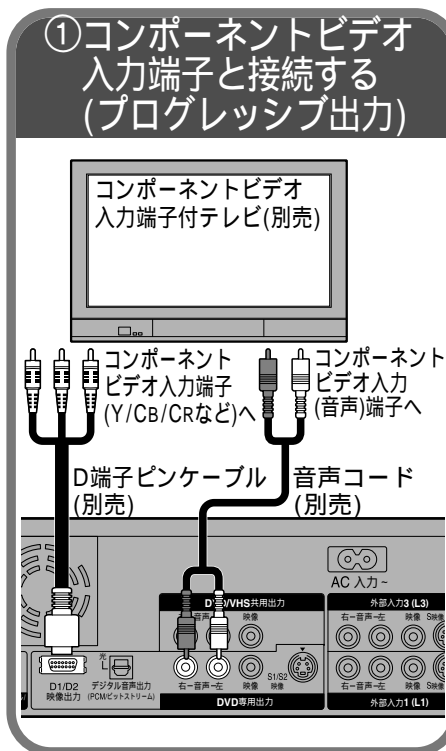
G-LINK(Gガイドのユーザー調査用端子)：

お客様の任意で同意された方のみ、調査用機器を接続することがあります。(Gガイドのユーザー調査については、当社では一切関知いたしません)

準備1 接続する (つづき)

DVDの映像をより高画質で楽しむ

テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子があるときは、①または②の接続をすると、DVDの映像をプログレッシブ出力(➜右ページ)することができます。
また、テレビにS映像入力端子があるときは、③S映像コード(別売)を接続すると、映像端子を使うよりも高画質でお楽しみいただけます。(ただし③の場合はプログレッシブ出力にはなりません)

①

■ テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき(DVD専用出力)

D端子ピンケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

- D端子ピンケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。
- **初期設定**の「接続するTV」をテレビに合わせて変更してください。(➜32)
- コンポーネントビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき(Y/B-Y/R-Yなど)は、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
  - ・DVDに対応していないハイビジョン方式専用の端子
  - ・DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない525P端子
  - ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子

②

■ テレビにD映像入力端子があるとき(DVD専用出力)

D端子ケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

- D端子ケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。
- **初期設定**の「接続するTV」をテレビに合わせて変更してください。(➜32)
- テレビがD1映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。(インターレース映像のみの出力となります)

③

■ テレビにS映像入力端子があるとき(DVD専用出力)

S映像コード(別売)と音声コード(別売)を接続する

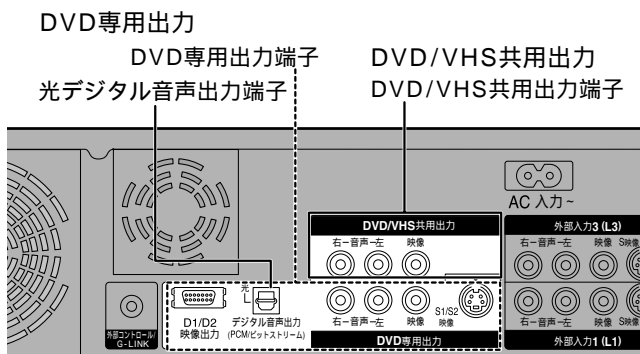
- S映像コードだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。
- S映像入力端子が複数ある場合は、**初期設定**の「ワイドモード」を端子に合わせて変更してください。(➜65)
(テレビ側で切り換えが必要な場合もあります)

①〜③の接続はDVD専用です。
これだけでは本機の映像は映りません。必ず20ページの接続も行ってください。
- また、この接続をした場合、DVDとVHSそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

■ VHSの映像をプログレッシブ出力するとき(➜71)

■ DVD/VHS共用出力端子と DVD専用出力端子について

DVDとVHSの両方を出力する共用出力端子と、DVDのみを出力する専用出力端子があります。

DVD専用出力
DVD専用出力端子
光デジタル音声出力端子
DVD/VHS共用出力
DVD/VHS共用出力端子

- DVD/VHS共用出力端子は、DVDとVHSの出力が自動で切り換わります。出力を手動で切り換わるように設定することもできます。**(➜32)**
- DVD専用出力端子は、DVDのみ出力できます。
- 共用出力設定を自動で切り換わる設定にしていても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。
  このときは、リモコンの**[出力切換DVD/VHS]**を押して、手動で切り換えてください。**(➜33)**

D1/D2映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525P)にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

プログレッシブ出力/インターレース出力

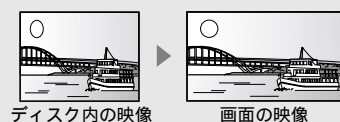
従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。本機後面のD1/D2映像出力端子とテレビを接続し､｢プログレッシブ｣を｢入｣に設定すると、プログレッシブ映像が出力できます。**(画面設定➜63)**プログレッシブでは、従来の映像出力端子、S映像出力端子の使用時よりも、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

S映像出力

映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類にあわせて信号が出力できます。

- **S1映像信号**
映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

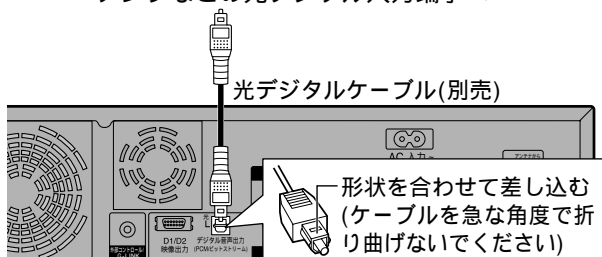
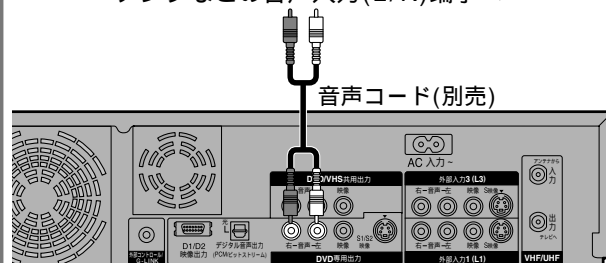
画面の映像

- **S2映像信号**
S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

DVDをより迫力のある音声で楽しむ

アンプの光デジタル入力に接続する

アンプの音声入力に接続する

お願い/ヒント

- DVD側の**初期設定**｢デジタル出力｣を接続する機器に合わせて設定してください。**(➜67)**
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ接続される機器の端子形状をご確認ください。
- DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- DVDオーディオの場合は2チャンネルで出力されます。

準備 2
設定する

テレビメーカー設定

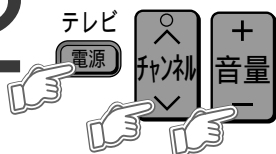
本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。

1 メーカー番号を合わせる

[テレビ電源]を押しながら、[1]～[10/0]を押す

- メーカー番号は、2けたで入力してください。
  例)01の場合…**[10/0]→[1]**
  10の場合…**[1]→[10/0]**

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	01, 10, 22, 23	パイオニア	13
アイワ	18	ビクター	14
NEC	06, 15	日立	05, 20
三洋	07, 16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02, 11, 21	フナイ	19
ソニー	03, 17	三菱	08, 12
東芝	04		

2 正しく操作できるか確かめる

- テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり、音量を調節してみてください。

お願い/ヒント

- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- プログレッシブ対応テレビをお使いの場合は、**初期設定**「接続するTV」を設定してください。**(➜32,67)**
- リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。
- **[1]**～**[12]**を使ってテレビのチャンネル操作はできません。テレビのチャンネルを変更したいときは、テレビ操作部の**[ヘ∨チャンネル]**をお使いください。

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDD、DVDまたはVHSの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 テレビの入力をビデオ入力にする

入力 **数回押す**

- 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

2 電源を入れる

DVD/VHS 電源

3 HDD または DVD

4 本機の画面が映っているか確かめる

機能選択

- 図のような機能選択画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。
- またはDVDビデオソフトなどを再生(**➜34**)してみてください。

例)手順3で[**HDD**]を押したとき

機能選択画面について(HDD/DVD側のみ)

[**HDD**]または[**DVD**]を押して、[**機能選択**]を押すと、右図のような画面が表示されます。ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。

例)[DVD]
DVD-RAMがディスクトレイにあるとき

- [▲][▼][◀][▶]で項目を選び、[**決定**]で実行します。
- 機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。

プログラムナビ	(**➜49,52**)
タイマー予約	(**➜44**)
番組表	(**➜42,76**)
ダビング	(**➜89,94,98,102,105,110**)
ぴったり録画	(**➜40**)
プレイリスト	(**➜54,56**)
初期設定	(**➜64～67**)
ディスク管理	(**➜58**)

- "プロテクトを設定している"など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。

■ **機能選択画面を消す** ➡ リターン 戻る を押す

市外局番でチャンネルを合わせる(市外局番チャンネル設定)

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

準備
- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]または[DVD]を押す。

1 停止中に、

機能選択

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

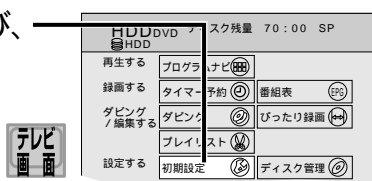
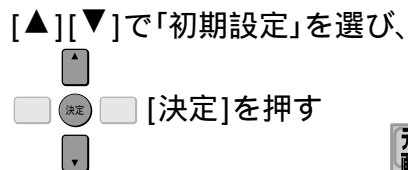
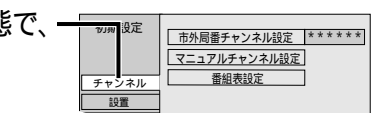
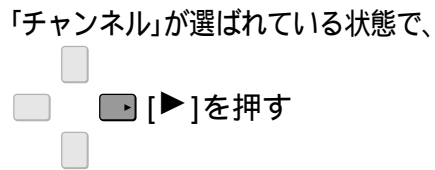
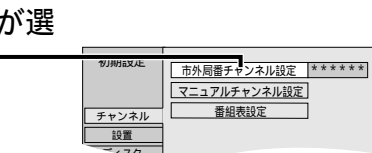
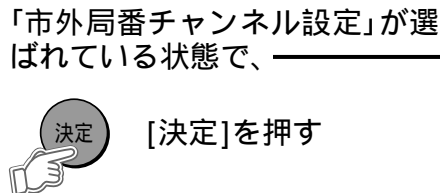
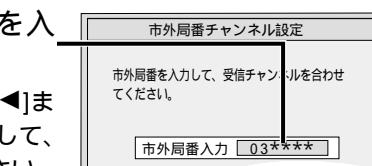
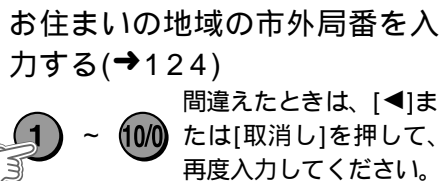
3 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

4 「市外局番チャンネル設定」が選ばれている状態で、

[決定]を押す

5 お住まいの地域の市外局番を入力する(➜124)

間違えたときは、[◀]または[取消し]を押して、再度入力してください。

市外局番チャンネル設定
市外局番を入力して、受信チャンネルを合わせてください。
市外局番入力 03****

- 市外局番が一覧表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。
- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。

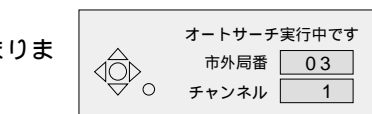
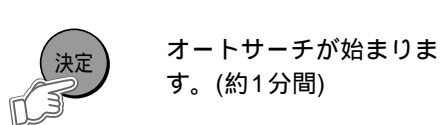
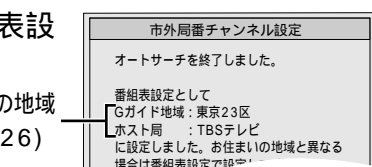
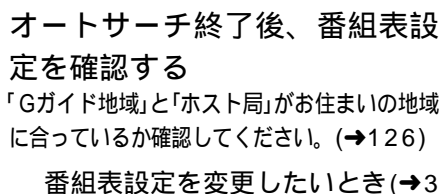
6

- オートサーチが始まります。(約1分間)

オートサーチ実行中です
市外局番 03
チャンネル 1

7 オートサーチ終了後、番組表設定を確認する

「Gガイド地域」と「ホスト局」がお住まいの地域に合っているか確認してください。(➜126)

市外局番チャンネル設定
オートサーチを終了しました。
番組表設定として
Gガイド地域：東京23区
ホスト局 ：TBSテレビ
に設定しました。お住まいの地域と異なる場合は番組表設定で設定し…

■ 番組表設定を変更したいとき(➜30)

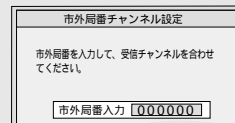
8

- **初期設定**画面に戻ります。

[∧∨チャンネル]や[1]〜[12]を押して、チャンネルがすべてきれいに受信できているか確かめてください。
- [1]〜[12]は、市外局番チャンネル設定一覧表(➜124)にあるチャンネルポジション1〜12の放送局を直接選ぶことができます。

確認後、番組表を受信する(➜右ページ手順9)

最初から設定し直したいとき

- 左記手順5で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して[決定]を押すと、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

- 「初期化を終了しました。」と表示されたら、[リターン/戻る]を押してください。**初期設定**画面に戻ります。
- Gガイド地域やホスト局は設定されていませんので、このままでは番組表予約はできません。

■ 同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき

- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(➜29)

■ 受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- マニュアルチャンネル設定で、必要な設定を行ってください。(➜28)

お願い/ヒント

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13〜20に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信・表示チャンネル一覧については、市外局番チャンネル設定一覧表(➜124)をご覧ください。

■ ひとつ前の画面に戻る➡ を押す

■ 初期設定画面を消す➡ を2回押す

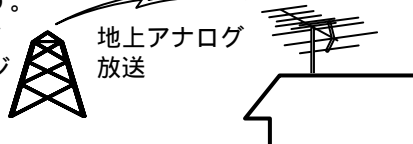
番組表を受信する

本機はアナログ放送の番組表[テレビ番組ガイド(EPG)]を表示できます。
数日先(最大8日分)までの番組表を画面に表示し、画面から番組を選ぶだけで予約録画できるなど、さまざまな便利機能が楽しめます。**(➜42,76)**
チャンネル設定後、番組表データを受信してください。

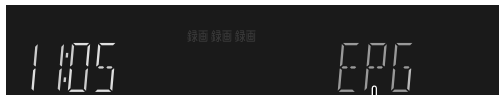
番組表データは、ホスト局(番組表データの送信を行うテレビ局)から1日数回送信されています。
テレビ電波を利用して送信されるデータを、アンテナをとおして受信します。

（2004年8月現在）

ホスト局	データ送信時刻
HBCテレビ	0:30, 7:05, 11:05, 15:05, 17:05
秋田テレビ、東北放送、中国放送、大分放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:05
新潟放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:35
TBSテレビ	0:30, 5:05, 11:05, 14:30, 18:30
CBCテレビ	0:30, 5:35, 11:05, 14:35, 17:00
毎日放送	1:45, 6:05, 11:05, 14:35, 17:35
ABCテレビ	0:45, 5:45, 10:45, 14:45, 18:45
山陽放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:00
RKB毎日放送	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:00
その他	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:05

送信時刻や回数は変更されることがあります。
最新の送信時刻については、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp/

左ページ手順1～8のあと

9 データ送信時刻(➜上記)の10分以上前に本機の電源を切る

- データの受信が始まると、本体表示窓に“ EPG ”が表示されます。

受信完了(数十分)後、消灯

- “ EPG ”表示中に電源を入れた場合は、データを受信できません。
- 番組表を受信したあとは、データ送信時刻に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に新しいデータを受信し、番組表の内容を更新します。(“ EPG ”表示中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、それまでの内容が残ります)

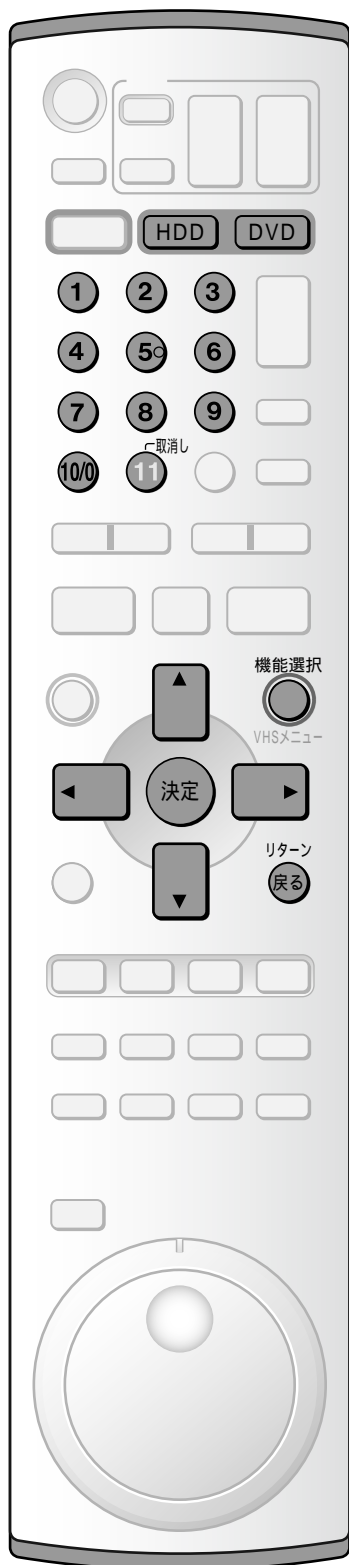
お願い/ヒント

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- 番組表に放送内容が表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表に放送内容は表示されません。Gガイド地域・ホスト局一覧(**➜126**)でご確認ください。
- 本機の電源が「切」状態でも、VHS側だけで予約録画が実行中の場合は、データの受信ができます。HDD/DVD側が予約録画実行中の場合は、データの受信ができません。

準備2 設定する (つづき)

自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)

市外局番チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、放送局名が設定されていないときなどに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]または[DVD]を押す。

1 停止中に、 機能選択
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

3 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

4 [▲][▼]で「マニュアルチャンネル設定」を選び、[決定]を押す

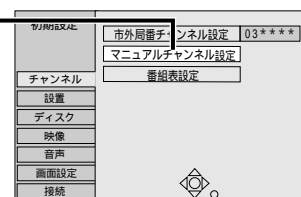
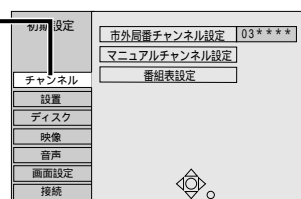
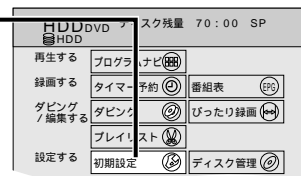
5 「Po」が選ばれている状態で、[▲][▼]を押し、放送局を設定するチャンネル(チャンネルポジション)を選ぶ

マニュアルチャンネル設定　VHF/UHFチャンネル　1/9

決定ボタン（3秒押）で微調整
リターンボタンで終了

Po	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学
6	6	6	TBSテレビ
7	42	42	TVKテレビ
8	8	8	フジテレビ
9	46	46	千葉テレビ
10	10	10	テレビ朝日

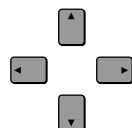
- [▼]を押すごとに、下記のように変わります。
([▲]を押すと逆方向)

→ **VHF/UHFチャンネル**(Po)
↓
CATVチャンネル(CH)
↓
外部入力チャンネル(入力)

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ 戻る(リターン) を押す

■ **設定画面を消す** ➡ 戻る(リターン) を数回押す

● 左ページ手順1～5のあとに操作します。

チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき

[◀][▶]で各項目を選び、[▲][▼]で設定する

● 押し続けると10ずつ変わります。
● 別のチャンネルを設定するには、左ページ手順5に戻ります。

Po	CH ❶	表示 ❷	放送局名 ❸
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学
6	6	6	TBSテレビ
7	42	42	TVKテレビ
8	8	8	フジテレビ
9	46	46	千葉テレビ
10	10	10	テレビ朝日

❶CH　：希望の放送局が映るようにする
放送局から実際の電波を受信します。新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❷表示：受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。
新聞・雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字になる地域もあります。

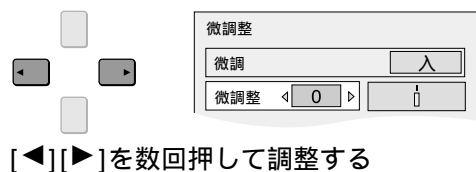
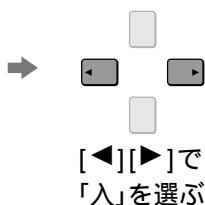
CATVのときは
[▲][▼]のどちらかを押して表示を出す
例) “ ーー ”→“ C13 ” (“ ーー ”になっていると受信できません)

❸放送局名(VHF/UHFのみ)**：**
番組表で表示されるようにする
番組表で表示させるためには、正しい放送局名が必要です。市外局番チャンネル設定一覧表(➜124)の「放送局名」の項目にある局名に合わせてください。

放送局コード(➜127)を使って設定するときは
1 [決定]を押す
2 [1]～[10/0]を押して、放送局コードを入力する
3 [決定]を押す

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。
この微調整は、HDD/DVD/VHSの同じチャンネルの映り具合に共通に影響します。

チャンネルポジションを選んだあと、

約3秒以上押す ➡ **[◀][▶]で「入」を選ぶ** ➡ **[◀][▶]を数回押して調整する**

● 色が付いていないとき…[▶]
● しま模様が出るとき……[◀]
(“ 0 ”にすると、元の状態に戻ります)
● 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

不要なチャンネルを削除したいとき

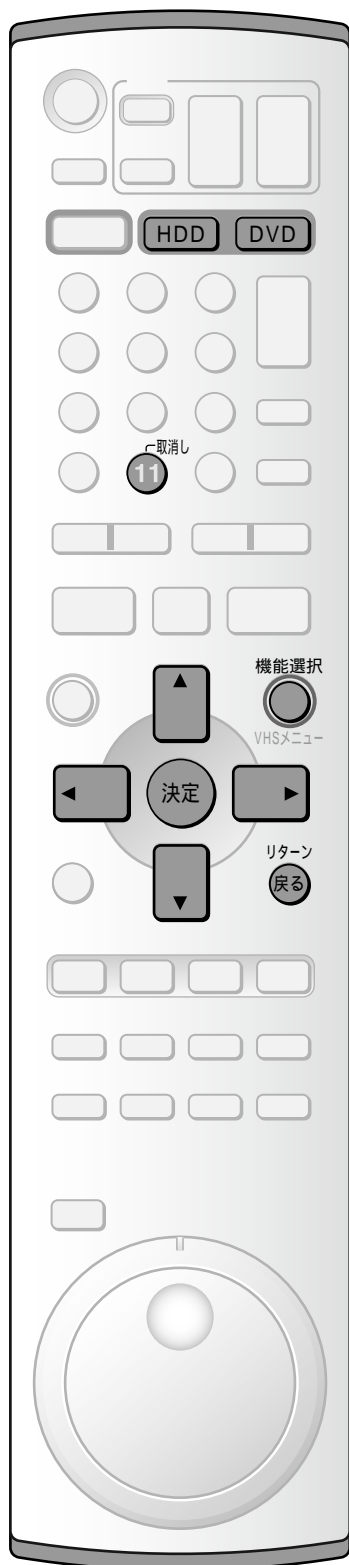
チャンネルポジションを選んだあと、

Po	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学
6	6	6	TBSテレビ
7	ーー	ーー	ーー
8	8	8	フジテレビ
9	46	46	千葉テレビ
10	10	10	テレビ朝日

■ **設定を終了する** ➡ リターン(戻る) を数回押す

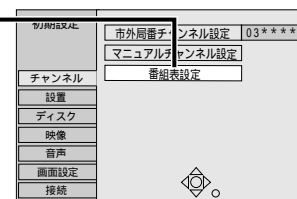
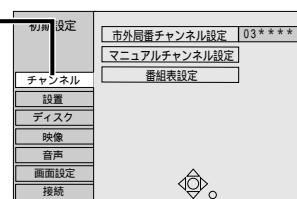
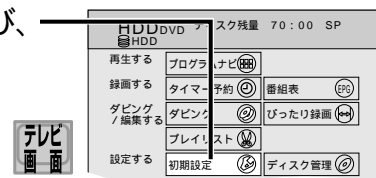
番組表の設定を変える (番組表設定)

番組表設定は、市外局番チャンネル設定で自動設定した場合は、変更する必要はありません。
市外局番チャンネル設定で、Gガイド地域やホスト局が正しく設定されなかったときに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]または[DVD]を押す。

1 停止中に、機能選択
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

3 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

4 [▲][▼]で「番組表設定」を選び、[決定]を押す

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ 戻る を押す

■ **設定画面を消す** ➡ 戻る を数回押す

● 左ページ手順1～4のあとに操作します。

Gガイド地域、ホスト局を変更したいとき
Gガイド地域
ホスト局

■ **Gガイド地域**

1「Gガイド地域」が選ばれている状態で、

[決定]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]でお住まいの地域(➜126)を選び、

[決定]を押す

■ **ホスト局**

1 [▲][▼]で「ホスト局」を選び、

[決定]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]でホスト局(➜126)を選び、

[決定]を押す

お願い/ヒント

● 設定内容が「ーーー」の場合は、番組表データを受信できません。「Gガイド地域・ホスト局一覧」(➜**126**)に従って、お住まいの地域とホスト局を設定してください。

番組表データの受信時刻を変更したいとき
データ受信時刻

ホスト局がデータ送信時刻(➜**127**)を変更した場合のみ設定が必要です。

1 [▲][▼]で「データ受信時刻」を選び、

[決定]を押す

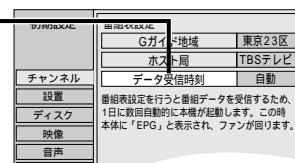
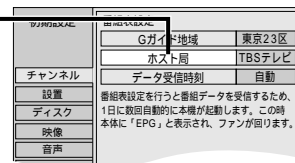
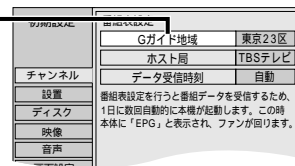
2 [◀]で「設定」を選び、

[決定]を押す

3 [◀][▶]で各項目を選び、[▲][▼]で時刻を設定する

4 [決定]を押す

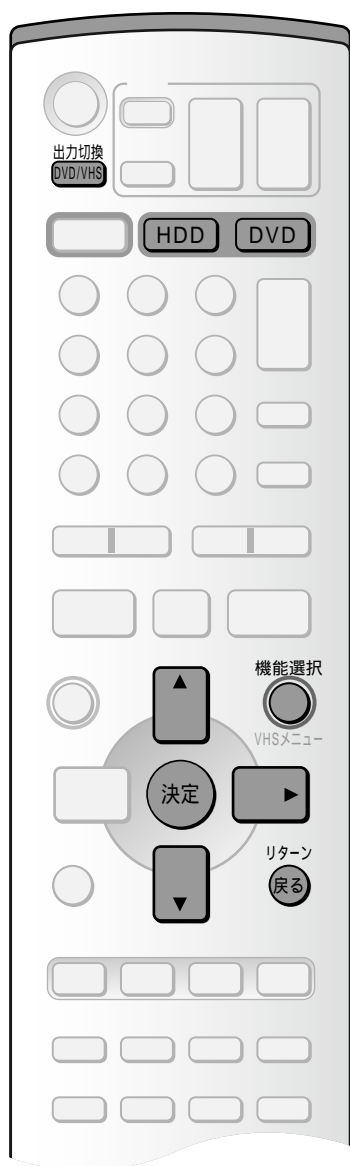
お願い/ヒント

● 工場出荷時は、「番組表データ送信時刻」(➜**127**)のとおりに設定されています。表のいずれの時刻にも受信できない場合は、放送局が送信時刻を変更した可能性があります。(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページ(http://www.ipg.co.jp/)で最新の送信時刻を確認し、設定してください。いったんデータを受信すると、受信時刻が自動的に設定されるため、以降は変更の必要はありません。
● 送信時刻以外の時刻に設定すると、番組表データを受信できません。**通常は「自動」のままにしておいてください。**
● データ受信時刻を設定しているときに[**取消し**]を押した場合や、番組表データ受信後は、「自動」に戻ります。

■ **設定を終了する** ➡ 戻る(リターン) を数回押す

準備2 設定する（つづき）

出力を切り換える・テレビに合わせて設定する

本機は、HDD/DVDとVHSの両方で再生や録画ができます。
再生や録画を始めた側の出力に自動的に切り換わるようにすることができます。
また、ワイドテレビやプログレッシブ対応テレビと本機を接続したとき(➜22)は、お使いになるテレビに合わせて本機を設定してください。

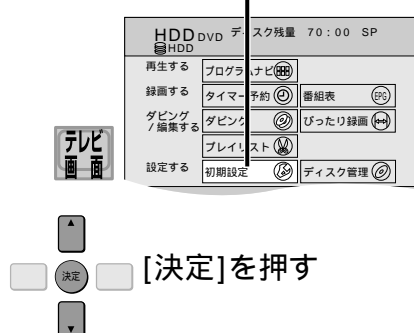
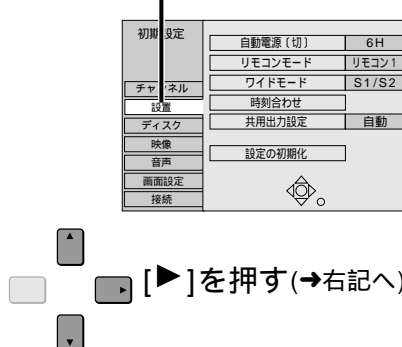
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]または[DVD]を押す。

1 停止中に、
機能選択
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「初期設定」を選び、

[決定]を押す

3 ■ HDD/DVD、VHSの出力切換方法を設定するとき

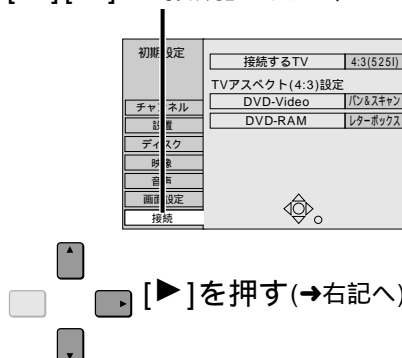
[▲][▼]で「設置」を選び、

[▶]を押す(➜右記へ)

■ ワイドテレビやプログレッシブ対応テレビに接続したとき(➜22)

[▲][▼]で「接続」を選び、

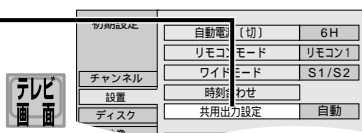
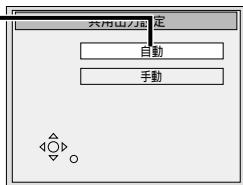
[▶]を押す(➜右記へ)

HDD/DVD、VHSの出力を操作する側に切り換える
共用出力設定

テレビのタイプを設定する
接続するTV

■ ひとつ前の画面に戻る➡ リターン（戻る）を押す

■ 設定を終了する➡ リターン（戻る）を数回押す

● 左ページ手順1～3のあとに操作します。

1 [▲][▼]で「共用出力設定」を選び、[決定]を押す

2 [▲][▼]で「自動」を選び、[決定]を押す

お願い/ヒント

● 工場出荷時は、「自動」にしていますので、通常はこのままお使いください。
●「自動」を選んでいても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。このときは、リモコンの**[出力切換DVD/VHS]**を押して、手動で切り換えてください。
●「手動」を選んでいても、**初期設定**「S-VHSダビング設定」を「S-VHS再生」にしてダビングを行う場合(VHS側からHDD/DVD側へのダビング時**➜96～103**)は、HDD/DVD側の出力が自動的に選ばれます。

DVD/VHS共用出力端子(本機後面)とテレビを接続したとき

■「自動」(工場出荷時)にしておくと

● 操作や本機の動作に応じて自動的にVHSとHDD/DVDの映像が切り換わります。
● **[出力切換DVD/VHS]**を押して切り換えることもできます。

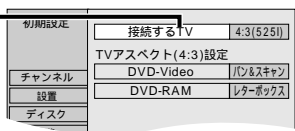
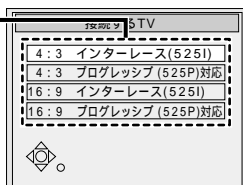
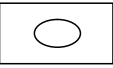
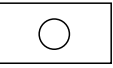
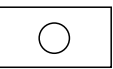
■「手動」にしたとき

見たい側の映像ではないときは、

を押す

● 押すごとに映像がHDD/DVD側⟷VHS側に切り換わります。
自動では切り換わりませんので、押して見たい側の映像に切り換えてください。

ご使用のテレビがプログレッシブ(**➜23**)に対応していない4：3テレビの場合、この設定は不要です。

1 「接続するTV」が選ばれている状態で、

2 [▲][▼]で接続するテレビタイプ(テレビ画面の横縦比、映像入力方式)を選び、[決定]を押す

● **インターレース：**
従来の映像信号で、525I(I：インターレース＝飛び越し走査)と呼ばれます。従来のテレビに接続する場合や、お使いのテレビがどちらであるかわからないときに選んでください。
● **プログレッシブ：**
インターレースの倍の走査線をもつ映像信号です。525P(P：プログレッシブ＝順次走査)と呼ばれます。本機のD1/D2映像出力端子から出力されます。

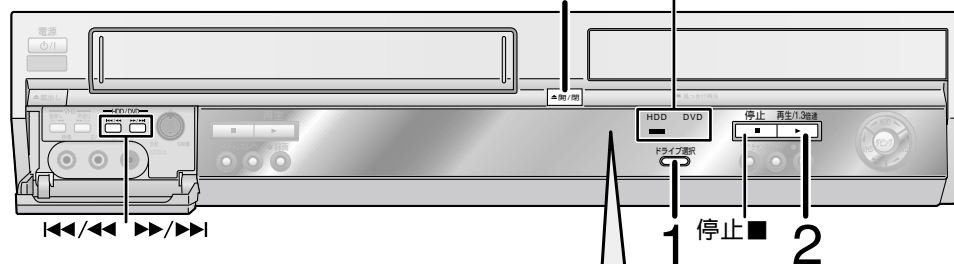
お願い/ヒント

プログレッシブ対応テレビでの映像の横縦比は、16：9です。4：3のディスク素材は、16：9の横縦比になるように左右に引き伸ばされます。4：3のまま表示するには、テレビ側で調整するか、プログレッシブ対応テレビでは**画面設定**の「プログレッシブ」を「切」にしてください。(**➜63**)

ディスク			テレビ画面の横縦比	
映像の横縦比	市販ディスクのロゴと再生内容		4：3	16：9
4：3※の標準サイズ	4:3		(そのまま)	(左右に引き伸ばされる)
	LB	上下に黒帯が入っている画面(レターボックス)	(上下に黒帯)	(上下に黒帯、左右に引き伸ばされる)
16：9のワイドサイズ	16:9 LB	画面サイズが4：3のテレビではレターボックスで再生	(上下に黒帯)	(そのまま)
	16:9 PS	画面サイズが4：3のテレビではパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生	(左右が切れる)	(そのまま)

※ DVD-R、ビデオCDの映像や、DVD-RAMに録画した4：3の映像、4：3の一般放送を含む

HDD・DVDの再生

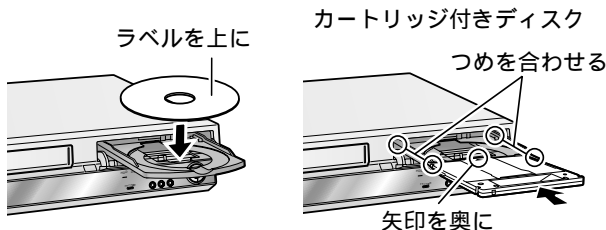
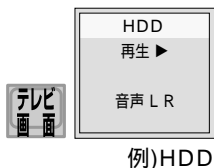
HDD RAM DVD-R DVD-A DVD-V VCD CD MP3

準備 ● テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)

1 HDD または DVD

■ [DVD]を選んだとき ディスクを入れる

- 電源が切れていても取り出せます。
- もう一度押すと、トレイが閉まります。

2 再生を始める

再生

HDD RAM DVD-R：
最後に録画した番組から再生します。
その他のディスク：
ディスクの先頭から再生します。

■ メニュー画面が表示されたら

DVD-A DVD-V

[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、[決定]を押す

- [1]〜[10/0]でメニュー内容を選べるディスクもあります。
- メニュー画面に戻るときは、**[トップメニュー]**(DVD-A DVD-V)または**[サブ メニュー]**(DVD-V)を押します。

VCD

[1]〜[10/0]でメニュー内容を選ぶ

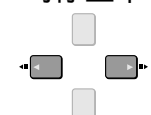
例)　5の場合…[10/0]→[5]　15の場合…[1]→[5]

- メニュー画面に戻るときは、**[リターン/戻る]**を押します。

お願い/ヒント

- HDDで録画中に、DVDに切り換えて再生できます。(逆もできます)
- ラベル面(両面ディスクでは、再生したい側のラベル面)を上にして入れてください。
- 両面ディスクは、両面にまたがって再生することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAMの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- カートリッジ付きディスクの場合、プロテクト(➜39)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。
- MP3 メニュー画面を使うとディスクの全体図を見ながら再生できます。(➜36)
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。

いろいろな再生

機能	対応ディスク	操作	説明
停止	HDD RAM DVD-R DVD-A DVD-V VCD CD MP3	停止 ■	止めた位置を記憶します ● 本体表示窓の“ 再生 ”が点滅します。(プログラムナビからの再生やプレイリストの場合は点滅しません) ● 止めた位置は ・数回[停止■]を押すと“ 再生 ”の点滅が消え、解除されます。 ・電源を切るかトレイを開けると解除されます。 ● [停止■]を押すと右のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。 **本体表示窓の“ 再生 ”点滅中に** **[再生 ▶]を押すと、止めた位置から再生します(続き再生メモリー機能)**
一時停止(静止画)		一時停止 ❚❚	もう一度押すと、再生を再開します
早送り 早戻し (サーチ)		再生中 巻戻し/スロー/サーチ 早送り ◀◀ ▶▶	押すごとに、または押し続けると速度が早くなります(5 段階) ● 本体では[⏮/◀◀] [▶▶/⏭]を約 1 秒以上押し続けます。 ● [再生 ▶]で通常再生に戻ります。 ● 早送り 1 速時のみ音声が出ます。音声は消すこともできます。(初期設定の「早送り時の音声と 1.3 倍速再生」➜66) DVD オーディオ(動画部以外)、CD、MP3 ではすべての速度で音声が出ます。
スキップ		再生中または一時停止中 スキップ/頭出し ⏮ ⏭	押した回数だけ番組、場面や曲を飛びこして再生します ● 本体では[⏮/◀◀] [▶▶/⏭]を押します。
ダイレクト再生		再生中 1 ～ 10/0	番組や曲の番号を入力して再生します ● 指定した番組、場面や曲から再生が始まります。 ● 停止中(右下の画面表示中)のみ働くディスクもあります。 **HDD、MP3 ディスク(トータルトラック):3 けたで入力** 例) 5 の場合…[10/0]→[10/0]→[5]　15 の場合…[10/0]→[1]→[5] **DVD オーディオのグループ:停止中(右の画面表示中)に 1 けたで入力** 例) 5 の場合…[5] **それ以外のディスク**(DVD オーディオではトラックが選ばれます):**2 けたで入力** 例) 5 の場合…[10/0]→[5]　15 の場合…[1]→[5] ● プレイバックコントロール(➜115)付きビデオ CD では、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の“ PBC ”が消えます)
スロー再生	HDD RAM DVD-R DVD-A(動画部) DVD-V VCD	一時停止中 巻戻し/スロー/サーチ 早送り ◀◀ ▶▶	押すごとに速度が速くなります(5 段階) ● 本体では[⏮/◀◀] [▶▶/⏭]を約 1 秒以上押し続けます。 ● [再生 ▶]で通常再生に戻ります。 ● ビデオ CD は送り方向にのみ働きます。 ● スロー再生を約 5 分以上続けたときは、一時停止します。
コマ送り コマ戻し		一時停止中	押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます ● 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。 ● [再生 ▶]で通常再生に戻ります。 ● ビデオ CD は送り方向にのみ働きます。

HDD・DVDの再生 (つづき)

いろいろな再生 (つづき)

	対応	操作	説明
早見再生 (1.3倍速)	HDD RAM [ドルビーデジタル(➜13)の音声のみ]	再生中 再生 約1秒以上押し続ける	通常の再生よりも速い速度で再生します ● もう一度[再生 ▶]を押すと、通常の再生に戻ります。 ● **初期設定**の「早送り時の音声と1.3倍速再生」を「入」にしないと働きません。(➜66) ● 早見再生中は、自動CM早送り再生(➜63)は働きません。
子画面でテレビを見る	HDD RAM DVD-R	再生中 タイムワープ ◀◀高速	子画面にテレビの受信映像を表示します ● もう一度[**タイムワープ**]を押すと受信画面が消えます。 ● [**∧∨ チャンネル**]で子画面のチャンネルを切り換えることができます。(録画中は切り換えることができません) ● 再生画面の音声が出ます。 ● 子画面はブルーバック(➜67)にはなりません。
時間を指定して飛びこす (タイムワープ)		再生中 タイムワープ	指定した時間を飛びこします **実行するには、** **5秒以内に[▲][▼]で飛びこす時間を設定し、[決定]を押す** ● [▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。
30秒先へスキップする		再生中 30秒スキップ CM	押すごとに、約30秒飛びこして再生します ● 自動CM早送り再生(➜63)が働かないときなどに使うと便利です。

MP3を再生する MP3

グループやトラックを選ぶ画面を表示できます。パソコン等でフォルダーやファイルに付けた名前(S-JIS 第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

1 プログラムナビ トップメニュー

G：グループ番号
T：グループ内のトラック番号
トータル：グループ全体のトラック数

選んだグループ

2 ■ **トラックを選ぶとき**

[▲][▼]でトラックを選び、[決定]を押す

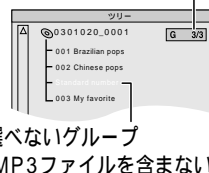
● [1]〜[10/0]でもトラックを選べます。(➜35)

■ **グループを選ぶとき**

1 [▶]を押してツリー画面を表示させる
2 [▲][▼]でグループを選び、[決定]を押す

● 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。
● メニュー画面に戻るには、[**リターン/戻る**]を押します。

選んだグループ/総グループ数

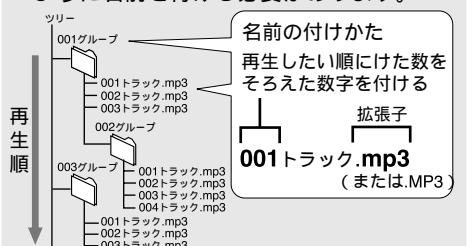
選べないグループ (MP3ファイルを含まない)

■ **前後のページを表示する**

[▲][▼][◀][▶]で“◀前頁”、“次頁▶”を選び、**[決定]**を押す

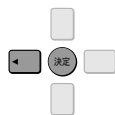
● グループごとに表示していきます。

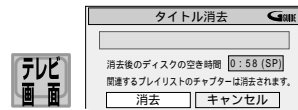
■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ リターン 戻る を押す　■ **メニュー画面を消す** ➡ プログラムナビ トップメニュー を押す

MP3について

● 使用できるフォーマット:ISO9660 level 1とlevel 2 (拡張フォーマットを除く)
ビットレート：32 kbps〜320 kbps
サンプリング周波数：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
● 最大99グループと最大999トラックが再生できます。
● マルチセッションに対応しています。
● ID3タグやパケットライト方式には対応していません。
● 記録状態によっては再生できないものがあります。
● 静止画やセッションが多く記録されたディスクではディスクの読み込みや、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
● メニュー画面での表示の順番は、パソコンで表示される順番と違うことがあります。
● ディスクの作りかたによっては、順番どおりに再生できないことがあります。
● 再生したい順番を指定するには、下図のように名前を付ける必要があります。

再生中の簡単な編集

消去する HDD RAM DVD-R

再生中

番組(タイトル)などを再生中に消去します

実行するには、
[◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

例)番組(タイトル)を消去する(HDD)

- 一度消去すると、元に戻せません。
- 録画しながら再生しているときや、ダビング中は働きません。HDD RAM
- ディスク残量は増えません。DVD-R

チャプターを作成する HDD RAM

再生中

押した位置でチャプター(➔49)を区切ります

- スキップ(➔35)するとチャプターを飛びこします。
- 録画しながら再生しているときや、ダビング中は働きません。

ジョグダイヤル・シャトルリングを使う HDD RAM DVD-R

ジョグダイヤルとシャトルリングを使うと、コマ送り(戻し)再生をしたり、再生の速度を変えたりすることができます。

ジョグ/シャトルモードにする

[ジョグ/シャトル]が点灯し、ジョグダイヤル/シャトルリング機能が「入」になります

- 静止画再生になります。

ジョグダイヤルで コマ送り コマ戻し スロー再生

ジョグ/シャトルモードにしたあと、

内側を回す

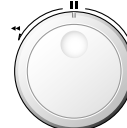
1クリック回すごとに、1コマずつ送っていきます(回す速さにより再生速度が変わります)

右：コマ送り→ スロー再生5速 → 再生
左：コマ戻し→ 逆スロー再生5速 → 逆再生

- **[再生 ▶]**で通常再生に戻ります。

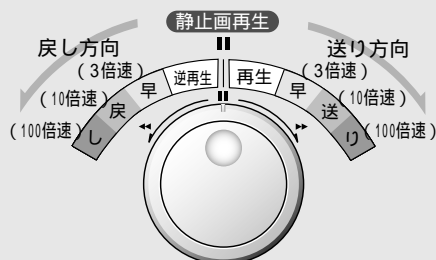
シャトルリングで 再生速度を変える

ジョグ/シャトルモードにしたあと、

外側を回す

回す角度により再生速度が変わります

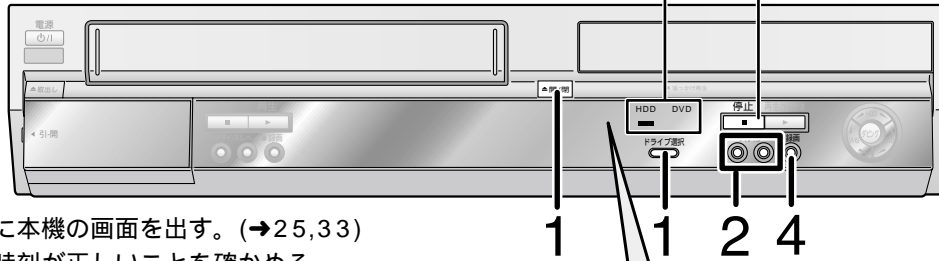
右：再生 → 早送り(3段階)
左：逆再生 → 早戻し(3段階)

- **[再生 ▶]**で通常再生に戻ります。
- 通常の再生時のみ音声が出ます。

シャトルリングの角度と再生速度

お願い/ヒント

- 30秒間操作を行わなかった場合は**[ジョグ/シャトル]**が消灯し、ジョグダイヤル/シャトルリングが働かなくなります。

HDD・DVDの録画

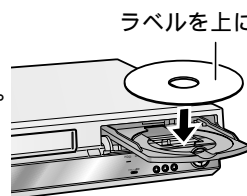
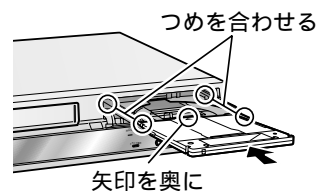
HDD 内蔵HDDに最大500番組(タイトル)まで録画できます。
RAM DVD-R 1枚のディスクに最大99番組(タイトル)まで録画できます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- HDD 録画後DVD-Rに高速モードでダビングする場合は、録画前に**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく。**(➜65)**
- DVD-R 二重放送を録画する場合は、**初期設定**「二重放送音声記録」**(➜66)**で記録する音声を選んでおく。**(詳しくは ➜ 右ページ)**

HDD/DVD側の映像が選ばれているときは、HDD/DVD側の[出力]ランプが点灯します。 出力
- 見たい側の映像ではない場合は、出力切換 DVD/VHS を押して切り換えてください。

1 録画先を選ぶ

HDD または DVD

■ **[DVD]を選んだとき**
ディスクを入れる

【本体】
- 電源が切れていても取り出せます。
- もう一度押すと、トレイが閉まります。

■ **カートリッジ付きディスク**

デジタル放送を録画するときは、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-Rには録画できません。(詳しくは ➜14)

2 録画したいチャンネルを選ぶ

または 1 ～ 12

- **[1]**～**[12]**は、市外局番チャンネル設定一覧表**(➜124)**に記載されているチャンネルポジション1～12の放送局を選ぶことができます。(市外局番チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

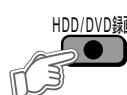
例)HDD

3 録画モードを選ぶ

- 押すごとに以下のように録画モードが変わります。
(詳しくは ➜41)
XP → SP → LP → EP → XP

残量(例：36時間)

4 録画を始める

録画 録画 HDD DVD 出力 XP CH 4 0:00.01

■ **停止する** ➡ **[停止■]**を押す
- 録画開始した位置から停止した位置までを1番組(タイトル)として記録します。**(詳しくは ➜41,49)**
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組(タイトル)に分けて記録されます。 HDD

■ **一時停止する** ➡ **[一時停止❚❚]**を押す
- もう一度押すと録画を続けます。**[HDD/DVD 録画●]**を押しても再開できます。
[番組(タイトル)は分割されません]

■ 録画済みの番組を誤って消さないために(プロテクト)

プロテクトを設定すると、録画や整理･編集できないようにすることができます。
プロテクトには以下のものがあります。

プロテクトを設定する(書き込み禁止)
本体に入れると自動的に再生します。

- カートリッジのプロテクト RAM (➜ 右図)

本機はカートリッジ付きとなしのどちらにも対応しています。大切な録画時にはカートリッジ付きを使い、誤消去防止のため録画後にプロテクトを設定することをおすすめします。

- 番組(タイトル)のプロテクト(➜50)
- ディスクプロテクト(➜58)

■ “ 録画可能なディスク ”について

録画用の DVD-RAM、または DVD-R のディスクは、以下のことをお確かめのうえ、お使いください。

- 残量が十分に残っている。[ディスクの残量がないときは、不要な番組を消す(RAM ➜50)か、新しいディスクをお使いください]
- ディスクプロテクト(➜58)やカートリッジのプロテクト(➜ 上記)を設定していない。 RAM
- はじめて使用する DVD-RAM は、精度よく録画できるようにフォーマットすることをおすすめします。(➜58,115) RAM

■ DVD-RAM と DVD-R の違いについて

DVD-RAM と DVD-R には、下表のような特長があります。用途に応じて選んでください。 (○:できる、×:できない)

特長	DVD-RAM	DVD-R
繰り返し録画	○	×
編集	○	※1
他のDVD機器で再生	○※2	○※3
二重放送の主／副音声を両方記録	○	×※4
「1回だけ録画可能」のデジタル放送を録画	○※5	×
16:9映像の記録	○	※6

※ 1 消去、タイトル名/ディスク名の入力、サムネイルの変更のみできます。
　ただし、消去しても残量は増えません。
※ 2 DVD-RAM 対応機器でのみ再生できます。
※ 3 ファイナライズ(➜58,115)が必要です。
※ 4 本機で受信した二重放送の音声を録音する場合、“ 主音声 ”または“ 副音声 ”の一方しか録音できません。**初期設定**「二重放送音声記録」(➜66)でどちらかを選んでください。
※ 5 CPRM 対応ディスクのみ。(➜14)
※ 6 4 ：3 映像で記録します。

■ 録画中に VHS を再生･録画する ➡ [VHS]を押して、VHS 側の各種操作を行う(➜70,74)

■ 録画中にテレビで別番組を見る

➡ **1** [入力] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ操作部の [チャンネル] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

お願い/ヒント

- HDD と DVD に、同時に録画することはできません。
- ラベル面(両面ディスクでは、録画したい側のラベル面)を上にして入れてください。
- 両面ディスクは、両面にまたがって録画することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAM の場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- 録画モードを「XP」で録画した場合は、記録する音声の設定を変更できます。(➜67)
- 録画はディスクの空きスペースに行われます。上書きはされません。
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。[一時停止中は変えることができますが、別番組(タイトル)として録画されます]
- 番組表(➜42)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的にタイトル名が付きます。(3 分以上録画した番組のみ)
- 録画停止には約 30 秒かかります。 DVD-R
- 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜58,115)が必要です。 DVD-R

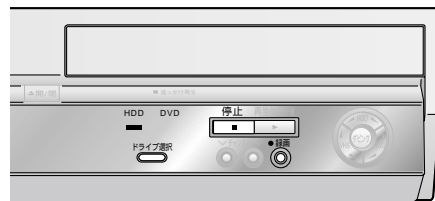
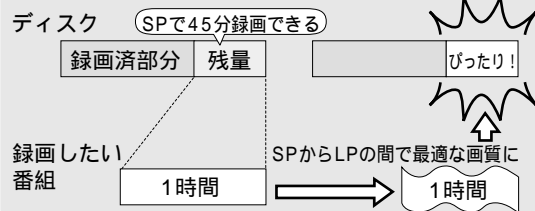
HDD・DVDの録画 (つづき)

録画の便利な使いかた (ぴったり録画・終了時刻予約録画) HDD RAM DVD-R

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、録画先を選ぶ。
- 録画したいチャンネルを選ぶ。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜38)

ディスクの残量に合わせて録画する

ぴったり録画

HDD RAM DVD-R

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(**録画モード ➜ 右ページ**)で録画できます。
残量が少なくなったHDDまたはディスクにぴったりと録画したいときに便利です。

1 **停止中に、**

- 機能選択画面が表示されます。

2 **[▲][▼][◀][▶]で「ぴったり録画」を選び、**

[決定]を押す

3 **[◀][▶]で"時間"または"分"を選び、**

[▲][▼]で録画したい時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

4 **[◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[▼][◀]で「録画開始」を選んで、**

[決定]を押す

ぴったり録画
最適な録画レートで記録します。
最大録画時間　8時間00分
録画時間設定　1時間00分
録画開始　キャンセル

- 録画が始まります。

■ **ぴったり録画の画面を消す**
➡ **[リターン/戻る]**を押す

■ **録画をやめる** ➡ **[停止■]**を押す

■ **残り時間を確認する**
➡ **[表示切換]**を押す
- 残りの録画時間を表示します。

録画の終了時刻を指定する

終了時刻予約録画

HDD RAM DVD-R

録画中

【本体】

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます
押すごとに 30 分単位で録画終了時刻が変わります

- 最大 2 時間先まで予約できます。
- 本体表示窓は下図のように変わります。

本体表示窓

- リモコンの[**HDD/DVD 録画●**]では働きません。
- ぴったり録画時(**➜ 左ページ**)や予約録画中(**➜42 ～ 45**)は働きません。
- 録画の一時停止中にチャンネルや録画モードを変更した場合、録画終了時刻の設定は解除されます。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。

■ **解除する** ➡ 本体の[**●録画**]を数回押し、録画終了時刻を“ -- --：-- -- ”にする

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、[**停止■**]を押します。

■ 録画モード(画質と録画時間のめやす)

ダビングや予約録画時には“ FR ”(フレキシブルレコーディングモード)が設定できます。ディスクの空き容量を計算して、ディスクに収まるように録画モードを自動的に設定します。
例えば、未使用の DVD-RAM ディスクに 90 分の録画をする場合、「XP」から「EP(8H)」の間で画質を調整します。

- HDD では、4.7 GB のディスクにぴったりダビングができるように画質を自動調整します。
- 本体表示窓で、XP ～ EP がすべて表示されます。(**➜ 右図**)
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

単位：時間

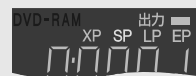
ディスク / 録画モード	HDD(内蔵) (160 GB)	DVD-RAM 片面 (4.7 GB)	DVD-RAM 両面 (9.4 GB)	DVD-R (4.7 GB)
XP（高画質）	約 36	約 1	約 2	約 1
SP（標　準）	約 70	約 2	約 4	約 2
LP（長時間）	約138	約 4	約 8	約 4
EP（長時間）	約 284(212※)	約 8 (約6※)	約16(約12※)	約 8 (約6※)

(数値はめやすです。録画する内容によっては、変化することがあります)

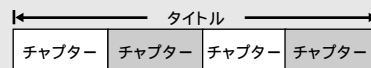
“ FR ”設定時

※**初期設定**の「EP 時の記録時間」(**➜65**)で設定できます。EP 時の音質は 6 時間の方が高音質です。

- DVD-RAM に EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM 再生対応の DVD プレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。

■ HDD/ディスクの構成について

タイトル			
チャプター	チャプター	チャプター	チャプター

番組を HDD またはディスクに録画すると、1 つの番組の区切りを好みの位置で小さな区切りに分けることができます。(HDD RAM のみ)
番組単位の大きな区切りをタイトル、小さな区切りをチャプターと呼びます。(**詳しくは ➜49**)
チャプターを作成する(HDD RAM のみ **➜37,53**)と、好みのチャプターだけを選んで再生したり、異なるタイトルから好みのチャプターだけを複数集めたリストを作成することができます。(HDD RAM のみ)

- チャプターを選ぶ(**スキップする ➜35,プログラムナビから ➜52**)
- プレイリストを作成する(HDD RAM **➜54**)

HDD・DVD の予約録画

番組表(テレビ番組ガイド)を使って予約する HDD RAM DVD-R

- 予約したい番組を、番組表から選ぶだけで予約できます。
- 1 カ月以内の番組を HDD と DVD 合わせて 32 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は 1 番組として数えます) VHS 側の予約数には影響しません。

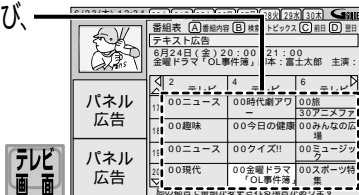
準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVD に録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。**(➜38)**
- HDD 録画後 DVD-R に高速モードでダビングする場合は、録画前に**初期設定**「DVD-R 高速モード用録画」を「入」にしておく。**(➜65)**
- DVD-R 二重放送を録画する場合は、**初期設定**「二重放送音声記録」**(➜66)**で記録する音声を選んでおく。**(詳しくは ➜39)**

予約を正しく行うために
番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。**(➜27)**

1

- 番組表画面が表示されます。

2

[▲][▼][◀][▶]で予約したい番組を選び、**[決定]を押す**

■ **別の日の番組表を見る** ➡ Ⓒ (Ⓒ前日)または Ⓓ (Ⓓ翌日)を押す

3

録画先と録画モードを設定する

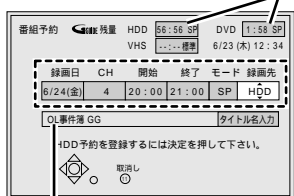
残量

■ **録画先を設定する**
➡ " 録画先 "が選ばれている状態で、**[▲][▼]**を押し、「HDD」または「DVD」を選びます。
- **[HDD]**、**[DVD]**も使えます。

■ **録画モードを設定する**
➡ **[◀][▶]**で" モード "を選び、**[▲][▼]**で「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」のいずれかを選びます。
- **[録画モード]**を数回押しても選べます。
- 「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」以外を選んだときは、録画先が「VHS」になります。

タイトル名
" GG "(Gガイド)が付きます。[N(ニュース)などの文字は入りません]

■ **タイトル名を変更する**
➡ **[◀][▶]**で「タイトル名入力」を選び、**[決定]**を押す**(➜60)**

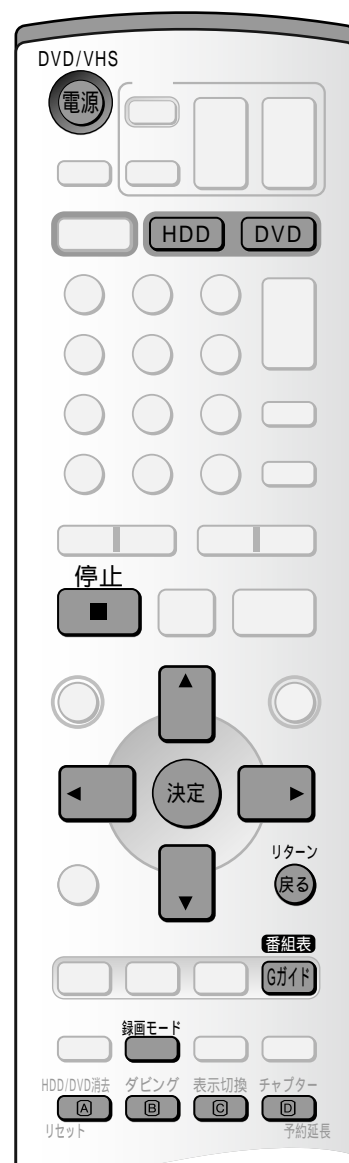
- 録画先が" DVD "で残量が足りない場合は、自動的に HDD に録画されます。**(➜ 右ページ)**

4

- 予約した番組に" 予 "が表示されます。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓の" ⏲ "が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。
- 予約録画待機中でも、HDD・DVD の再生(RAM)、および VHS の再生・録画をお楽しみいただけるようになっています。

5

HDD・DVD の再生(RAM)、および VHS の再生・録画をしないときは、電源を切る

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。予約録画中に電源を切ることはできます。

■ **録画先を「VHS」にする**
➡ 76 ページ手順 3 へ

■ **続けて予約を追加する**
➡ 手順 **2** ～ **4** を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ 戻る を押す

■ **番組表を消す** ➡ Gガイド を押す

■ 予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

- 番組表予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。左ページ手順3で、[◀][▶]で"終了"を選び、[▲][▼]で時刻を設定してください。

■ リリーフ(代替)録画について

- 録画先が"DVD"で、録画する番組がディスクに入りきらない場合は、自動的に録画先を"HDD"に変更します。
- トレイにディスクがない場合や、録画できないディスクが入っている場合、高速ダビング中に予約録画が実行された場合もHDDへ録画先を変更します。
- リリーフ録画された番組は、HDDのタイトル一覧(➜49,51)で確認できます("↱"が表示)。
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

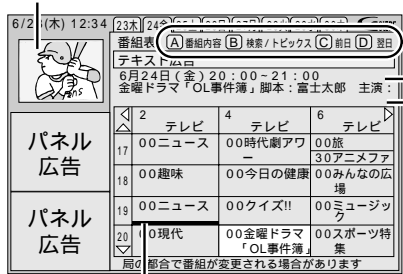
■ 録画モードについて

- 選ばなくても予約できますが、本体表示窓に現在表示されている録画モードで予約されます。録画モードを変えたいときは、リモコンで選んでください。(ただし本体表示窓に"XP"が表示されているときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、"FR"(➜41)で設定されます。"XP"で録画する場合は、リモコンで選び直す必要があります)

■ 予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき(➜46)

お願い/ヒント

- テレビ画面に"予約内容にミスがあります。"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- HDDとDVD合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。VHS側でもすでに16番組予約されているときは、テレビ画面に"予約がいっぱいで登録できません。"と表示されます。不要な予約を取り消してください。(➜46,78)
- 予約録画の待機中に再生を行っている場合でも、録画時刻になると予約録画が実行されます。
- 編集中や等速(➜87)でダビング中は、予約録画は実行されません。
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-Rでは約30秒間録画されません。
- 予約設定をしたときに予約が重複している場合、確認画面が表示されます。そのまま設定する場合は「はい」を、設定し直す場合は「いいえ」を選んでください。そのまま設定し、予約が重複している場合は、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 予約は登録した時刻に実行されます。放送時間の変更には対応していません。

番組表の見かたと便利な機能

■ 選んだチャンネルに切り換えてテレビを見る

➡ [停止 ■] を押す

- 録画中は、録画チャンネルから切り換えることはできません。

■ 番組の詳しい内容を見る

➡ 番組を選び、 [HDD/DVD消去 Ⓐ リセット] (Ⓐ番組内容)を押す

■ ジャンル/キーワードで番組を探して予約する、トピックス(映画、音楽、スポーツなどの簡単な情報)を見る

キーワード:「選択中の番組の紹介」(➜ 左記)に表示される文字を検索できます。(最大登録数: 8)

1

(Ⓑ検索/トピックス)

2 [▲][▼]で項目を選び、

[決定]を押す

3 画面指示に従って[▲][▼]で項目を選び、

[決定]を押す

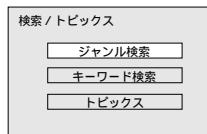
- キーワードの"新規登録"を選んだ場合は(➜60)

4 ジャンル/キーワード検索後[▲][▼]で予約したい番組を選び、

[決定]を押す

例)ジャンル検索結果

5 左ページ手順3へ

録る

HDD・DVDの予約録画

HDD・DVDの予約録画(つづき)

番組表を使わずに予約する(タイマー予約) HDD RAM DVD-R

- 予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
- 1カ月以内の番組をHDDとDVD合わせて32番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます) VHS側の予約数には影響しません。

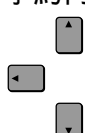
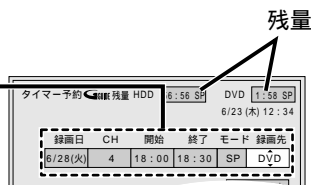
準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。**(➜38)**
- HDD 録画後DVD-Rに高速モードでダビングする場合は、録画前に**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく。**(➜65)**
- DVD-R 二重放送を録画する場合は、**初期設定**「二重放送音声記録」**(➜66)**で記録する音声を選んでおく。**(詳しくは➜39)**

1 [予約 確認]
- 予約一覧画面が表示されます。

2 **[▲][▼]で「新規予約」を選び、[決定]を押す**

テレビ画面
タイマー予約 残量 HDD 56:56 SP DVD 1:58 SP 6/23(木) 14:30
No 録画日 CH 開始 終了 モード 録画先 確認
01 毎週土 4 20:00 21:00 FR HDD 7/2迄
02 6/26(日) 6 15:00 16:00 EP HDD 可
新規予約

3 **予約内容を設定する**
[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する

残量
タイマー予約 残量 HDD 56:56 SP DVD 1:58 SP 6/23(木) 12:34
録画日 CH 開始 終了 モード 録画先
6/28(火) 4 18:00 18:30 SP DVD

- 録画先が“DVD”で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。**(➜43)**
- 時刻は、[▲][▼]を押し続けると30分単位で変わります。
- 録画日・CH・時刻は**[1]**～**[10/0]**でも選べます。録画モードや録画先は、**[録画モード]**や**[HDD]**、**[DVD]**でも選べます。

■ 録画を自動更新(オートリニューアル)する(録画先がHDDの場合のみ)

➡ **[◀][▶]**で「更新」を選び、「入」に設定する**(➜ 右ページ)**

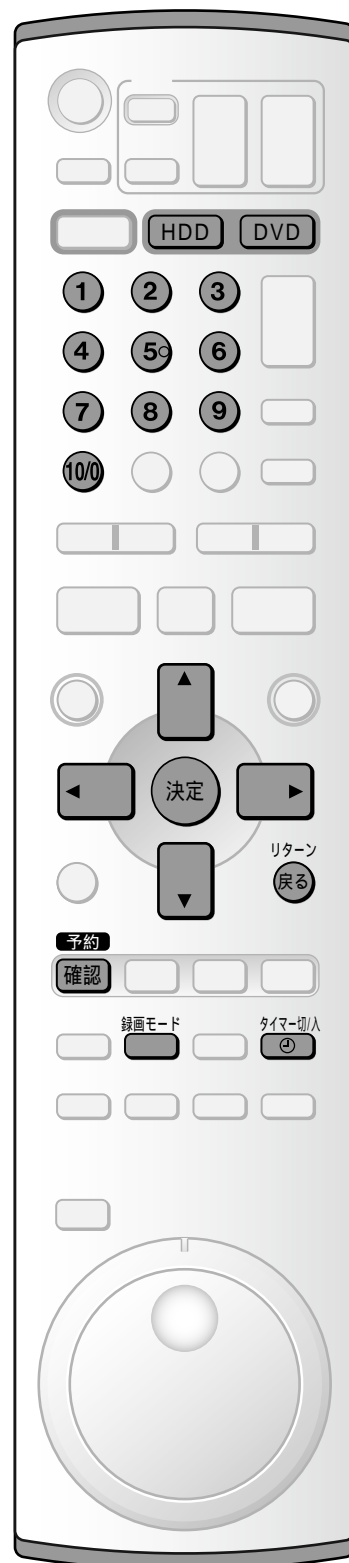
■ 予約する番組(タイトル)のタイトル名を入力する

➡ **[◀][▶]**で「タイトル名入力」を選び、**[決定]**を押す**(➜60)**

- 入力しなくても、番組表に放送内容がある場合は、録画後に自動的にタイトル名が付きます。(3分以上録画した番組のみ)

4 [決定]

5 [タイマー切/入]
- 予約録画の待機状態になります。(本体表示窓の“ ⌚ ”が点灯)

■ **画面を消す** ➡ [リターン 戻る] を数回押す

■「毎週予約」か「毎日予約」で予約録画した番組を自動更新(オートリニューアル)したいとき

- 録画先がHDDの場合のみ、「毎週予約」か「毎日予約」で、前回録画した番組に上書き(前回分を消して録画)することができます。
- 番組(タイトル)にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中やダビング中は上書きされません。[別番組(タイトル)として録画され、次回からそれが更新されます]
- 番組(タイトル)が更新されると、元の番組(タイトル)から作られたプレイリストも消去されます。
- HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

■ 予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき(➜46)

お願い/ヒント

- 予約設定中に**[VHS]**を押してしまったときは、VHS側の画面に切り換わります。**[HDD]**または**[DVD]**を押すと、予約設定画面に戻ります。
- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
- 予約録画の待機中に再生を行っている場合でも、録画時刻になると予約録画が実行されます。
- 編集中や等速**(➜87)**でダビング中は、予約録画は実行されません。
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-Rでは約30秒間録画されません。
- 予約設定をしたときに予約が重複している場合、確認画面が表示されます。そのまま設定する場合は「はい」を、設定し直す場合は「いいえ」を選んでください。そのまま設定し、予約が重複している場合は、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。

HDD・DVDの予約録画 (つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する HDD RAM DVD-R

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(本体の電源が「切」のときでも操作できます)

準備
- テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[HDD]**または**[DVD]**を押す。

確認する

1 予約 確認

- 予約一覧画面が表示されます。

- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には自動的に消去されます。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

取り消す/修正する

2 取り消し/修正したい予約内容を選びます

[▲][▼]で選ぶ

- 本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。(最初は予約日" -- --/-- -- "が選ばれています)

3

■ **取り消すときは** ➡ 取消し 11 を押す

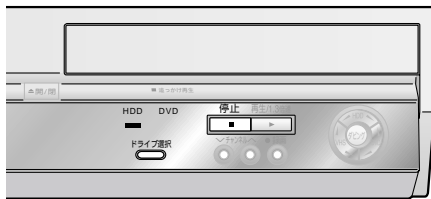
■ **修正するときは** ➡ 決定 を押す

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[▲][▼]で予約内容を修正する
- 予約録画中の番組は、録画モードが" FR "以外なら予約終了時刻の変更ができます。

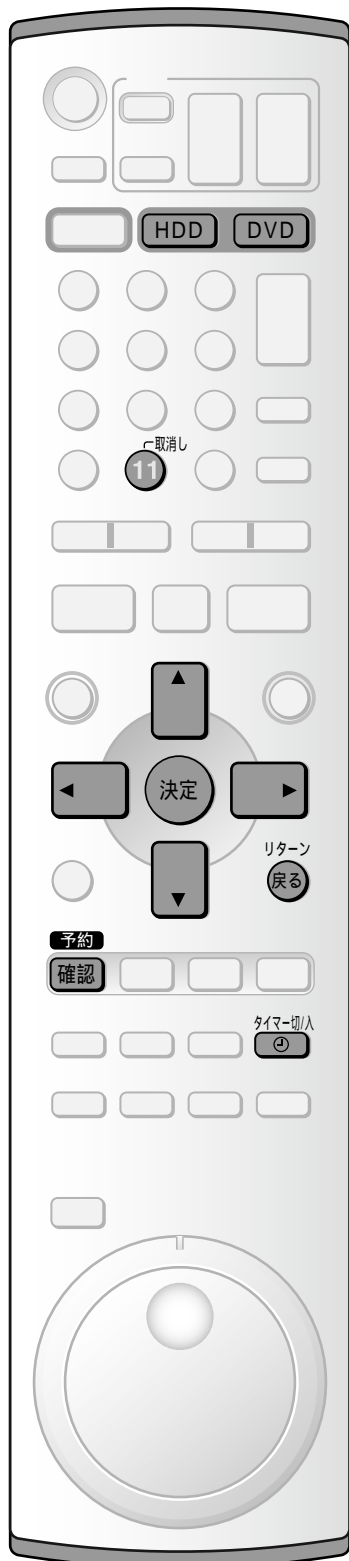
2 決定 を押す

■ **予約一覧画面を消す** ➡ リターン 戻る を押す

(約1分そのままにしたときは、**[リターン/戻る]**を押さなくても消えます)

予約を解除する

準備 ● **[HDD]**または**[DVD]**を押す。

予約録画を解除する

予約待機中または予約録画中

予約待機中に押すと、予約録画の待機を一時解除します

● 本体表示窓の“ ◴ ”が消えます。

● もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。

予約録画中に押すと、録画を途中でやめます

● 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

お願い/ヒント

● 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
● 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度**[タイマー 切/入◴]**を押すと予約録画が再開されます。
● 本体 HDD/DVD 側の**[停止■]**を約 3 秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除したり、予約録画を途中でやめることができます。

録画しながら再生する

追っかけ再生・同時録画再生・タイムワープする HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、録画中のドライブを選ぶ。

[追っかけ再生]ランプ

録画中の番組を頭から見る
追っかけ再生
HDD RAM

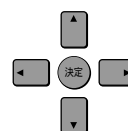
録画中 再生

録画を続けながら、番組の先頭から再生します
- 本体の[追っかけ再生]ランプが点灯します。
- 早送り(早戻し)中、音声は出ません。

録画中に他の映像を見る
同時録画再生
HDD RAM

録画中 プログラムナビ

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します
- タイトル一覧(➜ **右ページ**)が表示されます。

現在録画中の番組

実行するには[▲][▼][◄][►]で再生したい番組を選び、[決定]を押す
- 本体の[追っかけ再生]ランプが点灯します。
- 早送り(早戻し)中、音声は出ません。

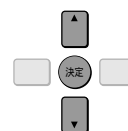
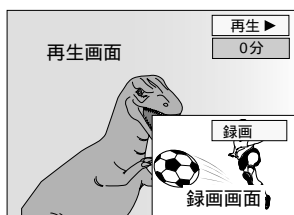
■ **タイトル一覧を消す** ➡ **[プログラムナビ]**を押す

お願い/ヒント
- 録画中、ドライブを切り換えて再生することもできます。(➜34)

録画中の番組を戻して見る
タイムワープ
HDD RAM

録画中 タイムワープ

録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組で、見たい場面を時間を指定して、2 画面で見ることができます
- 本体の[追っかけ再生]ランプが点灯します。
- 30 秒前に戻って再生を始めます。
  再生画面に録画画面を重ねて表示し、再生画面の音声を出力します。

再生画面　再生 ►　0分　録画 ●　録画画面

実行するには[▲][▼]で飛びこす時間を設定し、[決定]を押す
- [▲][▼]を押すごとに 1 分ずつ(押し続けると 10 分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。
- **[タイムワープ]**を押すと、再生画面のみ表示されます。

■ **再生を止める** ➡ **[停止■]**を押す

■ **録画を止める** ➡ 再生停止後、約 2 秒以上待って**[停止■]**を押す
- 録画中、ドライブを切り換えて再生している場合は、再生停止後、録画中のドライブを選んでから録画を止める操作をしてください。

■ **予約録画を止める** ➡ **[タイマー 切/入 ◴]**を押す(本体の**[停止■]**を約 3 秒以上押しても止まります)

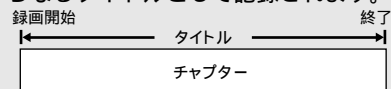
プログラムナビを操作する

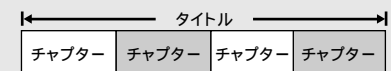
番組(タイトル)を選んで再生/編集する HDD RAM DVD-R

録画した番組(タイトル)のリストから、見たい番組を探して再生したり、録画した番組(タイトル)の整理(不要な部分の消去、分割など)ができます。VHS 側でカセットに録画された番組は表示されません。

タイトル/チャプターについて

番組を録画すると、1 つのチャプターからなるタイトルとして記録されます。

録画開始　タイトル　終了
チャプター

HDD RAM 好みの位置で複数のチャプターに区切ることができます。(➜37,53)

タイトル
チャプター｜チャプター｜チャプター｜チャプター

最大記録数

HDD
タイトル：　500
チャプター：1 タイトルあたり約 1000
(記録状態によって変化します)

RAM DVD-R
タイトル：　99
チャプター：約 1000
(記録状態によって変化します)

- HDD RAM 好みのチャプターを集めてプレイリストを作成できます。(➜54)
- 二重放送の番組の CM 部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。
- DVD-R では、ファイナライズ(➜58)すると自動的に約 5 分ごとのチャプターが作成されます。

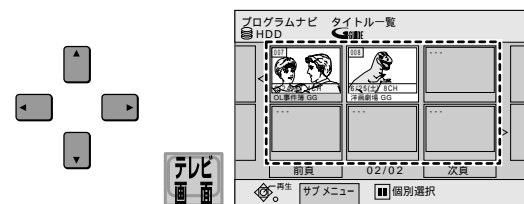
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、編集したい番組(タイトル)が入っている HDD またはディスクを選ぶ。
- 番組(タイトル)を編集するときは、ディスク(➜58)やカートリッジ(➜39)のプロテクトを解除しておく。RAM

タイトルを選ぶ/再生する HDD RAM DVD-R

1 再生中または停止中に、

プログラムナビ(トップメニュー)
- タイトル一覧が表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]で再生または編集するタイトルを選ぶ

テレビ画面

■ **再生する** ➡ 決定 を押す
- リストが消え、選んだ番組をそのまま見ることができます。

■ **編集する** ➡ サブ メニュー を押す(手順 3 へ)

タイトルを編集する HDD RAM DVD-R

編集するときのみ

3 [▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

- “タイトル編集”を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

編集の各項目については(➜50～51)
“チャプター一覧へ”を選んだ場合は(➜52 手順 5 へ)

■ **前後のページを表示する**
➡ [▲][▼][◀][▶]で“前頁”または“次頁”を選び、[決定]を押す
- [|◀◀][▶▶|]でもページの切り換えができます。

■ **まとめて編集する(複数のタイトルを選ぶ)**
➡ [▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(個別選択)
- が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

■ **前の画面に戻る** ➡ リターン(戻る) を押す

■ **画面を消す** ➡ プログラムナビ(トップメニュー) を押す

お願い/ヒント
- 録画中(➜38)、追っかけ再生中(➜ 左ページ)、ダビング中(➜86～112)などは編集できません。

録画しながら再生する　便利機能　プログラムナビを操作する

プログラムナビを操作する（つづき）

番組(タイトル)を選んで再生/編集する （つづき） HDD RAM DVD-R

● 49 ページ手順 1 〜 3 のあとに操作します。
● “ チャプター一覧へ ”を選んだ場合は
(➜52 手順 5 へ)

番組(タイトル)を消す タイトル消去 ／ HDD RAM DVD-R

[◄]で「消去」を選び、[決定]を押す
● DVD-R では、消去しても残量は増えません。
● 複数の番組(タイトル)をまとめて消去することもできます。
(まとめて編集する ➜49)

内容を確認する 内容確認 ／ HDD RAM DVD-R

● 録画日などが表示されます。

タイトル名を付ける タイトル名入力 ／ HDD RAM DVD-R

● 文字入力**(➜60)**

誤消去防止の設定/解除 プロテクト設定 プロテクト解除 ／ HDD RAM

番組を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。

[◄]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す

● プロテクト設定すると 🔒 が表示されます。
● 複数の番組(タイトル)をまとめて設定・解除することもできます。
(まとめて編集する ➜49)

CM などの不要な部分を消す 部分消去 ／ HDD RAM

映像を見ながら消去する部分を指定する

イン点 アウト点

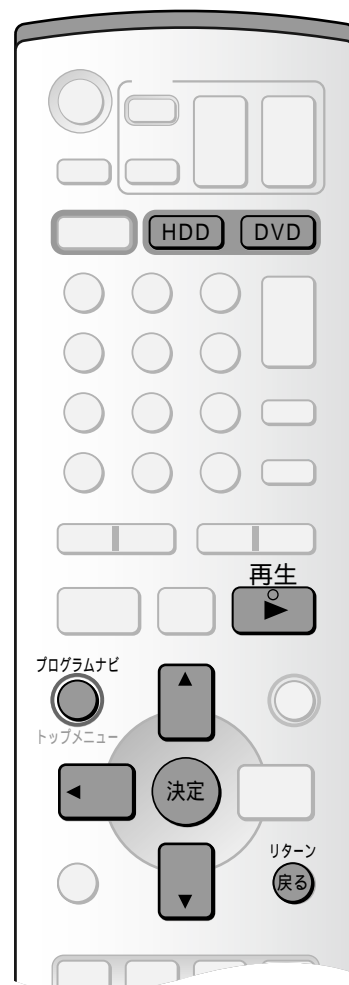
1 消去する部分の開始点(イン点)で[決定]を押す

2 消去する部分の終了点(アウト点)で[決定]を押す

3 [▼]で「終了」を選び、[決定]を押す

■ 続けて別の不要な部分を消去するとき
●「次へ」を選んで**[決定]**を押し、手順 4 へ

4 [◄]で「消去」を選び、[決定]を押す

編集中の便利な機能(➜ 右ページ)

■ 前の画面に戻る ➜ 戻る を押す

■ 画面を消す ➜ を押す

お願い/ヒント

● 消去すると、消去する番組(タイトル)から作られたプレイリストも含み、元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから行ってください。
● 録画中**(➜38)**、追っかけ再生中**(➜48)**、ダビング中**(➜86 〜 112)**などは編集できません。

タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する

サムネイル変更

HDD RAM DVD-R

映像を見ながら場面を指定する

最初は番組(タイトル)の先頭の画像が表示されます。

再生

1 [再生 ▶]を押す

2 表示させたい場面で[決定]を押す

3 「終了」が選ばれた状態で、[決定]を押す

決定

編集中の便利な機能(➜ 下記)

1つの番組(タイトル)を2分割する

タイトル分割

HDD RAM

実行すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 分割する位置で[決定]を押す

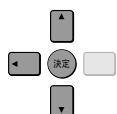
2 [▲][▼]で「終了」を選び、[決定]を押す

■ **分割点を確認するとき**

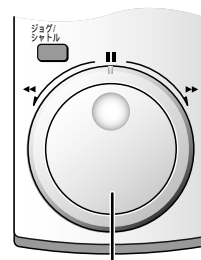
- [▲][▼]で「プレビュー」を選び、[決定]を押す(分割点の前後10秒間を再生します)

■ **分割点を選び直すとき**

- [▲][▼]で「分割」をもう一度選んだあと、[再生 ▶]を押して再生し、分割したいところで[決定]を押す

3 [◀]で「分割」を選び、[決定]を押す

- タイトル名や番組の録画制限(➜14)などの情報は、分割した番組(タイトル)の両方に反映されます。
- 分割した点の前後で、映像や音声が一瞬途切れる場合があります。

編集中の便利な機能

- 早送りやスロー再生、タイムワープ、ジョグダイヤル、シャトルリングなど(➜35～37)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップを使ってチャプターを飛びこすことで、タイトルの終わりにも飛ぶことができます。

ジョグダイヤル/シャトルリング

タイトル一覧の表示方法を変更する

リスト表示

サムネイル表示

HDD RAM DVD-R

タイトル一覧の表示方法の設定ができます。(電源を切っても保持されます)

■ **リスト表示**

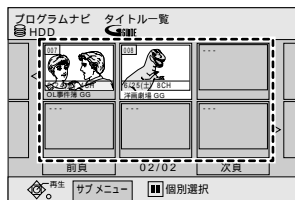
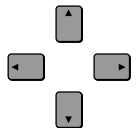
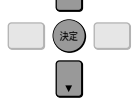
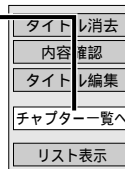
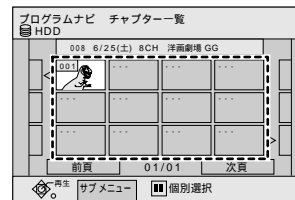
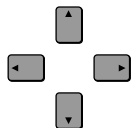
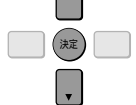
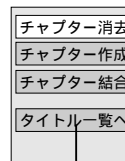
■ **サムネイル表示**

タイトル一覧の表示について

- ：書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組
- ：録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)
- X：HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
- ：録画中の番組
- ：HDDにリリーフ(代替)録画された番組(➜43)
- ：「1回だけ録画可能」の番組(➜14)
- P：PAL方式で録画された番組(再生できません)

プログラムナビを操作する(つづき)

チャプターを選んで再生 HDD RAM DVD-R /編集する HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[HDD]**または**[DVD]**を押して、編集したいチャプターが入っている HDD またはディスクを選ぶ。
- チャプターを編集するときは、ディスク**(➜58)**やカートリッジ**(➜39)**のプロテクトを解除しておく。 RAM

■ **前後のページを表示する**

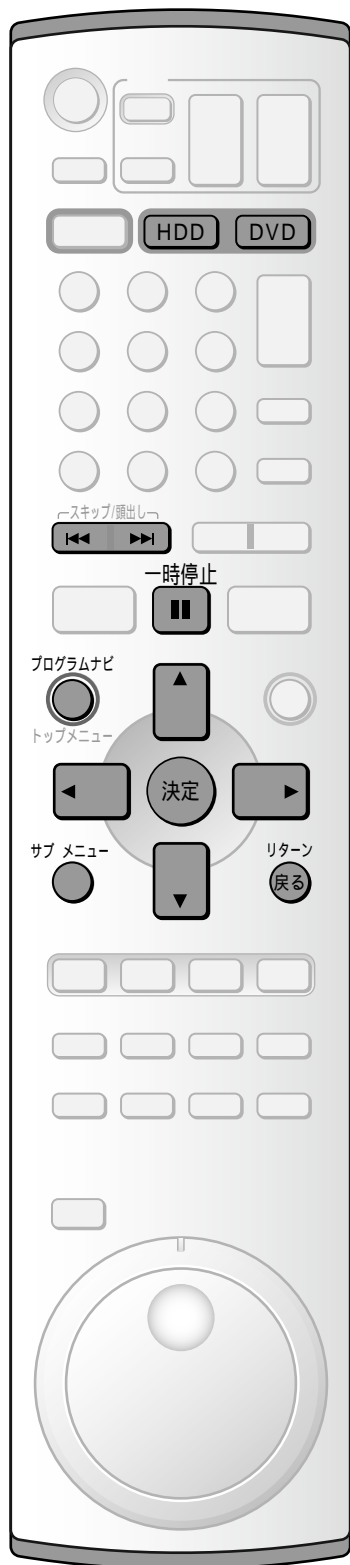
➡ **[▲][▼][◀][▶]**で“ 前頁 ”または“ 次頁 ”を選び、**[決定]**を押す

- [⏮][⏭]でもページの切り換えができます。

■ **まとめて編集する(複数のチャプターを選ぶ)**

➡ **[▲][▼][◀][▶]**で選び、**[一時停止❚❚]**を押す操作を繰り返す(個別選択)

- ☑ が表示されます。
  もう一度**[一時停止❚❚]**を押すと解除されます。

● 左ページ手順 1 ～ 6 のあとに操作します。

チャプターを消す

チャプター消去

HDD RAM

[◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

● 複数のチャプターをまとめて消去することもできます。
(まとめて編集する ➜ 左ページ)

チャプターを作成する

チャプター作成

HDD RAM

映像を見ながら区切りたい部分を指定する

1 チャプターを区切る位置で[決定]を押す

2 [▲][▼]で「終了」を選び、[決定]を押す

● 繰り返して複数の位置を指定できます。
● 早送りやスロー再生、タイムワープ、ジョグダイヤル、シャトルリングなど(➜35 ～ 37)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
● スキップを使ってチャプターを飛びこすことで、タイトルの終わりにも飛ぶことができます。

ジョグダイヤル/シャトルリング

チャプターをつなぐ

チャプター結合

HDD RAM

[◀]で「結合」を選び、[決定]を押す

●選んだチャプターと次のチャプターが 1 つのチャプターになります。

■ **前の画面に戻る** ➡ リターン 戻る を押す

■ **画面を消す** ➡ プログラムナビ トップメニュー を押す

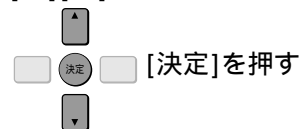
プレイリストを操作する

プレイリストを作成する HDD RAM

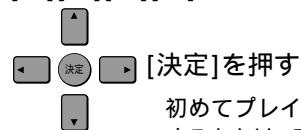
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、編集したい映像が入っている HDD またはディスクを選ぶ。
- ディスク(➜58)やカートリッジ(➜39)のプロテクトを解除しておく。 RAM

1 **停止中に、**

機能選択

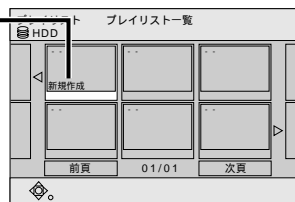
- 機能選択画面が表示されます。

2 **[▲][▼]で「プレイリスト」を選び、**

[決定]を押す

3 **[▲][▼][◀][▶]で「新規作成」を選び、**

[決定]を押す

- 初めてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定]を押してください。

4 **[◀][▶]で編集元タイトルを選び、**

[▼]を押す

■ タイトル内のチャプターをすべて選ぶ

➡ タイトルを選んだあと、**[決定]**を押す(手順 6 へ)

5 **[◀][▶]でプレイリストに加えたいチャプターを選び、**

[決定]を押す

- 編集元タイトルのチャプターを新たに作成することもできます。作成するには、[サブ メニュー]を押して“ チャプター作成 ”を表示させ、[決定]を押します。(➜53 へ)

6 **手順 5 で選んだチャプターの挿入位置を[◀][▶]で選び、**

[決定]を押す

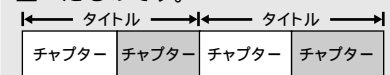
カーソルが移動します

- 手順 5 ～ 6 を繰り返すと、複数のチャプターを集められます。
- チャプターを選び直すときは、[▲]を押します。
- 別のタイトルを選ぶときは、[▲]を数回押して編集元タイトルの行を選び、手順 4 に戻ります。

作成が終わったら

- 選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

プレイリストとは

チャプター作成(➜53)で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。

- ダビング(➜88～95,104～112)すると、ダビング先ではタイトルになります。
- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元のタイトルやチャプターには影響しません。

最大記録数

プレイリスト：99

プレイリストのチャプター：約 1000

(記録状態によって変化します)

■ プレイリスト一覧の前後のページを表示する

➡ **[▲][▼][◀][▶]**で“ 前頁 ”または“ 次頁 ”を選び、**[決定]**を押す

- [⏮][⏭]でもページの切り換えができます。

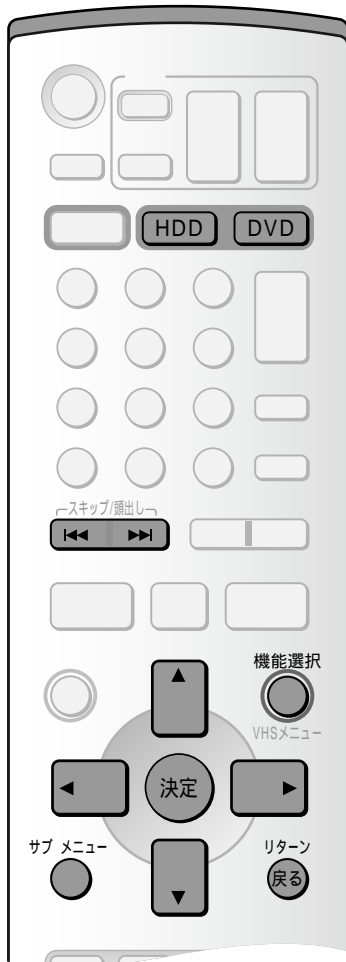
■ 前の画面に戻る ➡ 戻る を押す

■ 画面を消す ➡ 戻る を数回押す

お願い/ヒント

- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成はできません。

プレイリストを再生する HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、再生したい映像が入っている HDD またはディスクを選ぶ。
- プレイリスト作成(➜ 左ページ)済みのディスクを入れる。 RAM

プレイリストを選ぶ/再生する HDD RAM

1 機能選択
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「プレイリスト」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼][◀][▶]で再生するプレイリストを選ぶ

■ **再生する** ➡ 決定 を押す

■ **チャプターを選ぶ** ➡ サブ メニュー を押す(手順 4 へ)

プレイリストのチャプターを再生する HDD RAM

チャプターを選んで再生するときのみ

4 [▲][▼]で " チャプター一覧へ " を選び、[決定]を押す

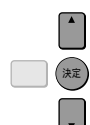
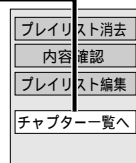
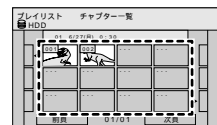
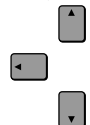
プレイリスト消去
内容確認
プレイリスト編集
チャプター一覧へ

5 [▲][▼][◀][▶]で再生するチャプターを選ぶ

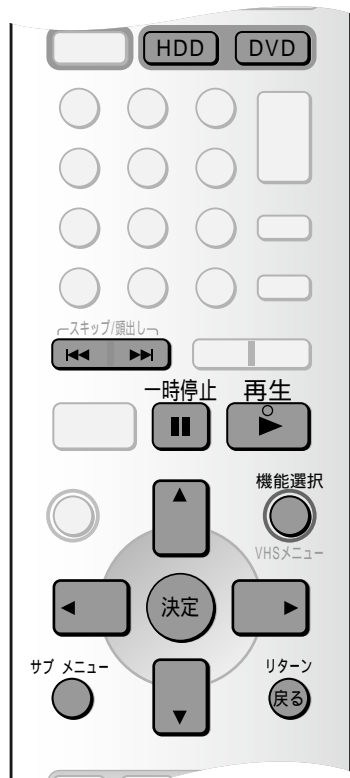
6 決定

■ **前後のページを表示する**
➡ [▲][▼][◀][▶]で" 前頁 "または" 次頁 "を選び、[決定]を押す
- [⏮] [⏭] でもページの切り換えができます。

■ **前の画面に戻る** ➡ リターン 戻る を押す

■ **画面を消す** ➡ リターン 戻る を数回押す

プレイリストを操作する（つづき）

プレイリストを編集する HDD RAM

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、編集したい映像が入っているHDDまたはディスクを選ぶ。
- プロテクトを解除し(ディスク ➜58、カートリッジ ➜39)、プレイリスト作成(➜54)済みのディスクを入れる。RAM

■ 前後のページを表示する

➡ [▲][▼][◀][▶]で“前頁”または“次頁”を選び、[決定]を押す

- [|◀◀][▶▶|]でもページの切り換えができます。

■ まとめて編集する(複数のプレイリスト/チャプターを選ぶ)

➡ [▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止▮▮]を押す操作を繰り返す(個別選択)

- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止▮▮]を押すと解除されます。

■ 前の画面に戻る ➡ を押す

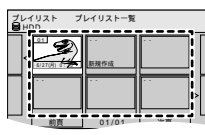
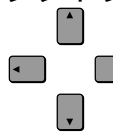
■ 画面を消す ➡ 戻る を数回押す

お願い/ヒント
- プレイリストのチャプターを編集しても、元のタイトルやチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの編集はできません。

プレイリストを選ぶ/編集する HDD RAM

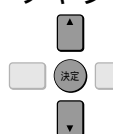
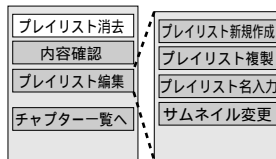
1 [機能選択]
- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「プレイリスト」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼][◀][▶]で編集するプレイリストを選ぶ

4 [サブ メニュー]

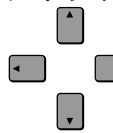
5 [▲][▼]で編集する項目または“チャプター一覧へ”を選び、[決定]を押す

プレイリスト消去 / 内容確認 / プレイリスト編集 / チャプター一覧へ

プレイリスト新規作成 / プレイリスト複製 / プレイリスト名入力 / サムネイル変更

“プレイリスト編集”を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

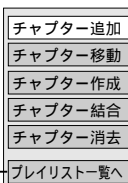
プレイリストのチャプターを編集する HDD RAM

“チャプター一覧へ”を選んだ場合のみ

6 [▲][▼][◀][▶]で編集するチャプターを選ぶ

7 [サブ メニュー]

8 [▲][▼]で編集する項目を選び、[決定]を押す

チャプター追加 / チャプター移動 / チャプター作成 / チャプター結合 / チャプター消去 / プレイリスト一覧へ

プレイリスト一覧に戻る ― プレイリスト一覧へ

● 左ページ手順１～５のあとに操作します。

プレイリストを消す プレイリスト消去	**[◀]で「消去」を選び、[決定]を押す** ● **消去したプレイリストは、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。** ●複数のプレイリストをまとめて消去することもできます。**(まとめて編集する ➜ 左ページ)**
内容を確認する 内容確認	●作成日などが表示されます。
作成する プレイリスト新規作成	●プレイリストを新しく作成します。**(➜54)**
プレイリストを複製する プレイリスト複製	**[◀]で「複製」を選び、[決定]を押す** ● 最も新しいプレイリストとして複製されます。 ●複数のプレイリストをまとめて複製することもできます。**(まとめて編集する ➜ 左ページ)**
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	●文字入力**(➜60)**
プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を選ぶ サムネイル変更	映像を見ながら場面を指定する 再生 **1 [再生 ▶]を押す** **2 表示させたい場面で[決定]を押す** **3 「終了」が選ばれた状態で、[決定]を押す** テレビ画面 決定 **編集中の便利な機能** ● 早送りやスロー再生、タイムワープ、ジョグダイヤル、シャトルリングなど**(➜35～37)**を使うと、目的の部分を探すのに便利です。 ジョグダイヤル/シャトルリング

● 左ページ手順１～８のあとに操作します。

チャプターを追加する チャプター追加	 **1 [◀][▶]で追加元のタイトル(編集元タイトル)を選び、[▼]を押す** **2 [◀][▶]でプレイリストに追加するチャプター(編集元チャプター)を選び、[決定]を押す** **3 追加するチャプターの挿入位置を[◀][▶]で選び、[決定]を押す** ● 詳しくは **➜54 手順４～６**
チャプターを移動する チャプター移動	 **[▲][▼][◀][▶]で移動先を選び、[決定]を押す**
チャプターを作成する チャプター作成	映像を見ながら区切りたい部分を指定する **1 区切る位置で[決定]を押す** **2 [▲][▼]で「終了」を選び、[決定]を押す** ● 繰り返して複数の位置を指定できます。 **編集中の便利な機能(➜ 上記)**
チャプターをつなぐ チャプター結合	**[◀]で「結合」を選び、[決定]を押す** ●選んだチャプターと次のチャプターが１つのチャプターになります。
チャプターを消す チャプター消去	**[◀]で「消去」を選び、[決定]を押す** ● チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。 ● 複数のチャプターをまとめて消去することもできます。**(まとめて編集する ➜ 左ページ)**

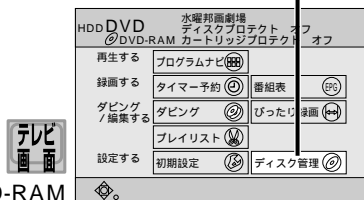
ディスクを整理する

ディスク管理 HDD RAM DVD-R

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25,33)
- [HDD]または[DVD]を押して、編集したい映像が入っている HDD またはディスクを選ぶ。
- ディスク(➔ 右記)やカートリッジ(➔39)のプロテクトを解除しておく。RAM

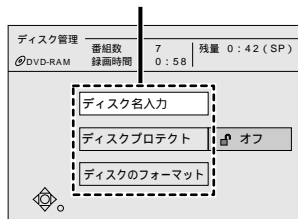
1 停止中に、機能選択

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]で「ディスク管理」を選び、

例)DVD-RAM

[決定]を押す

3 [▲][▼]で整理したい項目を選び、

ディスク管理 / DVD-RAM / 番組数 7 / 録画時間 0:58 / 残量 0:42 (SP)
ディスク名入力
ディスクプロテクト オフ
ディスクのフォーマット

[決定]を押す

- HDD を選んでいるときは、「HDD のフォーマット」のみ表示されます。

■ **途中でやめる** ➡ リターン 戻る を押す

■ **画面を消す** ➡ リターン 戻る を数回押す

お願い/ヒント
- フォーマットを実行すると、元に戻すことができません。すべて消してよいか確認してから行ってください。(番組(タイトル)やディスクにプロテクトを設定していても消去されます)
- DVD-R をファイナライズすると…
  - ・**再生専用となり、録画や編集はできなくなります。**
  - ・高速モードでダビングした番組(タイトル)では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  - ・DVD-R に直接録画した番組(タイトル)や、高速モード以外でダビングした番組(タイトル)では、約 5 分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します)
  - ・番組(タイトル)のつなぎ目が数秒間静止するようになります。

ディスク名を付けたいとき
ディスク名入力
RAM DVD-R

誤消去防止の設定/解除
ディスクプロテクト
RAM

内容を消去したいとき
HDD のフォーマット
HDD
ディスクのフォーマット
RAM
(フォーマット ➔115)

DVD-R を他のプレーヤーで再生したいとき
トップメニュー
ファーストプレイ選択
ファイナライズ
DVD-R
(ファイナライズ ➔115)

ディスクごとにタイトルを付けることができます。

- 文字入力(➜60)
- ディスクプロテクト(➜ 下記)やカートリッジのプロテクト(➜39)を設定しているとタイトルを入力できません。プロテクトを解除してください。

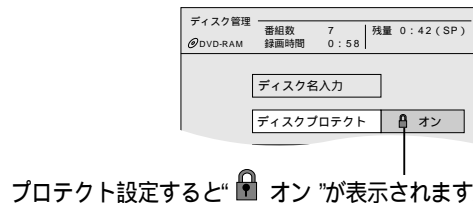
入力したディスク名は、[機能選択]を押すと表示されます。

テレビ画面

例)DVD-RAM

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、

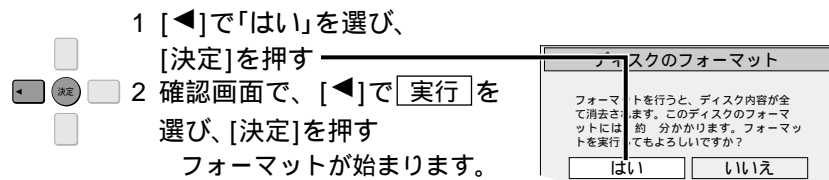
[決定]を押す

プロテクト設定すると“ オン ”が表示されます。

■ HDDのフォーマット

HDDの内容をすべて消去する場合に行います。

■ ディスクのフォーマット

フォーマットされていないディスクを使う前や、ディスクの内容をすべて消去する場合に行います。

1. **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す**
2. **確認画面で、[◀]で 実行 を選び、[決定]を押す**
   - フォーマットが始まります。

- RAM フォーマットを中止するには、**[リターン/戻る]**を押す。(フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません)
- DVD-RやCD-R/RWはフォーマットできません。

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源を「切」にしたり、電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。
(通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります)

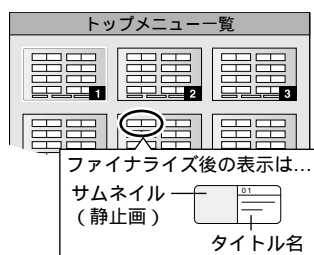
本機で録画したDVD-Rをファイナライズすると、DVD-Rに対応したDVDプレーヤーでDVDビデオ規格に準拠した“DVDビデオ”として再生できます。また、ファイナライズ後のディスクの再生時に、最初にメニューを表示させるかどうかを**「ファーストプレイ選択」**で選んだり、表示されるメニューの背景を**「トップメニュー」**で設定することができます。

	ファイナライズ	
	前	後
本機でのディスク表示	DVD-R	DVD-V
録画・編集／タイトル名入力	○	×
他のプレーヤーで再生	×	○

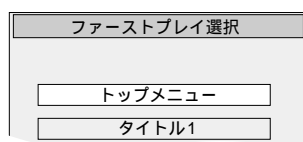
- 本機以外で録画したDVD-Rはファイナライズできない場合があります。
- 本機以外の当社製機器で録画したDVD-Rをファイナライズすると、トップメニューで選んだ背景にならない場合があります。
- 本機でファイナライズされたDVD-Rは、当社製DVD-R対応のDVDプレーヤーで再生可能となりますが、ご使用いただくDVDプレーヤー、DVD-Rディスクや記録状態などによっては再生できない場合があります。この場合は本機でお楽しみください。

録画したDVD-Rの再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/dvd/

■ トップメニュー

[▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、[決定]を押す
- トップメニューに表示される画像は変更できます。**(サムネイル変更 ➜51)**

■ ファーストプレイ選択

[▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、[決定]を押す
- 「タイトル 1」を選ぶと、メニュー画面を表示せずにディスクの先頭から再生します。

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

■ ファイナライズ

- **上記の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は、必ずファイナライズ前に行ってください。**

1. **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す**
2. **確認画面で、[◀]で 実行 を選び、[決定]を押す**
   - ファイナライズが始まります。

ファイナライズ
ファイナライズが選択されました。
ファイナライズには、約○分かかります。
ファイナライズを実行してもよろしいですか？
はい　いいえ

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源を「切」にしたり、電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなります。
(最大約15分かかる場合があります)

文字入力

タイトル名などを入力する HDD RAM DVD-R

録画した番組(タイトル)などに名前を付けたり、番組表で検索するキーワードを入力します。

1 入力画面を表示する

■ 予約録画する番組(タイトル)に名前を付ける HDD RAM DVD-R
➡「タイトル名入力」を選ぶ(➜42 手順 3、➜44 手順 3)

■ 録画した番組(タイトル)に名前を付ける HDD RAM DVD-R
➡「タイトル名入力」を選ぶ(➜49 手順 3)

■ プレイリストに名前を付ける HDD RAM
➡「プレイリスト名入力」を選ぶ(➜56 手順 5)

■ ディスクに名前を付ける RAM DVD-R
➡「ディスク名入力」を選ぶ(➜58 手順 3)

■ 番組表で検索するキーワードを入力する
➡ (ジャンル/キーワードで番組を探して予約する ➜43)

数字ボタンで選ぶ(➜右記)

2 入力する文字の種類を選ぶ

[▲][▼][◀][▶](または[|◀◀]、[▶▶|])で選び、[決定]を押す

- 「ひらがな」、「全角カナ」、「半角英数」、「全角記号」から選びます。
- 漢字を入力するときは、まず「ひらがな」を選びます。

3 入力する文字を選ぶ

[▲][▼][◀][▶]で選び、[決定]を押す

- 確定文字表示欄では“ _ ”の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

■ ひらがなを入力する

- 上記手順 3 で、文字変換表示欄に文字が表示されます。

➡ **[▲][▼][◀][▶]で「確定(▶▶)」を選び、[決定]を押す**

■ ひらがなを漢字変換する

- 上記手順 3 で、文字変換表示欄に文字が表示されます。

➡ **1 [▲][▼][◀][▶]で「変換(▶)」を選び、[決定]を押す**
- 変換候補選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
- 「前頁」または「次頁」を選び、**[決定]**を押すと、前または次の文字候補選択画面が表示されます。
- 「取消」を選び、**[決定]**を押すと、タイトル入力画面に戻ります。

■ 消去する

- 確定文字表示欄の文字を消去する場合

➡ **[▲][▼][◀][▶]で文字を選んだあと、[▲][▼]で「消去(❚❚)」を選び、[決定]を押す**(選んだ文字が消去されます)

- 文字変換表示欄の文字を消去する場合

➡ **[▲][▼]で「消去(❚❚)」を選び、[決定]を押す**(末尾の文字が消去されます)

4 入力が終わったら

[▲][▼][◀][▶]で「終了(■)」を選び、[決定]を押す

- “ 書き込み中です… ”と表示されたあと、タイトル一覧などの画面に戻ります。

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD	タイトル名※	64	32
RAM	プレイリスト名	64	32
RAM	ディスク名	64	32
DVD-R	タイトル名	44	22
	ディスク名	40	20
番組表	キーワード	30	15

※予約録画時　半角英数：44 文字
　　　　　　　その他：　22 文字

お願い/ヒント

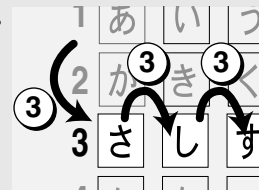
- 入力したすべての文字が表示されない場合があります。

カーソルボタンを使わずに文字を入力することもできます。

[1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す。
- 「さ」行に移動します。

2 [3]を 2 回押し、決定 を押す。
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

入力画面

さらに、下記のボタンでは画面の表示を選ばなくても、直接機能が働きます。

[▶]　：変換
[▶▶]：確定
[❚❚]　：消去
[■]　：終了

■ 途中で終わる

➡ を数回押す

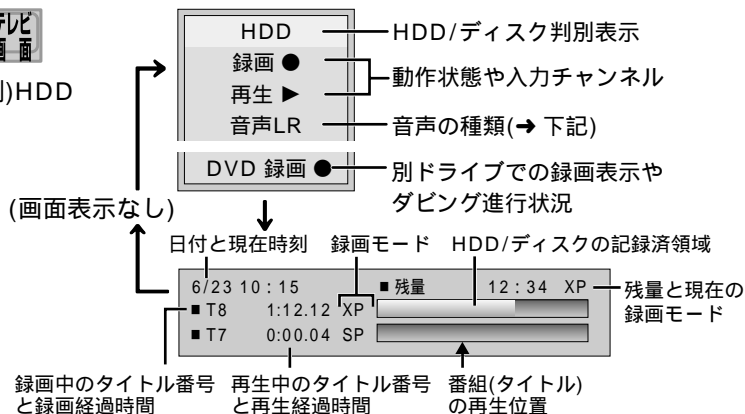
(文字は入力されません)

画面表示・音声切換 HDD DVD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。

操作の状態を確認する(情報表示)

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

押すごとに切り換わります
- 残量の数字は目安です。

音声の種類を切り換える HDD RAM DVD-A DVD-V VCD

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。
- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2 カ国語オート再生)

押すごとに切り換わります

■ テレビ放送受信中

ステレオ放送：
ステレオ音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

二重放送（2カ国語放送など）：
主音声+副音声 ➜ 主音声 ➜ 副音声

モノラル放送（外部入力チャンネルも含む）：
左音声+右音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

■ 録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組：
ステレオ音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

二重音声の放送（2カ国語など）：
主音声+副音声 ➜ 主音声 ➜ 副音声

モノラルの番組：
左音声+右音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

2 カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2 カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・外部入力録画または“ TP ”チャンネル(➜87)で録画したディスクを再生中
  - ・[音声]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)

お願い/ヒント

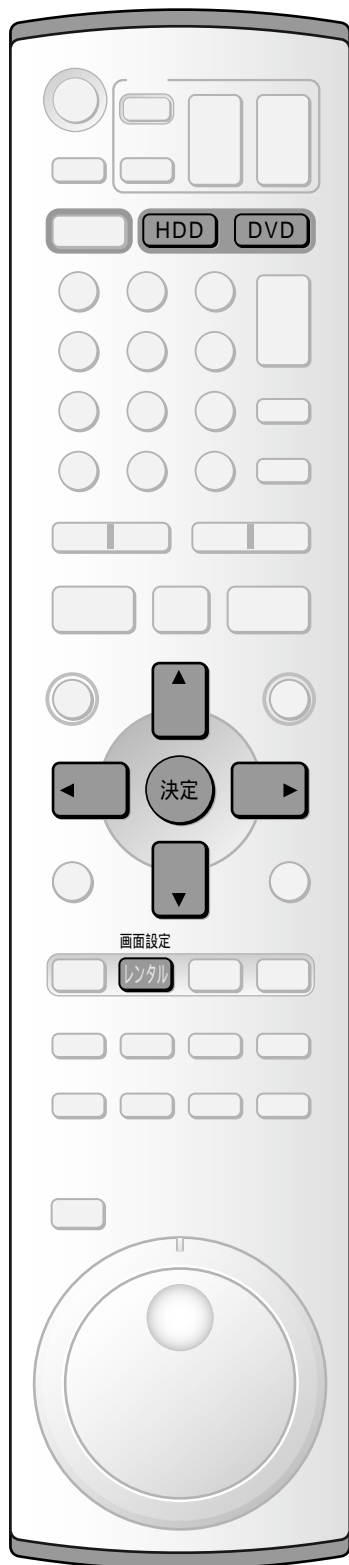
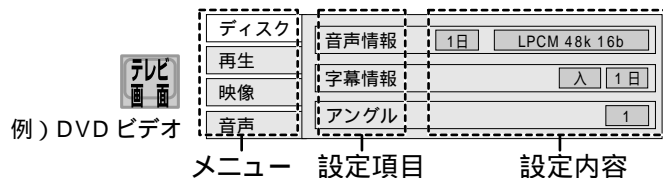
- モノラル音声を再生する場合、切り換えに関係なくすべてモノラルとなります。
- 外部入力から録音する場合、入力した音声(L や R)のまま出力されます。
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声に影響はありません。
- ディスクに収録されている音声が切り換わります。 DVD-A DVD-V VCD
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・「DVD」選択中、ディスクトレイに DVD-R が入っているとき
  - ・録画モードが「XP」で、「記録音声モードの設定〔XP 時〕」(➜67)が「LPCM」になっているとき
  - ・「DVD-R 高速モード用録画」が「入」になっているとき
  - ・HDD または DVD から VHS へのワンタッチダビング(➜92,108)の実行中
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**の「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、二重音声などを切り換えできません。
  以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。
  - ・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(➜67)
  - ・音声コード(別売)も音響機器に接続(➜23)し、音響機器側で入力を切り換える。

画面設定を操作する

ディスクの再生方法を設定する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。

1
- 画面設定画面が表示されます。

例）DVD ビデオ

- DVD 選択中、本機にディスクが入っていないときは、**画面設定**表示は出ません。
- 設定できるメニューのみ表示されます。

2 **[▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す**

3 **[▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す**

4 **[▲][▼]で設定を変える**

- **[決定]**を押して設定変更を実行するものもあります。

■ **画面設定表示を消す** ➡ **[画面設定]**を押す

ディスク独自の機能を設定する ディスク

音声情報※ DVD-A DVD-V
音声や言語を選びます。**(音声属性/言語 ➜ 下記)**
- HDD RAM DVD-R 音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-A DVD-V
字幕表示の切/入や、言語を選びます。**(言語 ➜ 下記)**
- HDD RAM DVD-R 切/入のみ(字幕の切/入情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません)

音声チャンネル HDD RAM VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-A DVD-V
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
- スライドショー ：決められた順番で再生
- ページ ：静止画を選んで再生
  - ・ランダム ：順不同に再生
  - ・リターン ：決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(➜115) VCD
PBC 付きビデオ CD でメニューの「入」、「切」が確認できます。
(変更はできません)

※ ディスクに収録されているメニュー画面(➜34)でのみ切り換えできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

お好みの再生方法を設定する 再生

リピート(経過時間が表示されるときのみ)
指定した内容を繰り返し再生します。
- All ：ディスク全体 VCD CD (MP3を除く)
- Title ：タイトル全体 HDD RAM DVD-R DVD-V
- Chapter ：チャプター HDD RAM DVD-R DVD-V
- PL ：プレイリスト HDD RAM
- Group ：グループ全体 DVD-A MP3
- Track ：トラック DVD-A VCD CD MP3

自動 CM 早送り HDD RAM **(音声が下記の場合のみ)**
CM を自動的にとばして再生します。

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

- 早見再生中(➜36)は働きません。
- 外部入力から録画した番組では働きません。
- 電源を切ると「切」になります。
- 録画内容により、正しく働かないことがあります。

お好みの画質を設定する 映像

画質選択
映像ディスク再生時の画質を選びます。
- **ノーマル** ：標準
- **ソフト** ：ざらつきの少ない柔らかな画質
- **ファイン** ：輪郭の強調されたくっきりした画質
- **シネマ** ：映画鑑賞向け
- **ユーザー** ：さらに画質を調整
  [◀][▲][▼]で「詳細画質設定」を選び、**[決定]**を押す
  - ・コントラスト(白黒の強弱)
  - ・ブライトネス(画面全体の明るさ)
  - ・シャープネス(鮮やかさ)
  - ・カラー(色の濃さ)
  - ・ガンマ(暗くて見えにくい映像の輪郭)
  - ・3 次元 NR(画面全体のノイズを除去)
  - ・インテグレイティッド DNR(動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正)

MPEG-DNR
(画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ)
「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ(➜23)
プログレッシブ出力を切/入します。
- **初期設定**「接続する TV」で「プログレッシブ(525P)対応」を選んだ場合のみ設定できます。**(➜32,67)**
- 映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード
(「プログレッシブ」(➜ 上記)が「入」の場合のみ)
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
- **Auto1**(標準) ： 24 コマ/秒のフィルム素材を自動判別
- **Auto2** ： Auto1 に加えて、30 コマ/秒の DVD ビデオにも対応(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
- **Video** ： Auto1 または 2 でぶれが生じるとき

お好みの音声効果を設定する 音声

サラウンド(アドバンスドサラウンド)
HDD RAM DVD-R DVD-V
(ドルビーデジタル 2ch 以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
  (接続した機器のサラウンド機能も確認してください)
- 本機のチューナーで録音した二重音声には働きません。

シネマボイス DVD-A DVD-V
(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/ꟷꟷDigital/DTS/MPEG ：信号タイプ
ch ：チャンネル数　k ：サンプリング周波数(kHz)
b ：ビット数(bit)

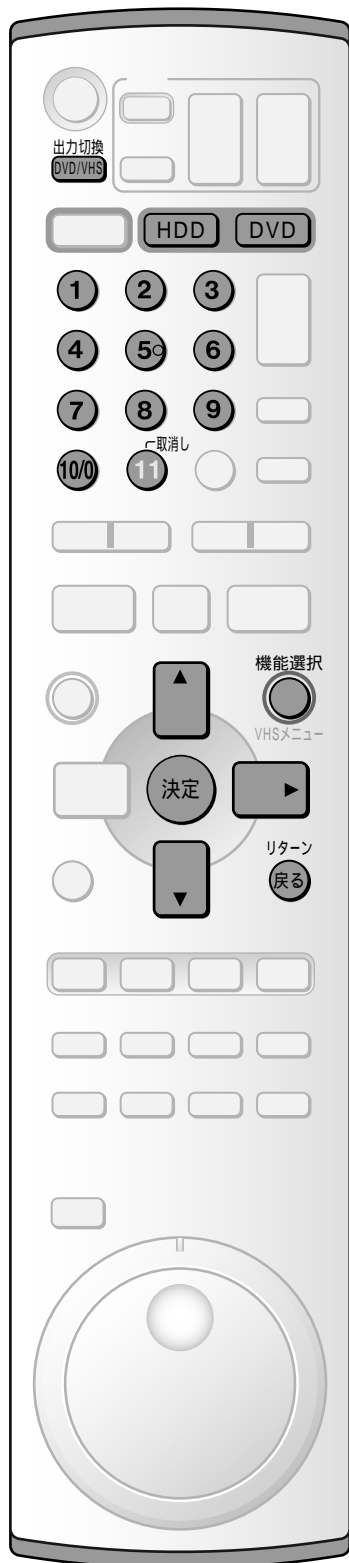
〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語	独：ドイツ語
伊：イタリア語	西：スペイン語	蘭：オランダ語	中：中国語
露：ロシア語	韓：韓国語	＊：その他	

初期設定を変える

いろいろな項目の設定を変える

初期設定の内容(➜65～67)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

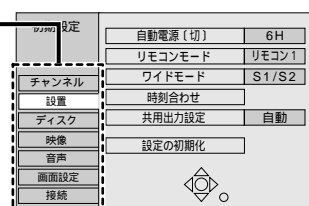
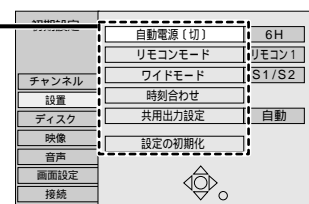
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。

例)「自動電源〔切〕」の設定を変える場合

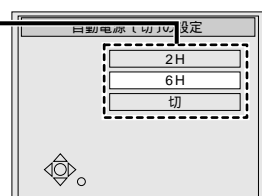
1 停止中に、

機能選択

- 機能選択画面が表示されます。

2 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定内容を選び、[決定]を押す

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ リターン 戻る を押す

■ **初期設定画面を消す** ➡ リターン 戻る を数回押す

お願い/ヒント
- 操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容
チャンネル	**市外局番チャンネル設定(➜26)**	▶ **市外局番入力**
	マニュアルチャンネル設定(➜28)	▶**Po** ▶**CH** ▶ **表示** ▶ **放送局名** ▶ **微調整**
	番組表設定(➜30)	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	G ガイド地域(➜31)	お住まいの地域を設定します。
	ホスト局(➜31)	番組表データの送信局を設定します。
	データ受信時刻(➜31) **通常は変更しないでください。**	▶ **自動(工場出荷時)** ▶ **時/分**： **[取消し]**を押した場合やデータ受信後は、「自動」に戻ります。
設置	**自動電源〔切〕** 節電のため、操作しないときに電源を自動的に切る時間を設定します。	▶**2H** ▶**6H(工場出荷時)** ▶ **切**
	リモコンモード(➜68)	▶ **リモコン 1(工場出荷時)** ▶ **リモコン 2** ▶ **リモコン 3**
	ワイドモード テレビの S 映像入力に合わせて出力を設定します。**(➜22)**	▶ **S 1** ：テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ▶ **S 1/S 2(工場出荷時)** ：テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶ **切** ：S 映像入力に接続しないとき。
	時刻合わせ(➜69)	▶**(年/月/日/時/分)** ▶ **自動時刻チャンネル**
	共用出力設定 本機後面の DVD/VHS 共用出力端子からの出力切換方法を選びます。	▶ **自動(工場出荷時)**： 操作や本機の動作に応じて、自動的に出力を切り換えるとき。 ● **[出力切換 DVD/VHS]**を押しても切り換えできます。 ▶ **手動**： DVD と VHS の出力を手動で切り換えるとき。 ● **[出力切換 DVD/VHS]**を押すごとに切り換わります。
	設定の初期化	▶ **する**：初期設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (チャンネルの設定、時刻、視聴制限は除く) ▶ **しない(工場出荷時)**
ディスク	**言語**	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	音声言語 DVD ビデオ再生時の音声を選びます。	▶ **日本語(工場出荷時)** ▶ **英語** ▶ **オリジナル**(ディスクの最優先言語で再生) ▶ **その他＊＊＊＊**
	字幕言語 DVD ビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ **オート(工場出荷時)**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **日本語(工場出荷時)** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊** **＊には[1]～[10/0]で言語番号(➜66,67)を入力** (選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(**➜34**)でのみ切り換えるものもあります)
	視聴制限 DVD ビデオの視聴制限ができます。 ● 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号(4 けた)を入力してください。 ● 暗証番号は忘れないでください。	▶ **レベル 8 すべて視聴可(工場出荷時)**：すべてのディスクが視聴可。 ▶ **レベル 7～1** ：制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶ **レベル 0 すべて視聴不可**：すべてのディスクが視聴不可。 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **レベル変更** ▶ **一時解除**
	EP 時の記録時間 録画モードが EP 時の最大記録時間を選びます。**(録画モード ➜41)**	▶**EP (6H)** ： 4.7 GB ディスクに 6 時間記録 ▶**EP (8H)(工場出荷時)** ： 4.7 GB ディスクに 8 時間記録 ● EP 時の音質は、6 時間の方が高音質です。
	DVD-Audio の Video モード再生 DVD オーディオに収録された DVD ビデオ映像を再生します。	▶ **入** (電源「切」または [⏏開/閉] で「切」に戻ります) ▶ **切(工場出荷時)**
	DVD-R 高速モード用録画 HDD から DVD-R に高速モードでダビングするには、HDD への録画前に設定を「入」にしてください。画面サイズなど(**➜ 右記)**が制限されるため、DVD-R にダビングする録画以外の場合は、「切」にすることをおすすめします。	▶ **入**：高速モード対応する→**[決定]**を押して、さらに「はい」を選びます。 [ダビングリスト(**➜91**)に“ ”が表示されます] ● 画面サイズは 4:3、「ハイブリッド VBR」(**➜66**)は「ノーマル」になります。 ● 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(**➜66**)であらかじめ選んでください。 ▶ **切(工場出荷時)**

初期設定を変える(つづき)

いろいろな項目の設定を変える (つづき)

メニュー	設定項目	設定内容
映像	**3 次元 Y/C** 受信した映像信号を正確に Y(輝度信号)と C(色信号)に分離して記録します。	▶ **入(工場出荷時)**：受信映像の細かい模様のずれを抑えるとき。 ▶ **切**：動きの早い映像の録画時に起こる残像現象を軽減するとき。
	ハイブリッド VBR DVD-RAM に録画する映像のなめらかさを設定できます。 **(VBR ➜115)**	▶ **アドバンス**：解像度を自動で切り換え、ブロック状ノイズを軽減して VBR 方式で記録するとき。 HDD RAM ▶ **ノーマル(工場出荷時)** ：解像度を固定し、素材の解像度を落とさず VBR 方式で記録するとき。(動きの早い映像などをなめらかに再生します)
	スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 **(フレーム/フィールド ➜115)**	▶ **オート(工場出荷時)** ▶ **フィールド**：“ オート ”時にぶれが生じるときや、動きのある映像のとき。(粗めの画像を表示) ▶ **フレーム**：“ オート ”時に細かい絵柄などがはっきり見えないとき。(画質のよい画像を表示)
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。	▶ **入(工場出荷時)**：なめらかに再生(早見再生の音声やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶ **切**：精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	外部入力 NR テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。	▶ **自動(工場出荷時)** ：テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき。 ▶ **入**：テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき。 ▶ **切**：映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき。 ● 「自動」や「入」で映像処理を行っているときは、「3 次元 Y/C」(**➜ 上記**)は働きません。
	S-VHS ダビング設定 S-VHS 方式または S-VHS ET 方式で記録されたテープから HDD またはディスクへダビングするときに、S-VHS 方式でダビングするか、SQPB でダビングするかを選びます。**(➜99)**	▶**S-VHS 再生(工場出荷時)**： S-VHS 方式のまま再生し、ダビングするとき。Y(輝度信号)の帯域が広いままでダビングできるので、より高画質となります。 ▶**SQPB**： VHS 方式で再生し、ダビングするとき。(S-VHS 本来の高画質にはなりません)
音声	**早送り時の音声と 1.3 倍速再生** ● 設定にかかわらず音声が聞こえるディスクがあります。	▶ **入(工場出荷時)**：早送り 1 速時(▶▶····)に音声が聞こえるようにする、または早見再生が働くようにするとき。 ▶ **切**：早送り 1 速時(▶▶····)の音声を消すとき、または早見再生が働かないようにするとき。
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶ **入**(ドルビーデジタルの音声にのみ働きます) ▶ **切(工場出荷時)**
	二重放送音声記録 二重放送の音声を選びます。 ● DVD-R に録画/ダビングする場合 ● LPCM で録画/ダビングする場合	▶ **主音声(工場出荷時)** ▶ **副音声** ● ビデオからのダビングなど、外部入力から DVD-R に録画する場合(**➜113**)は、本機では設定できません。接続した機器側で選んでください。

言語番号一覧表

アイスランド..........7383
アイマラ..........6588
アイルランド..........7165
アゼルバイジャン..........6590
アッサム..........6583
アファル..........6565
アフリカーンス..........6570
アブハジア..........6566
アムハラ..........6577
アラビア..........6582
アルバニア..........8381
アルメニア..........7289
イタリア..........7384
イディッシュ..........7473
インターリングア..........7365
インドネシア..........7378
ウェールズ..........6789
ウォロフ..........8779
ヴォラピュック..........8679
ウクライナ..........8575
ウズベク..........8590
ウルドゥー..........8582
英語..........6978
エストニア..........6984
エスペラント..........6979
オーリヤ..........7982
オランダ..........7876
カザフ..........7575
カシミール..........7583
カタロニア..........6765
ガリチア..........7176
韓国(朝鮮)語..........7579
カンナダ..........7578
カンボジア..........7577
キルギス..........7589
ギリシャ..........6976
クルド..........7585
クロアチア..........7282
グアラニー..........7178
グジャラト..........7185
グリーンランド..........7576
グルジア..........7565
ケチュア..........8185
ゲール
(スコットランド)..........7168
コーサ..........8872
コルシカ..........6779
サモア..........8377
サンスクリット..........8365
ショナ..........8378
シンド..........8368
シンハラ..........8373
ジャワ..........7487
スウェーデン..........8386
スロバキア..........8375
スロベニア..........8376
スワヒリ..........8387
スンダ..........8385
スペイン..........6983
ズールー..........9085
セルビア..........8382
セルボクロアチア..........8372
ソマリ..........8379

メニュー	設定項目	設定内容
音声	**デジタル出力**	→[決定]を押して、さらに設定します。
音声	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数 96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶ **入**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶ **切(工場出荷時)**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 ● 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは、44.1 kHzに変換されます。
音声	**Dolby Digital** ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶ **Bitstream(工場出荷時)**： ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶ **PCM**： ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 DOLBY DIGITAL ドルビーデジタル DIGITAL dts SURROUND DTSデジタルサラウンド
音声	**DTS** DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶ **Bitstream**： DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶ **PCM(工場出荷時)**： DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。
音声	**記録音声モードの設定〔XP時〕** 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。(XPでの録画時やダビング時に働きます)	▶ **Dolby Digital(➜115)(工場出荷時)** ▶ **LPCM(➜115)**： ● 画質は少し下がります。 ● XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ● 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(**➜ 左ページ**)であらかじめ選んでください。
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶ **入(工場出荷時)**　▶ **切**(表示しない)
画面設定	**ブルーバック**	▶ **入(工場出荷時)** ▶ **切**：チャンネル受信の信号が弱いときに画面背景を表示しないようにするとき。
画面設定	**FLディマー** 本体表示窓の明るさを調節します。 ●「オート」を選ぶと、時刻表示を消灯しているときの消費電力は約1.0ワットになります。	▶ **常時 明(工場出荷時)**　▶ **常時 暗** ▶ **オート**： 再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ● ボタンを押すと一時的に明るくなります。
接続	**接続するTV** 接続したテレビに合わせて設定します。(**➜32**)	▶**4：3 インターレース(525I)(工場出荷時)**　▶**4：3 プログレッシブ(525P)対応** ▶**16：9 インターレース(525I)**　▶**16：9 プログレッシブ(525P)対応**
接続	**TVアスペクト(4：3)設定** 4：3テレビでの16：9映像の映しかたを選びます。 **DVD-Video**	▶ **パン＆スキャン(工場出荷時)**：左右の切れた映像で再生するとき。 ● パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶ **レターボックス**：上下に帯のある映像で再生するとき。
接続	**TVアスペクト(4：3)設定** **DVD-RAM**	▶ **スルー**：録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶ **パン＆スキャン**：左右の切れた映像で再生するとき。 ● パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶ **レターボックス(工場出荷時)**：上下に帯のある映像で再生するとき。

タイ……8472
タタール……8484
タミル……8465
タガログ……8476
タジク……8471
チェコ……6783
中国語……9072
チベット……6679
ティグリニア……8473
テルグ……8469
デンマーク……6865
トウイ……8487
トルクメン……8475
トルコ……8482
トンガ……8479
ドイツ……6869
ナウル……7865
日本語……7465
ネパール……7869
ノルウェー……7879
ハウサ……7265
ハンガリー……7285
バシキール……6665
バスク……6985
パシュト……8083
パンジャブ……8065
ヒンディー……7273
ビハール……6672
ビルマ……7789
フィジー……7074
フィンランド……7073
フェロー……7079
フランス……7082
フリジア……7089
ブータン……6890
ブルガリア……6671
ブルターニュ……6682
ヘブライ……7387
ベトナム……8673
ベロルシア(白ロシア)……6669
ベンガル(バングラ)……6678
ペルシャ……7065
ポーランド……8076
ポルトガル……8084
マオリ……7773
マケドニア……7775
マライ(マレー)……7783
マラッタ……7782
マラヤーラム……7776
マルタ……7784
マダガスカル……7771
モルダビア……7779
モンゴル……7778
ヨルバ……8979
ラオ……7679
ラテン……7665
ラトビア(レット)……7686
リトアニア……7684
リンガラ……7678
ルーマニア……8279
レトロマンス……8277
ロシア……8285

初期設定を変える(つづき)

リモコンモードを変更する

複数の当社製機器を同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

- 当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。
- 通常は工場出荷時のまま「リモコン 1」でお使いください。(当社製機器が本機しかないときなど)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。

時刻を合わせ直す

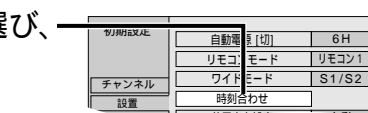
時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[HDD]**または**[DVD]**を押す。

1 **停止中に、**
機能選択
- 機能選択画面が表示されます。

2 **[▲][▼]で「初期設定」を選び、**
[決定]を押す

3 **[▲][▼]で「設置」を選び、**
[▶]を押す

4 **[▲][▼]で「時刻合わせ」を選び、**
[決定]を押す

5 **[◀][▶]で各項目を選び、**
[▲][▼]で修正する

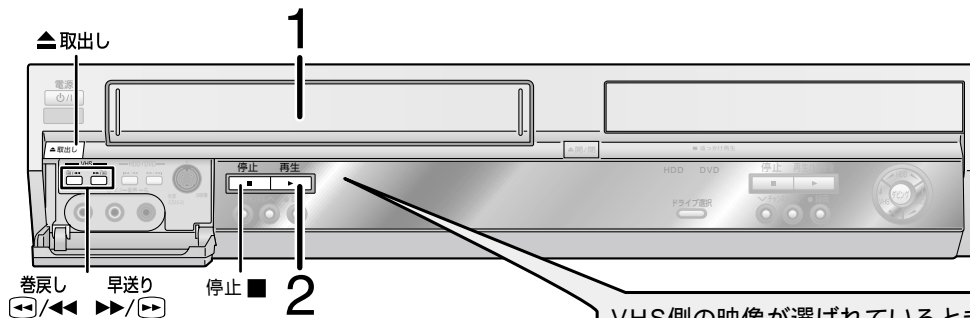
自動時刻チャンネル

6 決定
- **初期設定**画面になり、時計が動き始めます。

■ ひとつ前の画面に戻る
➡ 戻る を押す

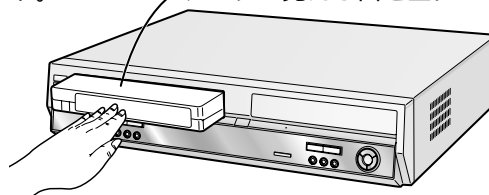
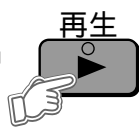
■ 設定画面を消す
➡ 戻る を数回押す

お願い/ヒント
- “ 時刻 ”は 24 時間表示です。
- “ 自動時刻チャンネル ”**(➜ 下記)**は、NHK 教育テレビに合わせておくことをおすすめします。表示チャンネルで合わせてください。
- “ 年 ”は 西暦 1988 ～ 2087 年までです。

自動時刻合わせ機能について
- 「自動時刻チャンネル」を NHK 教育テレビに合わせておくと、毎日 12、19 時に本機が電源「切」状態であれば、時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。(2 分以内の誤差が修正されます)
- 「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、本機が自動的に NHK 教育テレビを探し出します。地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分で NHK 教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
- 自動時刻合わせ機能は、NHK 教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、“ 時報 ”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が 2 分以上あるときは、時刻合わせで正しい時刻に合わせ直してください。
- 次のようなときは働きません。
  - ・「自動時刻チャンネル」を「ーー」にしているとき。(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  - ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  - ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

VHSの再生

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)

1 録画済みのカセットを入れる

- 自動的に電源が入ります。

2 再生を始める

■ **停止する** ➡ **[停止■]**を押す

■ **カセットを取り出す**

➡ **【本体】** **[≜取出し]**を押す

【リモコン】 **[VHS]**を押したあと、**[停止■]**を約3秒以上押す

- VHS側が予約録画の待機中**(➜78)**のときは働きません。

お願い/ヒント

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、**[再生▶]**を押すだけで再生を始めます。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。**(➜82)**

SQPB(S-VHS簡易再生)機能について

(SQPB=S-VHS Quasi Playback)
- S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。
  ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

いろいろな再生

早送り巻き戻し	**停止中** 	● テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 ● 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
高速リターン		高速で巻き戻しします ● テープカウンター表示は出ません。 ● 高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。 ● カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。 ● 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"０：００．００"になります。 ● 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。
早送り/巻き戻し再生	**再生中** **短く押す または 押し続ける**	短く押すごとに速度が切り換わります 標準のとき：　約　９倍速⟷約１３倍速 ３倍・５倍のとき：　約２７倍速⟷約４３倍速 ● **[再生▶]**で通常再生に戻ります。 ● **[◀◀] [▶▶]**を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。 **お願い/ヒント** ● 音声は出ません。 ● １３倍速(４３倍速)にすると映像が乱れることがあります。 ● ５倍モードで録画された部分は、４３倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。 ● テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。 ● 約１０分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。
一時停止(静止画)	**再生中** **短く押す**	もう一度押すと通常再生に戻ります ● 音声は出ません。 ● ５倍モードで録画された部分では画面が乱れます。 ● 静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
スロー再生	**再生中** **約２秒以上押し続ける**	● **[再生▶]**で通常再生に戻ります。 ● 音声は出ません。 ● ５倍モードで録画された部分では画面が乱れます。 ● スロー再生を約１０分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむとき

ＶＨＳの再生時も、ＤＶＤのプログレッシブ回路をとおして、本機後面のＤ１/Ｄ２映像出力端子からＶＨＳの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。**(プログレッシブ出力➜２３)**
このときは同時にＨＤＤまたはＤＶＤで地上波放送･外部入力の録画を行うことはできません。

以下の準備･設定を行ってください。

1. **本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する(➜２２)**
2. **[ＨＤＤ]または[ＤＶＤ]を押して、ＨＤＤ/ＤＶＤ側の初期設定「接続するＴＶ」で「４：３プログレッシブ(５２５Ｐ)対応」、または「１６：９プログレッシブ(５２５Ｐ)対応」を選ぶ(➜３２,６７)**
3. **ＨＤＤ/ＤＶＤ側で"ＴＰ"チャンネルを選ぶ(➜８７)**(ＶＨＳ側の映像が映ります)

上記の準備･設定のあと、**[ＶＨＳ]**を押して、ＶＨＳ側の再生操作を行ってください。

VHSの再生 (つづき)

いろいろな再生 (つづき)

自動巻戻し再生

再生中

再生

約5秒以上押し続ける

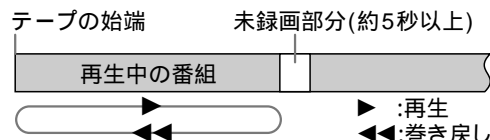
同じ番組を繰り返し再生します

- もう一度[**再生▶**]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで働き続けます。

お願い/ヒント

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)

テープの始端　未録画部分(約5秒以上)

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

自動CM早送り再生

再生前または再生中

30秒スキップ
CM

CMを自動的に早送りして再生します

自動CM早送り　入

- " 自動CM早送り 入 "を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 解除するには[**CM**]を押し、" 自動CM早送り 切 "を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。

お願い/ヒント

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

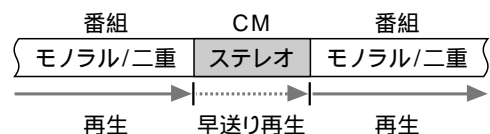
番組　CM　番組

再生　早送り再生　再生

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき(CMも通常どおり再生されます)
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

レンタルモード

再生中

画面設定

押すごとに画質が切り換わります

ダイナミック

- レンタルソフトなどを見るときに、用途に合わせて切り換えてください。

スタンダード(工場出荷時)	：通常の画質です。
ダイナミック	：輪郭をすっきりさせ、メリハリのある映像が楽しめます。
ソフト	：通常の画質よりもソフトな映像にします。

- 再生中の画質を変えるための機能ですので、それ以外では働きません。

ジョグダイヤル・シャトルリングを使う

ジョグダイヤルとシャトルリングを使うと、コマ送り再生をしたり、再生の速度を変えたりすることができます。

ジョグ/シャトルモードにする

[ジョグ/シャトル]が点灯し、ジョグダイヤル/シャトルリング機能が「入」になります
- 静止画再生になります。

ジョグダイヤルで コマ送り スロー再生

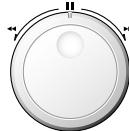
ジョグ/シャトルモードにしたあと、

1クリック回すごとに、1コマずつ送っていきます(回す速さにより再生速度が変わります)

右：コマ送り→ スロー再生→ 再生
左：逆再生(コマ戻し、逆スロー再生はできません)

- **[再生▶]**で通常再生に戻ります。

シャトルリングで 再生速度を 変える

ジョグ/シャトルモードにしたあと、

外側を回す

回す角度により再生速度が変わります

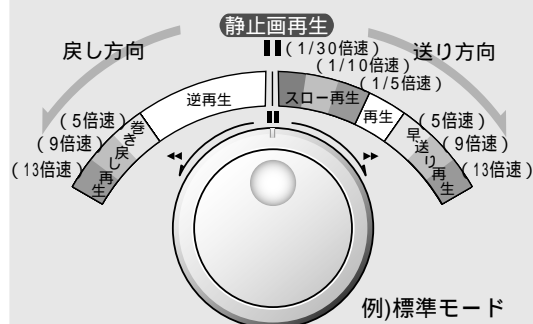
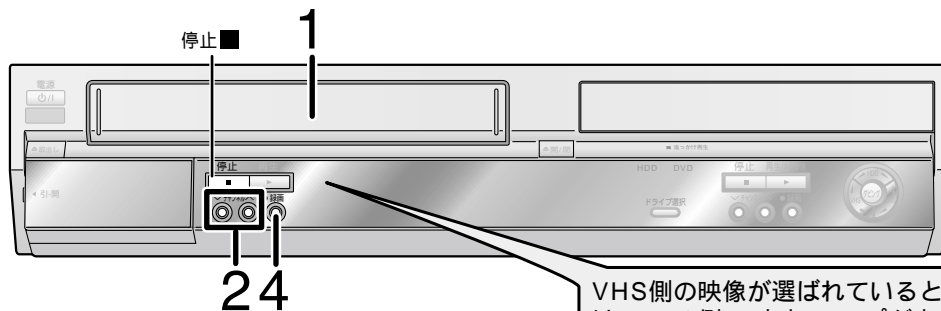
右：スロー再生(3段階)→ 再生→ 早送り再生(3段階)
左：逆再生→ 巻き戻し再生(3段階)

- **[再生▶]**で通常再生に戻ります。

お願い/ヒント

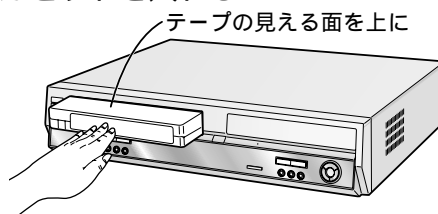
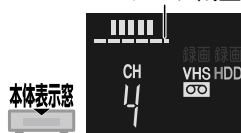
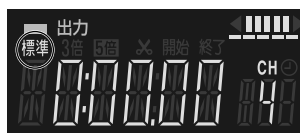
- 通常の再生以外のときは、音声は出ません。
- ジョグダイヤルでの逆再生は、一定の速度(約2回転/秒)に達するまでは働きません。
- 5倍モードで録画された部分は、早送り(巻き戻し)再生3速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- 30秒間操作を行わなかった場合は**[ジョグ/シャトル]**が消灯し、ジョグダイヤル/シャトルリングが働かなくなります。

シャトルリングの角度と再生速度

戻し方向　静止画再生　送り方向
(1/30倍速) (1/10倍速) (1/5倍速)
逆再生　スロー再生　再生
巻き戻し再生 (5倍速) (9倍速) (13倍速)
早送り再生 (5倍速) (9倍速) (13倍速)
例)標準モード

早送り再生、巻き戻し再生時の再生速度は、録画モード(➔74)によって異なります。

VHSの録画

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。

1 「つめ」の折れていないカセットを入れる

- 自動的に電源が入ります。

2 録画したいチャンネルを選ぶ

3 数回押して録画モードを選ぶ

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

4 録画を始める

■ **停止する** ➡ **[停止■]**を押す
■ **一時停止する** ➡ **[一時停止❚❚]**を押す

- もう一度押すと録画を続けます。**[VHS録画●]**を押しても再開できます。

お願い/ヒント
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- テープ残量のめやすを示すバーは、テープ残量が少なくなるにつれて減っていきます。カセットを入れた直後は、各動作を始めてからバーが表示されるまでに多少時間がかかります。

■ 録画中にHDDまたはDVDを再生・録画する

➡ **[HDD]**または**[DVD]**を押して、HDD/DVD側の各種操作を行う**(➜34,38)**

■ 録画中にテレビで別番組を見る

➡ **1** [入力] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ操作部の [チャンネル] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

録画の便利な使いかた (CMカット録画・終了時刻予約録画)

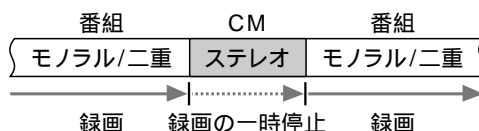
CMをとばして録画する
CMカット録画

録画中

30秒スキップ
CM

本体表示窓に“ ✂ ”を表示させる
- CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

お願い/ヒント
- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)
- 次のようなときは、正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき (このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・外部入力チャンネルを録画するとき
- 予約録画中は働きません。

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
録画	録画の一時停止	録画

■ **解除する** ➡ もう一度、[CM]を押す
- “ ✂ ”が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

録画の終了時刻を指定する
終了時刻予約録画

録画中

● 録画

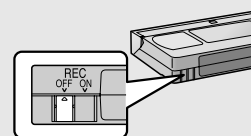
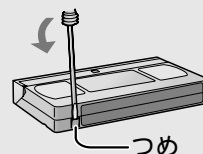
【本体】

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます
押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります
- 最大2時間先まで予約できます。
- 本体表示窓は右図のように変わります。
- リモコンの[VHS録画●]では働きません。
- 予約録画中は働きません。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。

終了 -- --:-- -- ➡ 終了 20:40

■ **解除する** ➡ 本体の[●録画]を数回押し、録画終了時刻を“ -- -- : -- -- ”にする
- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、[停止■]を押します。

■ 録画可能なカセットについて
VHS、S-VHS、D VHSマークの付いたカセットが使えます。

■ 録画済みの番組を誤って消さないために
- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)
- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“ OFF ”にしてください。“ ON ”に戻すと、再び録画できます。カセットの説明書もよくお読みください。

■ 5倍モードについて
- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

VHSの予約録画

番組表(テレビ番組ガイド)を使って予約する

- 予約したい番組を、番組表から選ぶだけで予約できます。
- 1カ月以内の番組を16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
  HDD/DVD側の予約数には影響しません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔25,33)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➔75)**

予約を正しく行うために
番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。**(➔27)**

1

- 番組表画面が表示されます。**(番組表の見かたと便利な機能 ➔43)**
- 画面とリモコンモードが、HDD/DVD側に切り換わります。

2

[▲][▼][◀][▶]で予約したい番組を選び、

[決定]を押す

■ **別の日の番組表を見る** ➡ 表示切換 Ⓒ (Ⓒ前日)または チャプター Ⓓ 予約延長 (Ⓓ翌日)を押す

3

録画先と録画モードを設定する

■ **録画先を設定する**

➡ " 録画先 "が選ばれている状態で**[▲][▼]**を押し、「VHS」を選びます。

残量

■ **録画モードを設定する**

➡ **[◀][▶]**で" モード "を選び、**[▲][▼]**で「標準」、「3倍」、「5倍」、「標3」のいずれかを選びます。

- **[録画モード]**を数回押しても選べます。
- 「標準」、「3倍」、「5倍」、「標3」以外を選んだときは、録画先が「HDD」または「DVD」になります。

- VHSの再生・録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- 設定画面にはタイトル名が表示されますが、無効になります。

4

- 予約した番組に" 予 "が表示されます。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓の" ◴ "が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。
- 予約録画待機中でも、HDD・DVDの再生(RAM)・録画をお楽しみいただけるようになっています。

5

HDD・DVDの再生(RAM)・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。
  予約録画中に電源を切ることはできます。

■ **録画先をHDD・DVDにする** ➡ 42ページ手順3へ

■ **続けて予約を追加する** ➡ 手順**2**～**4**を繰り返す(予約待機状態でも予約できます)

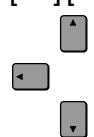
■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ リターン 戻る を押す

■ **番組表を消す** ➡ 番組表 Gガイド を押す

■ **予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき**
- 番組表予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。
  ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。上記手順3で、**[◀][▶]**で" 終了 "を選び、**[▲][▼]**で時刻を設定してください。

番組表を使わずに予約する(タイマー予約)

- 予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
- 1カ月以内の番組を16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)
  HDD/DVD側の予約数には影響しません。

- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜75)**

お願い/ヒント

- 予約設定画面には、テープ残量も表示されます。選んでいる録画モード(標準、3倍、5倍または標準3倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- テレビ画面に“ 予約内容にミスがあります ”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- 番組表予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- VHS側で16番組予約されているときは、番組表予約のときに録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。HDD/DVD側ですでに32番組予約されているときは、テレビ画面に“ 予約がいっぱいで登録できません。”と表示されます。不要な予約を取り消してください。**(➜46,78)**

■ 予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき(➜78)

■ 標準3倍(ぴったり録画)について

“ 標3 ”(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

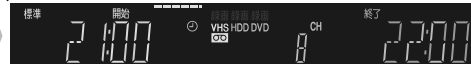
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  ・**VHSメニュー**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  ・品質の悪いカセットを使ったとき

予約内容			
1番目(30分)	2番目(60分)		
実際の録画状態			
“ 標準 ”で30分録画	“ 標準 ”で15分録画	“ 3倍 ”で45分録画	60分カセットを使ったとき

VHSの予約録画（つづき）

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください)

準備
- テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。(➔25,33)
- [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)

■ **予約一覧画面を消す** ➡ リターン 戻る を押す(約1分そのままにしたときは、**[リターン/戻る]**を押さなくても消えます)

予約録画の便利な使いかた(予約延長・予約解除)

準備
- [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)

予約録画の終了時刻を延長する
予約延長

予約録画中

押すごとに延長される時間が変わります

+15分→+30分→+45分→
+1時間→+1時間30分→
+2時間→延長しない

- 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
- 予約録画の待機状態からは延長できません。

予約録画を解除する
予約解除

予約待機中
または
予約録画中

予約待機中に押すと、予約録画の待機を一時解除します

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
- 本体表示窓の“ ◷ ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。

予約録画中に押すと､録画を途中でやめます
- 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

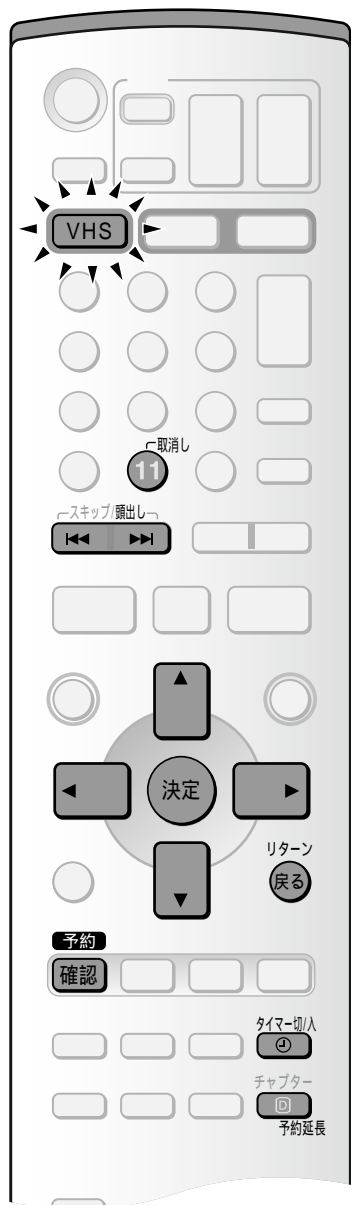
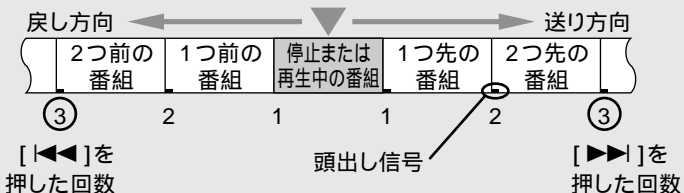
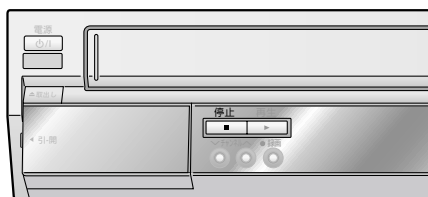
お願い/ヒント
- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 予約録画を途中でやめても､予約時間内であれば､もう一度**[タイマー 切/入 ◷]**を押すと予約録画が再開されます。
- 本体VHS側の**[停止■]**を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除したり、予約録画を途中でやめることができます。

番組を探す

VHS

1番組単位で頭出しする

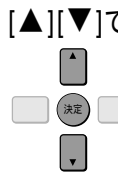
本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・[VHS録画●]を押して録画を始めたとき。
    (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの[VHS録画●]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。
    録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

番組を探す (つづき)

ナビデータを使って予約録画した番組を探す(プログラムナビ)

- ナビデータ(予約録画情報)を使って予約録画した番組を簡単に探すことができます。
- HDD/DVD側でディスクに予約録画された番組は表示されません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)

プログラムナビを「入」にして予約録画する

このあと予約録画する(➜76～77)と、自動的にナビデータが登録されます。

見たい番組を頭出しする

準備
- プログラムナビを「入」にする。**(➜上記)**
- プログラムナビ「入」で予約録画したカセットを入れる。

1

- 予約録画した番組の一覧「録画日・CH(チャンネル)・録画開始時間」が表示されます。

2 頭出ししたい番組を選ぶ

プログラムナビ / トップメニュー
数回押す

- 押すごとに、1つ上の番組が選ばれます。

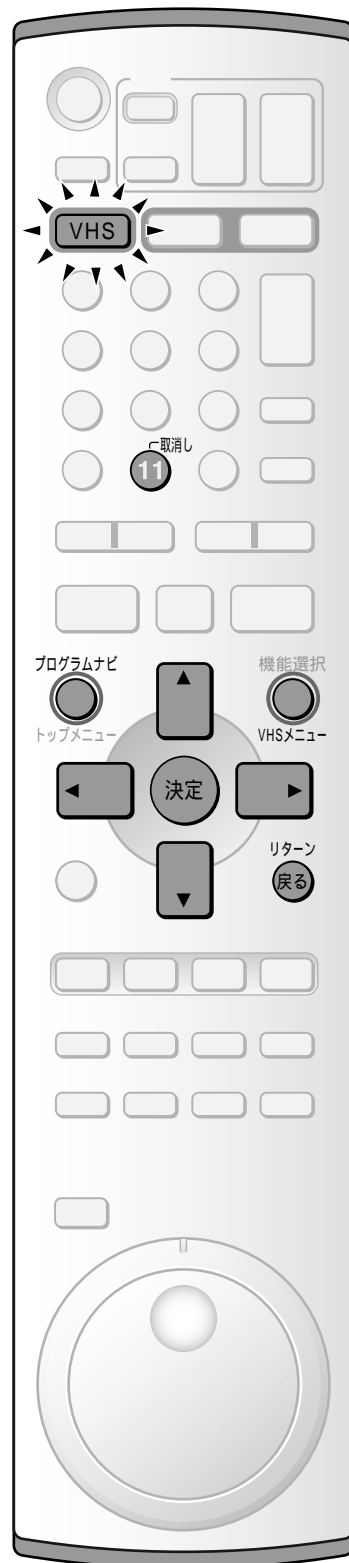
プログラムナビ

録画日	CH	開始
6/26 [日]	4	20:00
6/27 [月]	8	21:00
6/29 [水]	6	19:00

選んだあと、3秒以上たつと頭出し開始

番組が見つかると、自動的に再生

■ **頭出しを途中でやめる** ➡ を押す

- プログラムナビ画面が消え、停止します。

■ ナビデータについて

- プログラムナビを「入」にして予約録画すると、予約録画情報が自動的に登録されます。
- 登録できる数
  ・カセットで20本分
  ・全体の番組数で50番組(1本のカセットにつき最大14番組)
- 1本のカセットに15番組以上予約録画したときは、古い番組から削除されていきます。
- 予約操作の完了後に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。

お願い/ヒント

- カセットを入れると、自動的にナビデータを確認します。**(➜右図)**ナビデータの確認中は、**[停止■]**などを押さないでください。確認中に**[停止■]**などを押して本機の動作を止めてしまうと、プログラムナビが正しく働かないことがあります。
- カセットを入れてもナビデータが確認できなかったときは、**[プログラムナビ]**を押すと、もう一度確認します。
- 未録画部分で**[プログラムナビ]**を押しても、ナビデータを確認できません。
  必ず本機で予約録画した番組の部分で、**[プログラムナビ]**を押してください。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“ プログラムナビデータが確認できません ”と表示されます。このときは頭出しできません。
- **[プログラムナビ]**を再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。
- 頭出しが始まったあとや、自動的に再生が始まったあとでも、**[プログラムナビ]**を押して別の番組を選ぶことができます。

■ 正しくナビデータを登録するために

- テープの始端から、番組と番組の間をあけないよう予約録画してください。
- 以下のときはナビデータは登録されません。
  ・通常の録画
  ・終了時刻予約録画
  ・映像のない(音声のみの)予約録画
  ・短い時間の予約録画
  約15分(5倍モード時は約25分)以上必要です。
  ・すでにカセット20本分、または50番組を登録しているとき新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“ プログラムナビ、残り0カセット、データを消してください ”または“ プログラムナビ、残り0プログラム、データを消してください ”と表示されます。
- 以下の場合は正しく働かないことがあります。
  ・**VHSメニュー(➜85)**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  ・本機以外の機器で予約録画したカセットを使ったとき(当社製の同機能付きビデオも含む)
  ・ナビデータのある予約録画番組のところに新しく予約録画したとき
  録画した時間によっては、以前のナビデータが削除されます。

プログラムナビデータ確認中

ナビデータの確認中の表示

カセット単位でナビデータを消去する

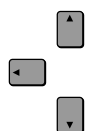
プログラムナビ画面表示中

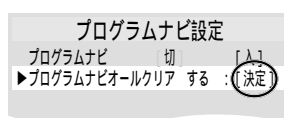
約5秒以上押す

- 消去したナビデータは、元に戻すことができません。消去してよいかよく確かめてから行ってください。
- ナビデータを1番組ずつ消去することはできません。

プ ロ グ ラ ム ナ ビ		
録画日	CH	開 始
--/--[-]	--	--:--

すべてのカセットのナビデータを消去する

左ページ“ プログラムナビを「入」にして予約録画する ”手順2のあと、

1 **[▲][▼]で「プログラムナビオールクリア」を選び、[◀]または[▶]で「決定」を表示させる**

プログラムナビ設定		
プログラムナビ	切	[入]
▶プログラムナビオールクリア	する	:[決定]

2

- すべてのカセットのナビデータが消去されます。

■ **メニュー画面を消す** ➡ リターン 戻る を数回押す

お願い/ヒント

- この操作を行っても本体内部のナビデータが消えるだけで、カセットにはナビデータが残ったままになります。このため、本体内部のナビデータを消去したカセットを入れて**[プログラムナビ]**を押しても、正しく表示されません。
- カセットに記録されているナビデータも消去したいときは、テープリフレッシュ**(➜83)**されることをおすすめします。ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

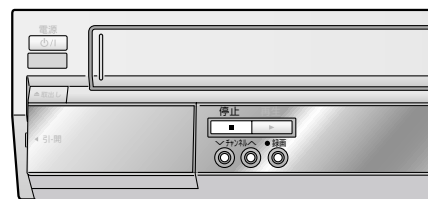
きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

①トラッキングがずれている
(白い帯状のノイズが出るときなど)

②ビデオヘッドが汚れている
(画面全体にノイズが出るときなど)

③テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

準備 ● [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)

①トラッキングを調整するには

再生中、どちらかを押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **[へ∨チャンネル]**を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お願い/ヒント

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体VHS側の**チャンネル**[∨][へ]でも調整できます。

②ビデオヘッドをクリーニングするには

再生中、本体表示窓に“ U11 ”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。
またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜128)を入れ、約10秒間録画する

- 約10秒後に**[停止■]**を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

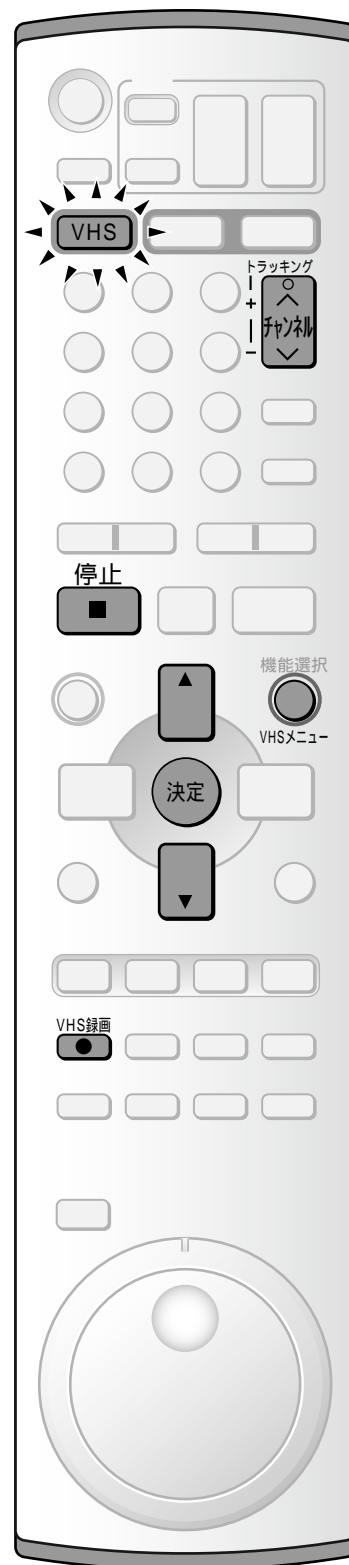
静止画面が上下にゆれるときは

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、どちらかを押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **[へ∨チャンネル]**を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お願い/ヒント

- 本体VHS側の**チャンネル**[∨][へ]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

テープリフレッシュする VHS

カセットの録画内容をすべて消す

この操作をすると映像、音声、ナビデータはすべて消え、元に戻すことができません。
消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

テープリフレッシュを行う前に

■ **本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき**
「プログラムナビ設定」の「プログラムナビ」を「入」にしておく。(➜80)

テレビ画面
プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　切　[入]
プログラムナビオールクリア

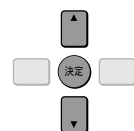
■ **本機以外で予約録画したカセットのとき**
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
「プログラムナビ設定」の「プログラムナビ」を「切」にしておく。(➜80)

プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　[切]　入
プログラムナビオールクリア

テープリフレッシュする

1

- **VHSメニュー**画面が表示されます。

VHSメニュー
▶ モード 設 定
テープリフレッシュ
プログラムナビ設定

2 **[▲][▼]で「テープリフレッシュ」を選び、[決定]を押す**

テープリフレッシュ TR
開始：[決定]長押し
中止：[停止]

3 **“TR”点滅中に、もう一度[決定]を約2秒以上押す**

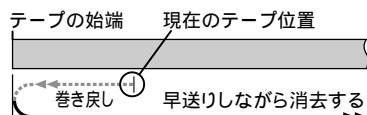
- テープリフレッシュが始まります。

テープリフレッシュ中
中止：[停止]

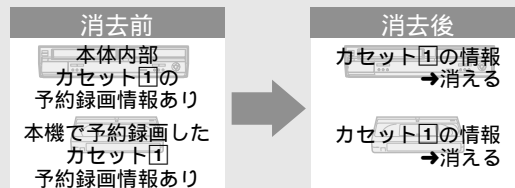
■ **途中でやめる** ➡ **[停止■]**を押す
- 止めたところまでは消去されています。

お願い/ヒント
- **VHSメニュー(➜85)**の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

テープリフレッシュの動作
1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

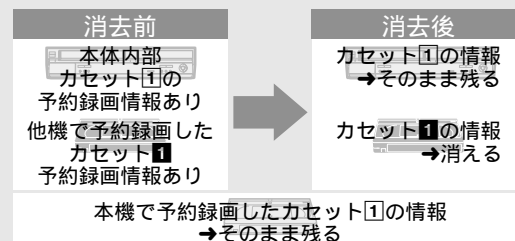
- 120分カセットで約21分かかります。(目安です)

テープリフレッシュについて

本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき
- 必ず「プログラムナビ」を「入」にしてください。

消去前	消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	カセット1の情報 ➜消える
本機で予約録画したカセット1 予約録画情報あり	カセット1の情報 ➜消える

- 「切」にして消去すると、本体内部は消去したカセットの情報が残ったままになってしまいます。

本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
- 必ず「プログラムナビ」を「切」にしてください。

消去前	消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	カセット1の情報 ➜そのまま残る
他機で予約録画したカセット❶ 予約録画情報あり	カセット❶の情報 ➜消える

本機で予約録画したカセット1の情報 ➜そのまま残る

- 「入」にして消去すると、本体内部は、本機で録画したカセット番号(例では1)の情報も消えてしまいます。

画面表示・音声切換

時刻、テープカウンター、テープ残量を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)

5秒以内に押すごとに、下図のように表示が切り換わります。

- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

日付/現在時刻表示

- 自動時刻合わせ機能**(➜69)**が働いているときは、秒まで表示されます。

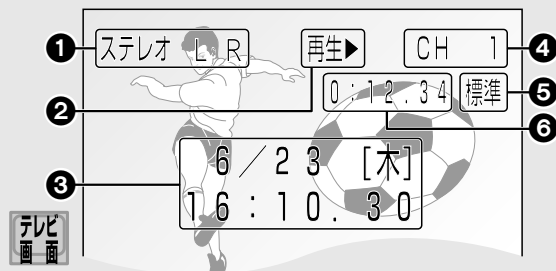
テープカウンター表示

- テープカウンター表示になっているときに**[リセット]**を押すと、値が“０：００．００”になります。

テープ残量表示

- テープ残量の表示は目安です。
- カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・**VHSメニュー(➜右ページ)**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

画面表示について(オンスクリーン)

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

画面表示の一例

❶ **音声(➜下記)/自動CM早送り/レンタルモード(➜72)**
❷ **動作表示**　：再生、早送りなど、本機の動作状態。
❸ **日付/現在時刻表示(➜左記)**
❹ **チャンネル表示**：チャンネル切換時、録画開始時。
❺ **録画モード表示**：録画開始時、テープ残量表示時など。
❻ **テープカウンター/テープ残量表示(➜左記)**

お願い/ヒント
- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・**VHSメニュー(➜右ページ)**の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

音声の種類を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- **[VHS]**を押す。(リモコンの**[VHS]**が約3秒間点灯)

押すごとに切り換わります

■ テレビ放送受信中

ステレオ放送：
ステレオ音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

二重放送（2カ国語放送など）：
主音声+副音声 ➜ 主音声 ➜ 副音声

モノラル放送（外部入力チャンネルも含む）：
左音声+右音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声

■ 録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組：
ステレオ音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声 ➜ ノーマル音声（左+右）

二重音声の放送（2カ国語など）：
主音声+副音声 ➜ 主音声 ➜ 副音声 ➜ ノーマル音声（主音声）

モノラルの番組:
左音声+右音声 ➜ 左音声 ➜ 右音声 ➜ ノーマル音声（モノラル）

2カ国語オート再生機能について

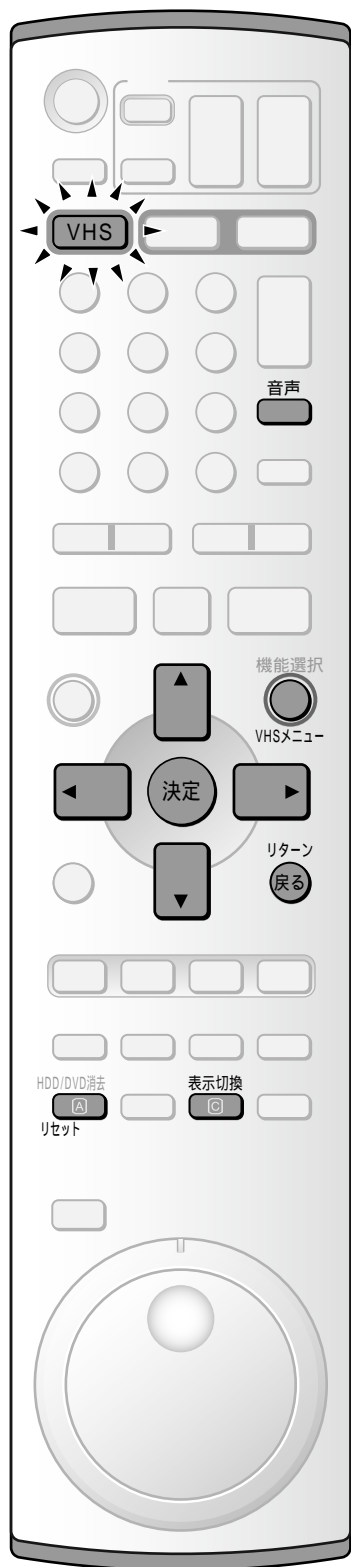
- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・外部入力録画または、本機で“ＤＣ”チャンネル**(➜87)**で録画したカセットを再生中
  - ・**[音声]**を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは**[音声]**で音声を選んでください。

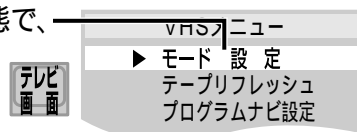
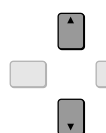
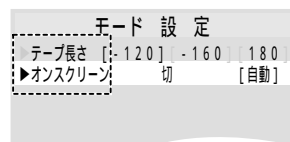
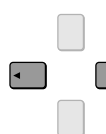
お願い/ヒント
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中
  - ・ＶＨＳからＨＤＤまたはＤＶＤへのワンタッチダビング**(➜96,100)**の実行中

設定を変える

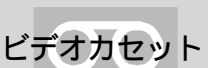
いろいろな項目の設定を変える(モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [VHS]を押す。(リモコンの[VHS]が約3秒間点灯)

1 「VHSメニュー」が表示されます。

2 「モード設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選ぶ

4 [◀][▶]で設定内容を変える

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ 戻る を押す

■ **VHSメニューを消す** ➡ 戻る を数回押す

メニュー	設定項目	設定内容
モード設定	テープ長さ	▶−120(工場出荷時): T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。 ▶−160: T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)カセットを使うとき。 ▶180: T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。 ※ D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。
	オンスクリーン(➜左ページ)	▶切: テレビ画面に表示を出さないようにするとき。 ▶自動(工場出荷時): 操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

ダビングについて

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。

ダビング方向		ダビングのしかた	
ダビング元	ダビング先	ワンタッチダビング	マニュアルダビング
HDD	DVD-RAM DVD-R	再生中の番組(タイトル)やプレイリストを1つだけダビング(➜88)	複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビング(➜89)
HDD	ビデオカセット	再生中の番組(タイトル)やプレイリストを1つだけダビング(➜92)	■ 開始点を選んでダビング(➜93) ■ 複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビング(➜94)
ビデオカセット	HDD	選んだ開始点からテープの終端までをダビング(➜96)	選んだ開始点からテープの終端までをダビング(➜97,98)
ビデオカセット	DVD-RAM DVD-R	選んだ開始点からテープの終端までをダビング(➜100)	選んだ開始点からテープの終端までをダビング(➜101,102)
DVD-RAM	HDD	1枚のディスク全部をダビング(➜104)	複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビング(➜105)
DVD-RAM	ビデオカセット	1枚のディスク全部をダビング(➜108)	■ 開始点を選んでダビング(➜109) ■ 複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビング(➜110)
DVD-R	HDD	×	×
DVD-R	ビデオカセット	1枚のディスク全部をダビング(➜108)	開始点を選んでダビング(➜109)
DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-Rを含む)	HDD	×	1枚のディスク全部をダビング(➜107)
DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-Rを含む)	ビデオカセット	×	■ 開始点を選んでダビング(➜109) ■ 1枚のディスク全部をダビング(➜112)

- コピー禁止処理がされている映像はダビングすることはできません。

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられているため、複製はできません。HDDからCPRM対応のDVD-RAMに移動できます。(HDDからは消去されます)(**詳しくは➜15**)

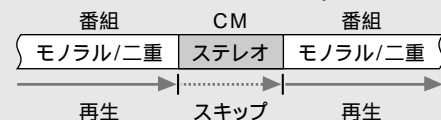
- ワンタッチダビング(**➜88**)では移動できません。マニュアルダビング(**➜89**)してください。
- プロテクト(**➜50**)が設定されていると移動できません。
- 「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはダビングできません。
- 移動される番組(タイトル)を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。

HDD(内蔵) ➜ 移動 ➜ DVD-RAM（番組）
録画内容が消える
DVD-RAMからHDDへは複製・移動できません。

■ 高速と等速について

	高速	等速(XP、SP、LP、EP、FR)
ダビングにかかる時間	➜下記、「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間
画質	ダビング元の画質	変更できる ※1
チャプター/サムネイル変更の保持	できる※2	できない (1タイトルが1チャプターとして記録され、サムネイルは変更前の位置に戻ります)
CMをとばす	できない	できる ※3
ダビング中の他の操作	HDDでの再生または録画ができる	できない

※1 ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります)
※2 プレイリストをDVD-Rにダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。
※3 **自動CM早送り**(マニュアルダビング時のみ)
- 音声が下記の場合のみ働きます。

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

- 5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
- 番組内容をCMとまちがえて消してしまう場合があります。デジタル放送などの移動される番組(タイトル)(**➜上記**)では、元に戻すことができません。CMを「部分消去」(**➜50**)で消してから、「切」でダビングすることをおすすめします。

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	3X高速記録対応DVD-RAM 所要時間	3X高速記録対応DVD-RAM スピード	4X高速記録対応DVD-R 所要時間	4X高速記録対応DVD-R スピード
XP	1時間	約20分	3倍速	約15分	4倍速
SP	2時間		6倍速		8倍速
LP	4時間		12倍速		16倍速
EP(6H)	6時間		18倍速		24倍速
EP(8H)	8時間		24倍速		32倍速

- ダビング中に録画や再生をすると、最高速にならないことがあります。
- ディスクの状態によって、最高速にならないことがあります。

■ ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。
(以下のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、“ FR ”になります)

HDD → RAM ：高速
HDD → DVD-R ：

DVD-R高速モード用録画(➜65)	
「入」で録画	「切」で録画
高速	元と同じモード [XP～EP、FR] (プレイリストは“ FR ”でダビングされます)

お願い/ヒント
- HDDへの録画時に、HDD/DVD側**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしたもののみ、高速モードでダビングできます。ただし、下記の場合は高速モードではダビングできません。
  - ・録画モードが異なる番組(タイトル)から作ったプレイリスト
  - ・録画モードがFRの複数の番組(タイトル)から作ったプレイリスト
  - ・音声が混在するプレイリスト(Dolby Digitalと LPCMなど)
  - ・部分消去を繰り返した番組(タイトル)

■ ダビング入力チャンネルについて

HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへダビングするときは、**[∧∨チャンネル]**で専用のダビング入力チャンネル(“ DC ”、“ TP ”)を選びます。ダビング入力チャンネルを選ぶことで、ダビングしたい(ダビング元の)映像をテレビ画面に映します。

“ DC ”チャンネル

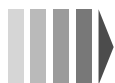
- VHS側の入力チャンネルが“ DC ”のときのみVHSへのダビングができます。
- “ DC ”チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面にはHDDまたはDVDの映像が映っています。
- HDD/DVD側が“ TP ”(**➜右記**)チャンネルのときは、VHS側で“ DC ”チャンネルを選ぶことはできません。

“ TP ”チャンネル

- HDD/DVD側の入力チャンネルが“ TP ”のときのみHDDまたはDVDへのダビングができます。
- “ TP ”チャンネルにしてカセットを再生すると、テレビ画面にはVHSの映像が映っています。
- VHS側が“ DC ”(**➜左記**)チャンネルのときは、HDD/DVD側で“ TP ”チャンネルを選ぶことはできません。

HDD→DVDへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

1つの番組(タイトル)やプレイリストだけをダビングしたい

ワンタッチダビング(➜下記)

複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビングしたい

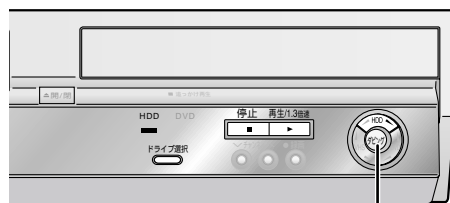
マニュアルダビング(➜右ページ)

デジタル放送の番組をダビングするときは、ワンタッチダビングできません。マニュアルダビングしてください。デジタル放送の番組は、CPRM対応のDVD-RAMに移動のみできます。CPRM非対応のDVD-RAM、DVD-Rにはダビングできません。(➜15)

ワンタッチダビング

HDDに録画された番組をDVD※にワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時に再生中の1つの番組(タイトル)をディスクに自動的にダビングします。
※HDDからダビングする録画用ディスクとして使用できるのは、DVD-RAMとファイナライズ前のDVD-Rのみです。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)

DVD側：
- 録画可能なディスク(➜39)を入れる。
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- **DVD-R** HDD側の再生が二重放送の番組のときは、HDD/DVD側**初期設定**「二重放送音声記録」(➜66)でディスクに記録する音声を選んでおく。

[ダビング]ランプ

1 再生

HDDのダビングしたい番組(タイトル)やプレイリストを再生する

2 【本体】

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

本体表示窓

ダビング方向　ダビング進行状況(例：dub(ダビング)が約38 %まで終了)

- HDDの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- HDD側のオンスクリーン表示→「切」(➜67)
- テレビへの出力→DVDより出力
- HDDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[リターン/戻る]**によるダビングの中止
- HDDの再生・録画(**➜右記**)、およびVHSの再生・録画

■ ダビング中にHDDの再生･録画をする
➡ **[決定]**を押したあと、再生･録画の操作をする
- 高速モードでダビング中は、**[決定]**を押すと画面が消え、HDDの録画や再生が楽しめます。
- **[表示切換]**を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

■ ダビングを途中でやめる
➡ **[リターン/戻る]**を3秒以上押す
- 等速モードでダビングしているときは、**[停止■]**でもダビングをやめることができます。
- ダビングをやめると、高速モード以外でダビングされたものは、止めたところまでダビングされます。(DVD-Rは番組がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します)

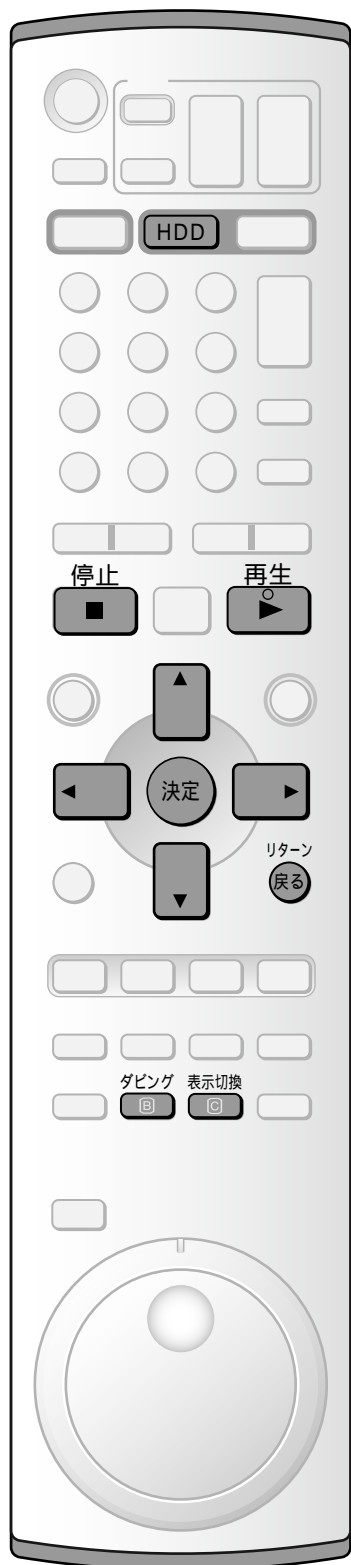
マニュアルダビング

HDDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、DVD※にダビングすることができます。
※HDDからダビングする録画用ディスクとして使用できるのは、DVD-RAMとファイナライズ前のDVD-Rのみです。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]を押す。

DVD側：
- 録画可能なディスク(➜39)を入れる。
- 二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、DVD側**初期設定**「二重放送音声記録」(➜66)でディスクに記録する音声を選んでおく。
  - ・DVD-Rにダビングするとき
  - ・XPモードで、HDD/DVD側**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP〕」(➜67)が「LPCM」でダビングするとき

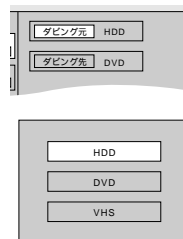
1 停止中に、

ダビング B

- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ダビング元を「HDD」、ダビング先を「DVD」に設定します。 テレビ画面
- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順3に進んでください。

■ **設定を変更する**

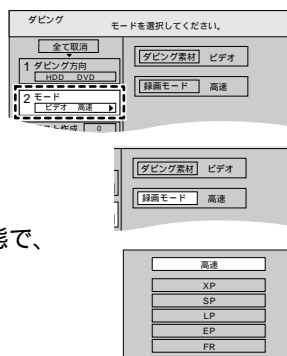
➡ **1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」を選び、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

3 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順4に進んでください。

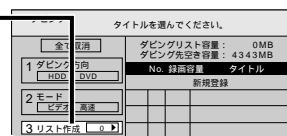
■ **設定を変更する**

➡ **1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「高速」、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。

4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、**[決定]**を押して、手順9または10に進んでください。

4 「リスト作成」が選ばれている状態で、

[▶]を押す

(つづく➜**次ページ手順5**)

HDD→DVDへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

5 **[▲][▼]で「新規登録」を選び、**

[決定]を押す

テレビ画面

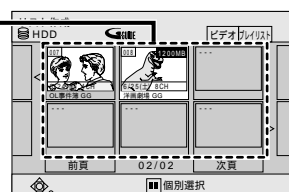
6 **[▲][◀][▶]で「ビデオ」または「プレイリスト」を選び、**

[決定]を押す

- 番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、「プレイリスト」を登録するときは「プレイリスト」を選びます。

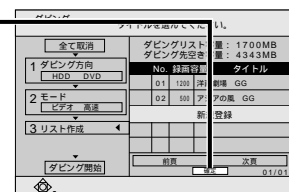
7 **[▲][▼][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、**

[決定]を押す

- 手順5～7を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

(ダビングリストの画面表示と便利な機能 ➔右ページ)

8 **[▼]で「確定」を選び、**

[決定]を押す

- [決定]を押す前に、“ダビングリスト容量”が“ダビング先空き容量”よりも小さいことを確認してください。

録画モードを「高速」以外に設定(➔89手順3)したときのみ

9 **自動CM早送り(➔87)の切/入を選ぶ**

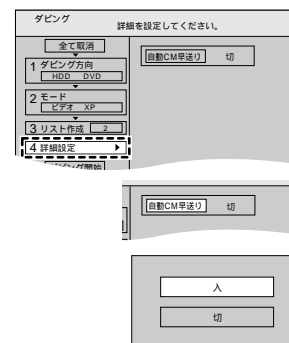
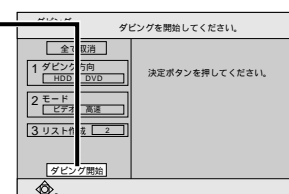
- 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順10に進んでください。

■ 設定を変更する

➡ **1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

ダビングリストの作成が終わったら

10 **「ダビング開始」が選ばれている状態で、**

決定

- 確認画面が表示されます。[◀]で はい を選び、[決定]を押してください。ダビングが開始されます。

■ ひとつ前の画面に戻る

➡ **[リターン/戻る]**を押す

■ ダビング中にHDDの再生・録画をする

➡ **[決定]**を押したあと、再生・録画の操作をする

- 高速モードでダビング中は、[決定]を押すと画面が消え、HDDの録画や再生が楽しめます。
- [表示切換]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

■ ダビングを途中でやめる

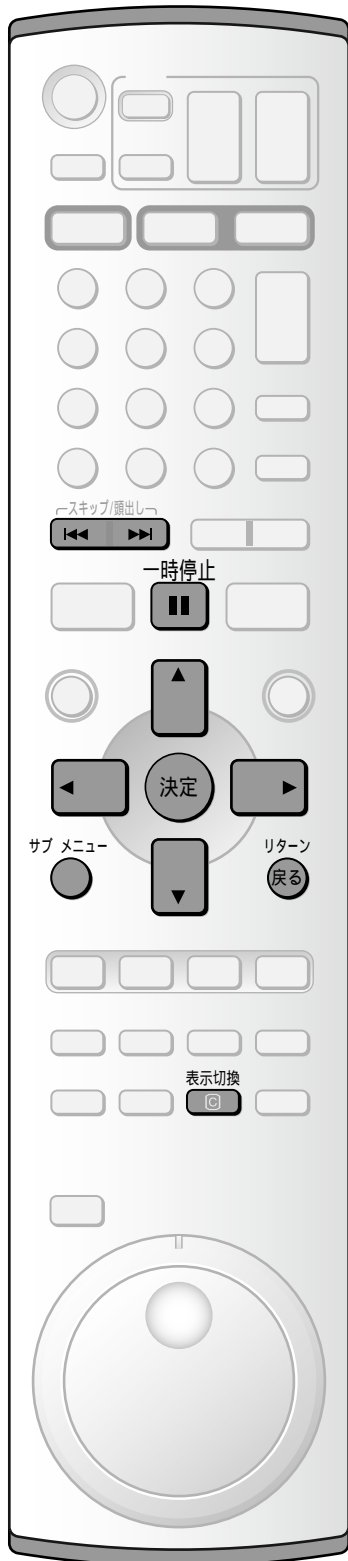
➡ **[リターン/戻る]**を3秒以上押す

- ダビングをやめると、高速モード以外でダビングされたものは、止めたところまでダビングされます。(DVD-Rは番組がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します)

お願い/ヒント

- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。
- デジタル放送などの「移動」される番組(タイトル)(➜87)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。

ワンタッチダビング時(➜88):

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプとダビング方向ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。

ダビングリストの画面表示と便利な機能

リストの表示について

:DVD-Rに高速でダビングできるもの(➜65)

:静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません)

:「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➜15,87)

:「1回だけ録画可能」の番組(➜14,87)

ダビングリスト容量:ダビング先に記録される容量
- 等速の場合は、録画モードによって変化します。
- 高速の場合は、記録容量の合計になります。
(HDDにダビングする場合は、管理情報が含まれるため、合計より大きくなります)

■ 前後のページを表示する

➡ [▲][▼][◀][▶]で" 前頁 "または" 次頁 "を選び、[決定]を押す
- [|◀◀][▶▶|]でもページの切り換えができます。

■ まとめて登録/消去する

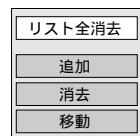
➡ [▲][▼][◀][▶]で選び、[一時停止▮▮]を押す操作を繰り返す(個別選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止▮▮]を押すと解除されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

■ リストの項目を消去/追加/移動する

1 [▲][▼]で編集したい項目を選び、[サブ メニュー]を押す
- サブメニュー画面が表示されます。

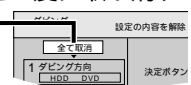
2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去
追加
消去
移動

リスト全消去:リストに登録されている項目をすべて消去します。
追加:選んだ項目の上に新しい項目を追加します。「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押してください。
消去:選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(➜上記)
移動:選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。

■ 以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

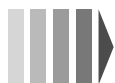
➡ [▲]で「全て取消」を選び、[決定]を押す

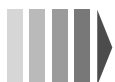
全て取消
1 ダビング方向 HDD → DVD
設定の内容を解除
決定ボタン

- 確認画面が表示されます。
[◀]で はい を選び、[決定]を押してください。

- リストは以下の場合にも消去されます。
・ダビング元で番組(タイトル)やプレイリストの消去をした場合
・ダビング元がDVD-RAMで、トレイを開けるか、電源を切った場合

HDD→VHSへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

1つの番組(タイトル)やプレイリストだけをダビングしたい

ワンタッチダビング(➔下記)

1つの番組(タイトル)やプレイリストだけをダビング開始点を選んで、ダビングしたい

ダビング開始点を選んで マニュアルダビング(➔右ページ)

複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビングしたい

ダビング設定画面を使って マニュアルダビング(➔94)

デジタル放送の番組をダビングすると、そのビデオカセットから再度、HDDやDVD-RAMにダビングすることはできません。(➔15)

ワンタッチダビング

HDDに録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時に再生中の1つの番組(タイトル)をカセットに自動的にダビングします。

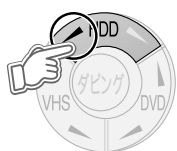
[ダビング]ランプ

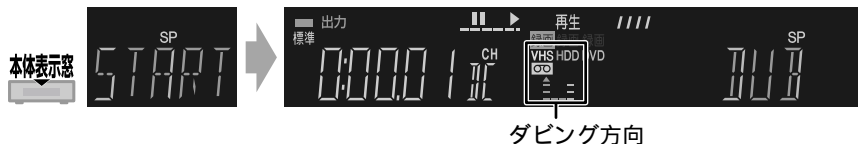
準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔25,33)**

VHS側：
- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。**(➔74)**

1 再生

HDDのダビングしたい番組(タイトル)やプレイリストを再生する

2 【本体】

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

本体表示窓

ダビング方向

- HDDの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- HDD側のオンスクリーン表示→「切」**(➔67)**
- テレビへの出力→VHSより出力
- HDDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[停止■]**によるダビングの中止
- **[音声]**によるVHS音声の切り換え
- **[リセット]**によるVHS側のテープカウンターリセット**(➔84)**

頭出し信号の書き込みについて

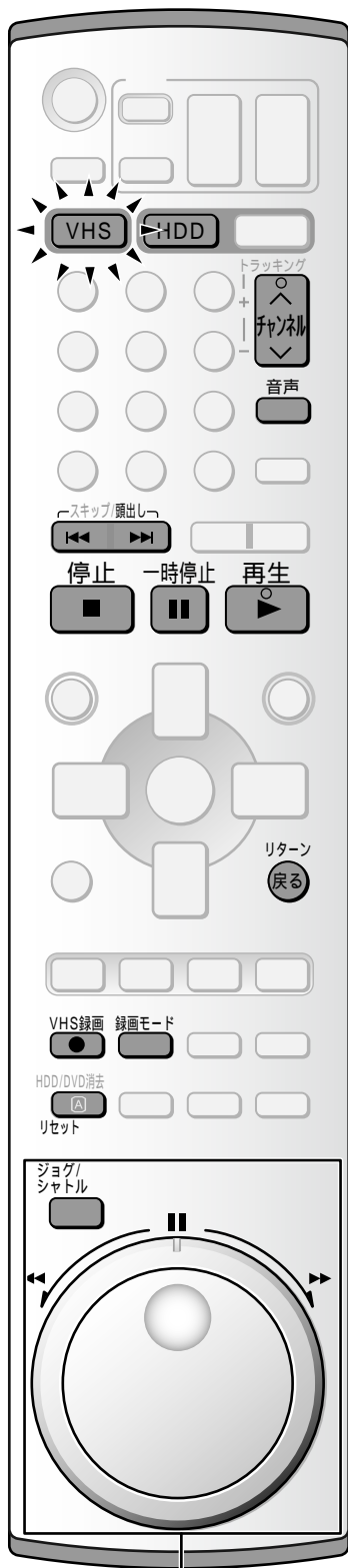
HDDからVHSへのワンタッチダビング時には、1つの番組(タイトル)ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、**頭出し[|◀◀]**[▶▶|]を使って番組を探すことができます。

■ ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]を押す
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

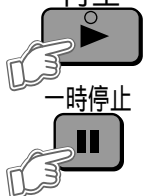
マニュアルダビング

ダビング開始点を選んでダビングする

HDDに録画された番組をダビング開始点を選んでビデオカセットにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、**[停止■]**を押してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- VHS側に録画可能なカセットを入れる。
- HDD側を"TP"**(➜87)**以外のチャンネルにする。(HDD側で"TP"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

[HDD]を押す

1 HDDのダビング開始点を探す

HDDを再生する
- 再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。**(➜61)**

ダビングの開始点で、静止画にする

[VHS]を押す

2 "DC"チャンネルを選ぶ

- テレビにHDDの映像が表示されます。
- DCチャンネルについて**(➜87)**

3 カセットの録画開始点を探す

カセットを再生する

録画の開始点で、静止画にする

録画の一時停止にする

4 録画モードを選ぶ(➜74)

5 録画を始める

- VHSの録画とHDDの再生が同時に始まります。
- VHS側の録画とHDD側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

■ 録画を一時停止する

➡ 1 **[一時停止❚❚]**を押す
(VHSの録画が一時停止します)
2 **[HDD]**を押して、**[一時停止❚❚]**を押す
(HDDの再生が一時停止します)

■ 録画をやめる

➡ 1 **[停止■]**を押す
(VHSの録画が停止します)
2 **[HDD]**を押して、**[停止■]**を押す
(HDDの再生が停止します)

開始点を決めるときに使うと便利です。**(➜37,73)**

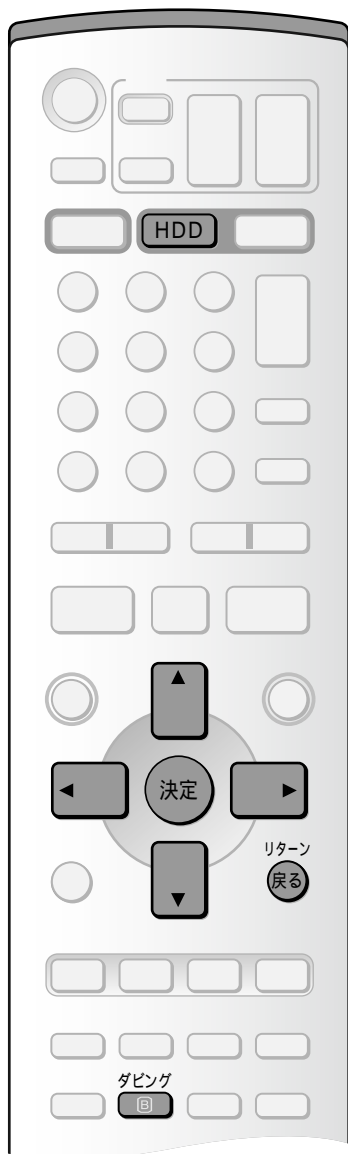
HDD→VHSへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

ダビング設定画面を使ってダビングする

HDDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、ビデオカセットにダビングすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]を押す。

VHS側：
- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、

ダビング
- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する
- ダビング元を「HDD」、ダビング先を「VHS」に設定します。
- 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順3に進んでください。

テレビ画面

■ **設定を変更する**

➡ **1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」を選び、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す
- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

3 録画モードを選ぶ
- 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順4に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ **1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「標準」、「3倍」、「5倍」から選びます。

4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[決定]を押して、手順9に進んでください。

4 「リスト作成」が選ばれている状態で、
[▶]を押す

5 [▲][▼]で「新規登録」を選び、
[決定]を押す

■ **ひとつ前の画面に戻る**
➡ **[リターン/戻る]**を押す

■ **ダビングを途中でやめる**
➡ **[リターン/戻る]**を3秒以上押す

6

[▲][◀][▶]で「ビデオ」または「プレイリスト」を選び、

[決定]を押す

● 番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、
「プレイリスト」を登録するときは「プレイリスト」を選びます。

テレビ画面

7

[▲][▼][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、

[決定]を押す

● 手順5～7を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

(ダビングリストの画面表示と便利な機能 ➜91)

8

[▼]で「確定」を選び、

[決定]を押す

● [決定]を押す前に、"ダビング時間"が"ダビング先残量"よりも小さいことを確認してください。

9

自動CM早送り(➜87)の切/入を選ぶ

● 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順10に進んでください。

■ 設定を変更する

➡ 1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

ダビングリストの作成が終わったら

10

「ダビング開始」が選ばれている状態で、

決定

● 確認画面が表示されます。
[◀]で はい を選び、[決定]を押してください。
ダビングが開始されます。

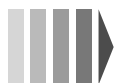
お願い/ヒント

● VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜78)
● HDD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」(➜32,65)にしてHDDからの出力を選んでいても、ダビングが始まると自動的にVHS側に出力が切り換わります。また、手動で出力を切り換えることはできません。(ダビングを終了または中断するとHDD側に戻ります)
● ダビングが始まると、HDD側の**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➜67)になります。
● ダビング中は、追っかけ再生や編集などはできません。
● ダビング中は、ディスクトレイの開閉はできません。

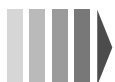
ワンタッチダビング時(➜92):

● ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプとダビング方向ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。

VHS→HDDへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

選んだ開始点からテープの終端までを ワンタッチ操作で簡単にダビングしたい

ワンタッチダビング(➔下記)

選んだ開始点からテープの終端までを リモコン操作だけでダビングしたい

ダビング開始点を選んで マニュアルダビング(➔右ページ)

選んだ開始点からテープの終端まで※を 設定画面を使ってダビングしたい

ダビング設定画面を使って マニュアルダビング(➔98)

※録画モードを「FR」に設定したときは、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。

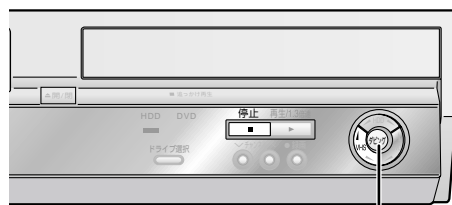
- **コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。**
- **一度デジタル放送の番組がダビングされているビデオカセットは、HDDにダビングすることはできません。(➔15)**
- **ダビング中はHDD/DVDの再生はできません。**

ワンタッチダビング

カセットに録画された番組をHDDにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時のテープの再生位置からHDDに自動的にダビングします。

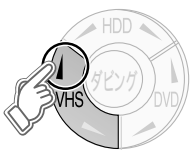
準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➔25,33)**

HDD側：
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。**(➔38)**
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく必要があります。**(➔65,87)**

VHS側： ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

[ダビング]ランプ

HDD･VHSともに停止状態で、

【本体】

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

ダビング方向

- テープの終端になるか、またはHDDの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- HDD･VHS側のオンスクリーン表示→「切」**(➔67,85)**
- HDD側の録画チャンネル表示→“ TP ”**(➔87)**
- テレビへの出力→HDDより出力
- VHSの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[停止■]**によるダビングの中止
- **[リセット]**によるVHS側のテープカウンターリセット**(➔84)**
- **[へ∨チャンネル]**によるVHS側のトラッキング調整**(➔82)**

■ ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]を押す
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

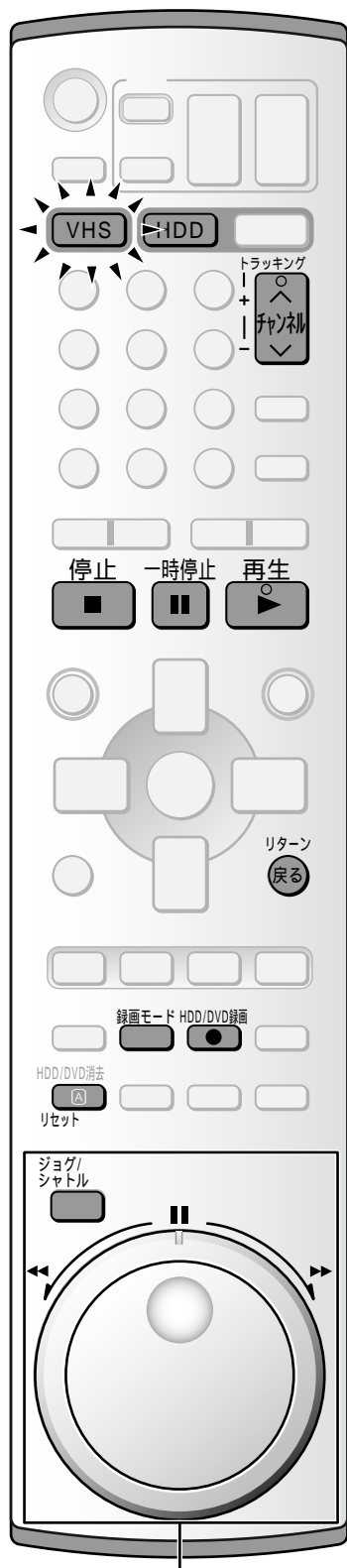
番組(タイトル)(➔49)の分割について

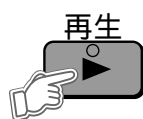
VHSからHDDへのワンタッチダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組(タイトル)を分割して録画します。HDDへのダビング後は、プログラムナビ タイトル一覧**(➔49)**を使って、番組(タイトル)を探すことができます。
- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。

マニュアルダビング

ダビング開始点を選んでダビングする

カセットに録画された番組をダビング開始点を選んでHDDにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、**[停止■]**を押してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- VHS側に再生するカセットを入れる。
- VHS側を“ DC ”**(➜87)**以外のチャンネルにする。(VHS側で“ DC ”チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく必要があります。**(➜65,87)**

[VHS]を押す

1 カセットのダビング開始点を探す

再生 カセットの再生を始める
- 再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。**(➜84)**

一時停止 ダビングの開始点で、静止画にする

[HDD]を押す

2 “ TP ”チャンネルを選ぶ

- テレビにVHSの映像が表示されます。
- TPチャンネルについて**(➜87)**

HDD
TP
音声 L R

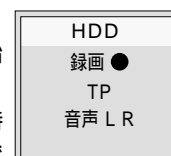
3 録画モードを選ぶ(➜38)

録画モード

4 録画を始める

HDD/DVD録画

- HDDの録画とVHSの再生が同時に始まります。
- HDD側の録画とVHS側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

HDD
録画 ●
TP
音声 L R

■ 録画を一時停止する

➡ 1 **[一時停止❚❚]**を押す
(HDDの録画が一時停止します)
2 **[VHS]**を押して、**[一時停止❚❚]**を押す
(VHSの再生が一時停止します)

■ 録画をやめる

➡ 1 **[停止■]**を押す
(HDDの録画が停止します)
2 **[VHS]**を押して、**[停止■]**を押す
(VHSの再生が停止します)

開始点を決めるときに使うと便利です。**(➜73)**

VHS→HDDへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

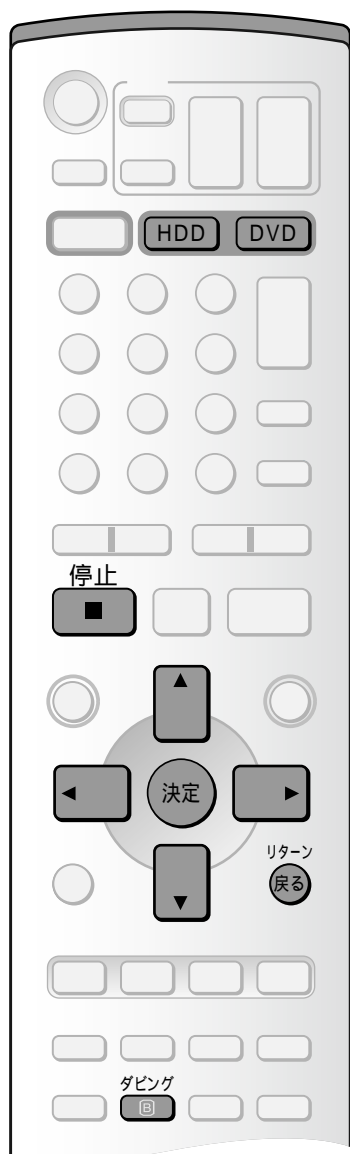
ダビング設定画面を使ってダビングする

カセットに録画された番組をダビング開始時のテープの再生位置から※HDDにダビングすることができます。

※録画モードを「FR」に設定したときは、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。
- VHS側に再生するカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」を「入」にしておく必要があります。(➜65,87)

1 停止中に、

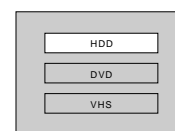
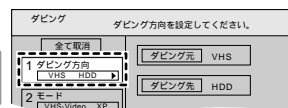
ダビング [B]

- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ダビング元を「VHS」、ダビング先を「HDD」に設定します。
- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順3に進んでください。

■ 設定を変更する

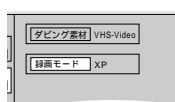
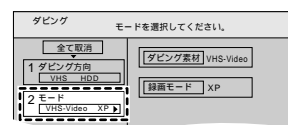
➡ **1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

3 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順4に進んでください。

■ 設定を変更する

➡ **1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。
- FRモードについて(➜右ページ)

4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

4 「ダビング開始」が選ばれている状態で、

- 確認画面が表示されます。[◀]で はい を選び、**[決定]**を押してください。ダビングが開始されます。

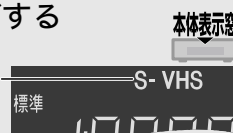
■ ひとつ前の画面に戻る
➡ **[リターン/戻る]**を押す

■ ダビングを途中でやめる
➡ **[停止■]**を押す
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■ FRモードについて

- ビデオカセットに録画されているすべての番組をディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように録画モードを自動的に設定します。
- HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
- ビデオカセットに8時間以上録画されている場合は、FRモードでのダビングはできません。他の録画モード(XP〜EP)を選んでください。
- FRモードでダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。

■ S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする

ワンタッチ/マニュアルダビングを始める前に、HDD/DVD側の初期設定「S-VHSダビング設定」(➜66)で「S-VHS再生」を選ぶ

- S-VHSビデオと同じ方式で再生し、ダビングします。Y(輝度信号)の帯域が広いままダビングできるので、S-VHS本来の高画質を再現できます。
- 録画されたテープの状態によっては、充分な画質が得られない場合があります。このときは、「SQPB」を選んでください。ただしS-VHS本来の高画質にはなりません。
- 工場出荷時は、「S-VHS再生」にしていますので、通常はこのままお使いください。

本体表示窓

「S-VHS再生」で
ダビング実行中

S-VHS ET
(Super VHS Expansion Technology)：
VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能。本機にはこの機能はありません。

SQPB(S-VHS Quasi Playback)：
S-VHS方式で録画されたカセットを簡易的に再生する機能。

お願い/ヒント

- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➜78)**
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、ダビング開始から約15秒後、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード**(➜74)**で録画された部分では、HDDにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ダビングが始まると、**VHSメニュー**「オンスクリーン」が「切」**(➜85)**になります。

ワンタッチダビング時(➜96)：

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプとダビング方向ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- HDD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」**(➜32,65)**にしてVHSからの出力を選んでいても、ダビングが始まると自動的にHDD側の出力に切り換わります。また、手動で出力を切り換えることはできません。(ダビングを終了または中断するとVHS側に戻ります)

マニュアルダビング時(➜97)：

- HDD側の**初期設定**「S-VHSダビング設定」を「S-VHS再生」**(➜上記)**にしている場合、HDD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」**(➜32,65)**にして、VHS側の出力を選んでいても、“ TP ”チャンネルでカセットの再生を始めると自動的にHDD側の出力に切り換わります。また、“ TP ”チャンネルでカセットを再生している間は、手動で出力を切り換えることもできません。

VHS→DVDへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

**選んだ開始点からテープの終端までを
ワンタッチ操作で簡単にダビングしたい**

ワンタッチダビング(➜下記)

**選んだ開始点からテープの終端までを
リモコン操作だけでダビングしたい**

**ダビング開始点を選んで
マニュアルダビング(➜右ページ)**

**選んだ開始点からテープの終端まで※を
設定画面を使ってダビングしたい**

**ダビング設定画面を使って
マニュアルダビング(➜102)**

※録画モードを「FR」に設定したときは、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。

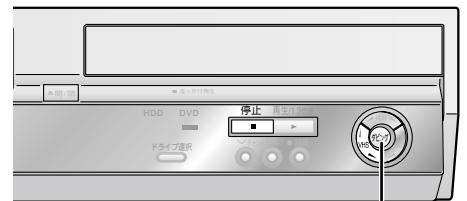
- **コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。**
- **一度デジタル放送の番組がダビングされているビデオカセットは、DVDにダビングすることはできません。(➜15)**
- **ダビング中はHDD/DVDの再生はできません。**

ワンタッチダビング

カセットに録画された番組をDVD※にワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時のテープの再生位置からディスクに自動的にダビングします。
※カセットからダビングする録画用ディスクとして使用できるのは、DVD-RAMとファイナライズ前のDVD-Rのみです。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**

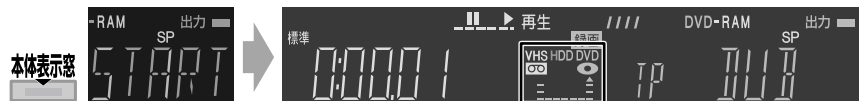
DVD側：
- 録画可能なディスク**(➜39)**を入れる。
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。**(➜38)**
- **DVD-R** VHS側の再生が二重放送の番組のときは、DVD側**初期設定**「二重放送音声記録」**(➜66)**でディスクに記録する音声を選んでおく。

VHS側： ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

[ダビング]ランプ

DVD·VHSともに停止状態で、

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

ダビング方向

- テープの終端になるか、またはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- DVD・VHS側のオンスクリーン表示→「切」**(➜67,85)**
- DVD側の録画チャンネル表示→“ TP ”**(➜87)**
- テレビへの出力→DVDより出力
- VHSの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[停止■]**によるダビングの中止
- **[リセット]**によるVHS側のテープカウンターリセット**(➜84)**
- **[へ∨チャンネル]**によるVHS側のトラッキング調整**(➜82)**

■ ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]を押す
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

番組(タイトル)(➜49)の分割について

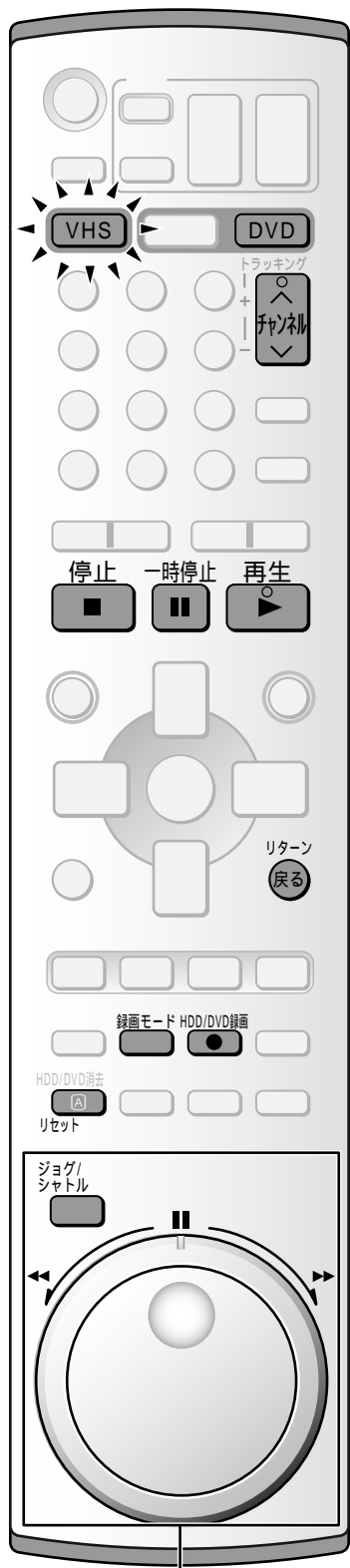
VHSからDVDへのワンタッチダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組(タイトル)を分割して録画します。DVDへのダビング後は、プログラムナビ タイトル一覧**(➜49)**を使って、番組(タイトル)を探すことができます。
- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。

マニュアルダビング

ダビング開始点を選んでダビングする

カセットに録画された番組をダビング開始点を選んでDVD※にダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、**[停止■]**を押してください。
※カセットからダビングする録画用ディスクとして使用できるのは、DVD-RAMとファイナライズ前のDVD-Rのみです。

開始点を決めるときに使うと便利です。**(➜73)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- VHS側に再生するカセット、DVD側に録画可能なディスク**(➜39)**を入れる。
- VHS側を“ DC ”**(➜87)**以外のチャンネルにする。(VHS側で“ DC ”チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

[VHS]を押す

1 カセットのダビング開始点を探す

再生 **カセットの再生を始める**
- 再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。**(➜84)**

一時停止 **ダビングの開始点で、静止画にする**

[DVD]を押す

2 “ TP ”チャンネルを選ぶ

トラッキング チャンネル
- テレビにVHSの映像が表示されます。
- TPチャンネルについて**(➜87)**

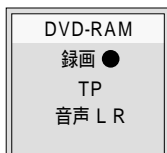
テレビ画面
DVD-RAM
TP
音声 L R

3 録画モードを選ぶ(➜38)

録画モード

4 録画を始める

HDD/DVD録画
- DVDの録画とVHSの再生が同時に始まります。
- DVD側の録画とVHS側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

DVD-RAM
録画 ●
TP
音声 L R

■ 録画を一時停止する

➡ **1 [一時停止❚❚]**を押す
(DVDの録画が一時停止します)
2 [VHS]を押して、**[一時停止❚❚]**を押す
(VHSの再生が一時停止します)

■ 録画をやめる

➡ **1 [停止■]**を押す
(DVDの録画が停止します)
2 [VHS]を押して、**[停止■]**を押す
(VHSの再生が停止します)

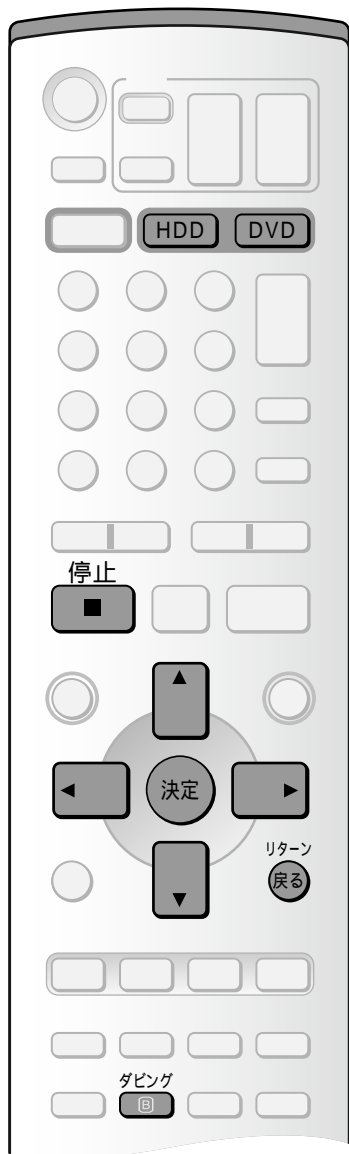
VHS→DVDへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

ダビング設定画面を使ってダビングする

カセットに録画された番組をダビング開始時のテープの再生位置から※1DVD※2にダビングすることができます。

※1 録画モードを「FR」に設定したときは、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。
※2 カセットからダビングする録画用ディスクとして使用できるのは、DVD-RAMとファイナライズ前のDVD-Rのみです。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [HDD]または[DVD]を押す。
- VHS側に再生するカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 **停止中に、**
ダビング
- ダビング設定画面が表示されます。

2 **ダビング方向を設定する**
- ダビング元を「VHS」、
  ダビング先を「DVD」に設定します。 テレビ画面
- 設定を変更しないときは、
  [決定]を押して、手順3に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ 1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、
　[▶]を押す
2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す
　[▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
　[▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

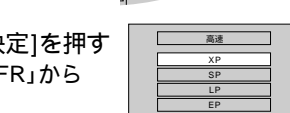
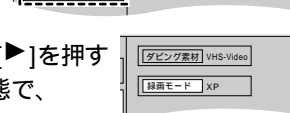
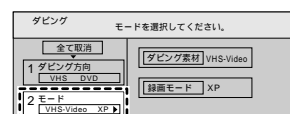
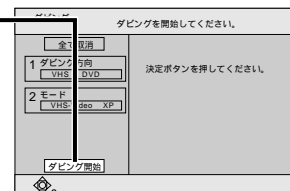
- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

3 **録画モードを選ぶ**
- 設定を変更しないときは、[決定]を
  押して、手順4に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ 1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、
　[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す

- 「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から
  選びます。
- FRモードについて(➜99)

4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

4 **「ダビング開始」が選ばれている状態で、**
決定
- 確認画面が表示されます。
  [◀]で はい を選び、
  [決定]を押してください。
  ダビングが開始されます。

■ **ひとつ前の画面に戻る ➡ [リターン/戻る]**を押す

■ **ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]**を押す
- [リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■ **S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➜99)**

お願い/ヒント

- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➜78)**
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、ダビング開始から約15秒後、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード**(➜74)**で録画された部分では、DVDにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ダビングが始まると、**VHSメニュー**「オンスクリーン」が「切」**(➜85)**になります。

ワンタッチダビング時(➜100)：

- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプとダビング方向ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- DVD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」**(➜32,65)**にしてVHSからの出力を選んでいても、ダビングが始まると自動的にDVD側の出力に切り換わります。また、手動で出力を切り換えることはできません。(ダビングを終了または中断するとVHS側に戻ります)

マニュアルダビング時(➜101)：

- DVD側の**初期設定**「S-VHSダビング設定」を「S-VHS再生」**(➜99)**にしている場合、DVD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」**(➜32,65)**にして、VHS側の出力を選んでいても、“ TP ”チャンネルでカセットの再生を始めると自動的にDVD側の出力に切り換わります。また、“ TP ”チャンネルでカセットを再生している間は、手動で出力を切り換えることもできません。

DVD→HDDへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

1枚のディスク全部をダビングしたい		**ワンタッチダビング(➜下記)**
複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビングしたい		**マニュアルダビング(➜右ページ)**
DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-Rを含む)をダビングしたい		**マニュアルダビング(➜107)**

- **ファイナライズ(➜58,115)されていないDVD-Rをダビングすることはできません。**
- **デジタル放送などの1回だけ録画可能な番組(タイトル)やプレイリストはダビングできません。(➜15,87)**
- **コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。**

ワンタッチダビング

DVDに録画された番組をHDDにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、1枚のディスク全部をHDDに自動的にダビングします。

[ダビング]ランプ

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**

DVD側：ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
HDD側：ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

HDD·DVDともに停止状態で、

【本体】

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

本体表示窓

ダビング方向　ダビング進行状況
(例：dub(ダビング)が約38 %終了)

- ディスクの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- DVD側のオンスクリーン表示→「切」**(➜67)**
- テレビへの出力→DVDより出力

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[リターン/戻る]**によるダビングの中止
- HDDの再生・録画**(➜右記)**、およびVHSの再生・録画

■ ダビング中にHDDの再生・録画をする
➡ **[決定]**を押したあと、再生・録画の操作をする
- 高速モードでダビング中は、**[決定]**を押すと画面が消え、HDDの録画や再生が楽しめます。
- **[表示切換]**を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

■ ダビングを途中でやめる
➡ **[リターン/戻る]**を3秒以上押す

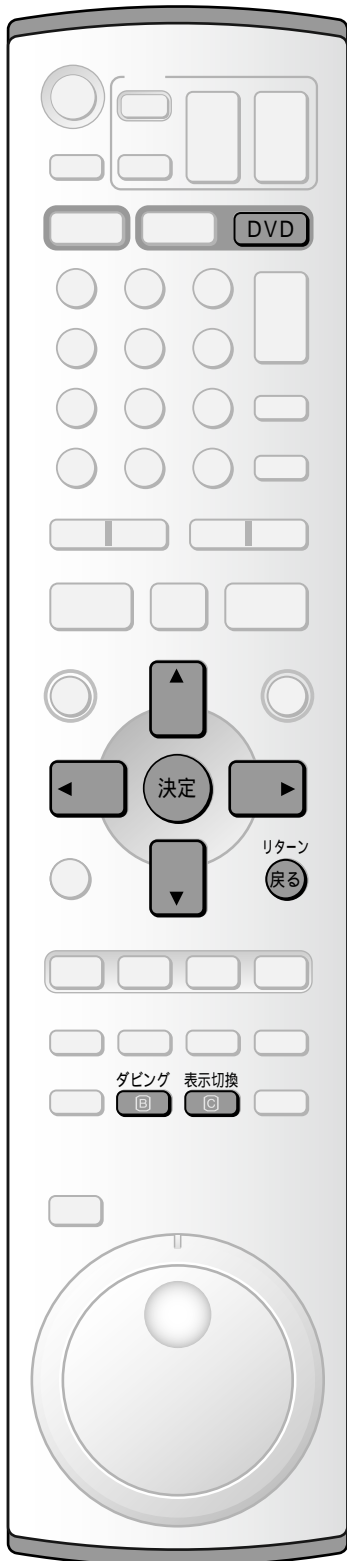
マニュアルダビング

DVDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、HDDにダビングすることができます。

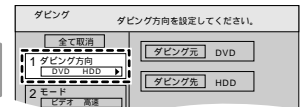
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [DVD]を押す。

HDD側：ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、

ダビング B

- ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ダビング元を「DVD」、ダビング先を「HDD」に設定します。
- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順3に進んでください。

■ 設定を変更する

➡ **1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す**

2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す

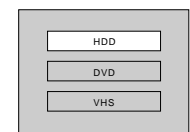
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[▲][▼]で「HDD」を選び、[決定]を押す

4 [◀]を押す

5 [決定]を押す

- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

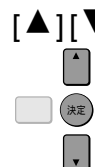
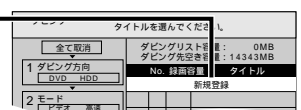
3

決定

- 録画モードは「高速」しか選べません。

ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、**[決定]**を押して、手順9に進んでください。

4 「リスト作成」が選ばれている状態で、

[▶]を押す

5 [▲][▼]で「新規登録」を選び、

[決定]を押す

6 [▲][◀][▶]で「ビデオ」または「プレイリスト」を選び、

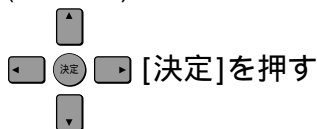
[決定]を押す

- 番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、「プレイリスト」を登録するときは「プレイリスト」を選びます。

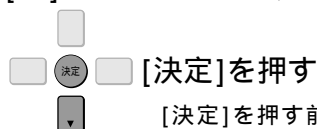
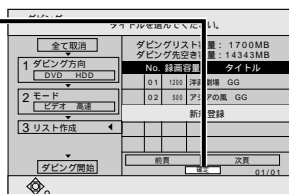
(つづく➜**次ページ手順7**)

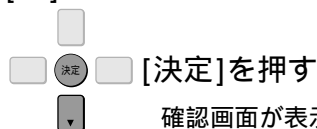
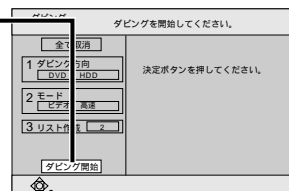
DVD→HDDへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

7 **[▲][▼][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す**

- 手順5～7を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

(ダビングリストの画面表示と便利な機能 ➜91)

8 **[▼]で「確定」を選び、[決定]を押す**

- [決定]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先空き容量"よりも小さいことを確認してください。

ダビングリストの作成が終わったら

9 **[▼]で「ダビング開始」を選び、[決定]を押す**

- 確認画面が表示されます。[◀]で はい を選び、[決定]を押してください。ダビングが開始されます。

■ **ひとつ前の画面に戻る ➡ [リターン/戻る]**を押す

■ **ダビング中にHDDの再生・録画をする**
➡ **[決定]**を押したあと、再生・録画の操作をする

- 高速モードでダビング中は、[決定]を押すと画面が消え、HDDの録画や再生が楽しめます。
- [表示切換]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

■ **ダビングを途中でやめる ➡ [リターン/戻る]**を3秒以上押す

お願い/ヒント

- 自動CM早送り(➜87)は働きません。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。

ワンタッチダビング時(➜104)：

- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプとダビング方向ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。

ファイナライズしたDVD-R(DVDビデオ)をダビングする

ディスクを再生しながら、再生している内容を設定した長さでHDDに録画します。
ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。

- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。**
- **DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。**

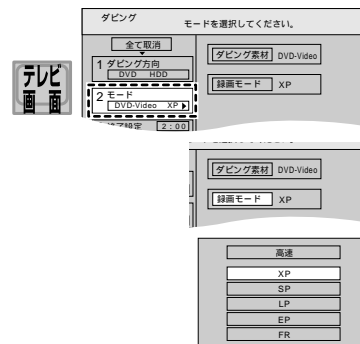
105ページ手順1～2のあと

3 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順4に進んでください。

■ **設定を変更する**

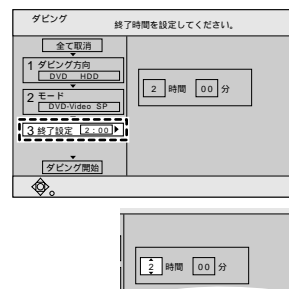
➡ **1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「XP」、「SP」、「LP」、「EP」から選びます。

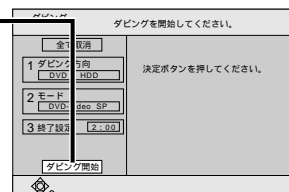
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

4 ダビングする長さ(時間)を設定する

- 再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたいタイトルより数分長めに設定してください。
- 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順5に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ **1 「終了設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で設定する
- **[1]**～**[10/0]**も使えます。

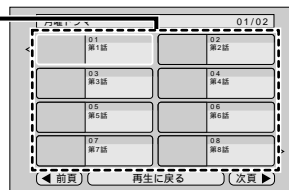
3 [◀]を押す
4 [決定]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、

- 確認画面が表示されます。
[◀]で はい を選び、**[決定]**を押してください。

- ディスクのトップメニューが表示されます。「ファーストプレイ選択」**(➜58)**で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。

6 トップメニューが表示されたら

[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたいタイトルを選び、

[決定]を押す

- 選んだタイトルから順に再生し、設定した時間まで録画します。
- ディスクの最後のタイトルの再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

■ **ひとつ前の画面に戻る ➡ [リターン/戻る]**を押す

■ **ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]**を押す

- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お願い/ヒント

- 最初に右の画面が録画されます。
- ダビングの開始から終了までが1タイトルとして記録されます。
- 自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは**[再生▶]**を押してください。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

DVD→VHSへダビングする

目的にあわせて、ダビングのしかたが選べます。

1枚のディスク全部をダビングしたい		ワンタッチダビング(➜下記)
選んだ開始点から、ディスク全部をダビングしたい		ダビング開始点を選んでマニュアルダビング(➜右ページ)
複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせてダビングしたい		ダビング設定画面を使ってマニュアルダビング(➜110)
DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-Rを含む)をダビングしたい		ダビング設定画面を使ってマニュアルダビング(➜112)

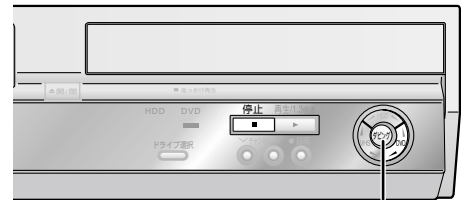
- **デジタル放送の番組をダビングすると、そのビデオカセットから再度、HDDやDVD-RAMにダビングすることはできません。(➜15)**
- **コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。**

ワンタッチダビング

DVDに録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、1枚のディスク全部をカセットに自動的にダビングします。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**

DVD側：
- ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
- 本体表示窓でDVD側の“ 再生 ”が点滅しているときは、続き再生メモリー機能が働いています。このときは、**[停止■]**を押して解除してください。**(➜35)**

VHS側：
- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。**(➜74)**

[ダビング]ランプ

DVD·VHSともに停止状態で、

約3秒以上(本体表示窓の“ START ”が点滅し終わるまで)押し続ける
- ダビング方向ランプの部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプとダビング方向ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

【本体】

ダビング方向

- ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。
- ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
- DVD側のオンスクリーン表示→「切」**(➜67)**
- テレビへの出力→VHSより出力
- DVDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ ワンタッチダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
- **[停止■]**によるダビングの中止
- **[音声]**によるVHS音声の切り換え
- **[リセット]**によるVHS側のテープカウンターリセット**(➜84)**

■ ダビングを途中でやめる ➡ [停止■]を押す
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

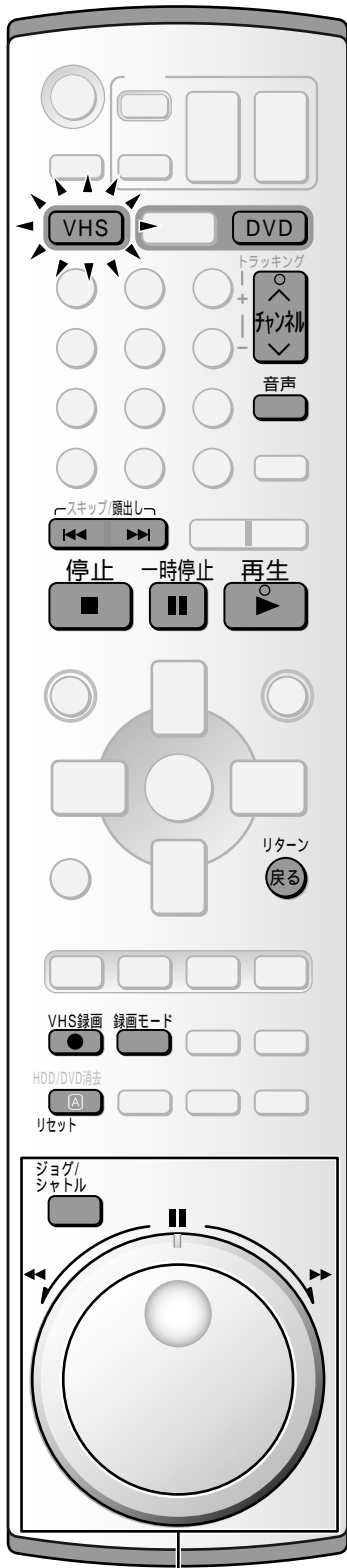
頭出し信号の書き込みについて

DVDからVHSへのワンタッチダビング時には、1つの番組(タイトル)ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、**頭出し[|◀◀][▶▶|]**を使って番組を探すことができます。

マニュアルダビング

ダビング開始点を選んでダビングする

DVDに録画された番組をダビング開始点を選んでビデオカセットにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、**[停止■]**を押してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25,33)**
- DVD側に再生するディスク、VHS側に録画可能なカセットを入れる。
- DVD側を"TP"**(➜87)**以外のチャンネルにする。(DVD側で"TP"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

[DVD]を押す

1 ディスクのダビング開始点を探す

DVDを再生する
- 再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。**(➜61)**

ダビングの開始点で、静止画にする

[VHS]を押す

2 "DC"チャンネルを選ぶ

- テレビにDVDの映像が表示されます。
- DCチャンネルについて**(➜87)**

3 カセットの録画開始点を探す

カセットを再生する

録画の開始点で、静止画にする

録画の一時停止にする

4 録画モードを選ぶ(➜74)

5 録画を始める

- VHSの録画とDVDの再生が同時に始まります。
- VHS側の録画とDVD側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

開始点を決めるときに使うと便利です。**(➜37,73)**

■ 録画を一時停止する
➡ **1 [一時停止❚❚]**を押す
(VHSの録画が一時停止します)
2 [DVD]を押して、**[一時停止❚❚]**を押す
(DVDの再生が一時停止します)

■ 録画をやめる
➡ **1 [停止■]**を押す
(VHSの録画が停止します)
2 [DVD]を押して、**[停止■]**を押す
(DVDの再生が停止します)

DVD→VHSへダビングする (つづき)

マニュアルダビング (つづき)

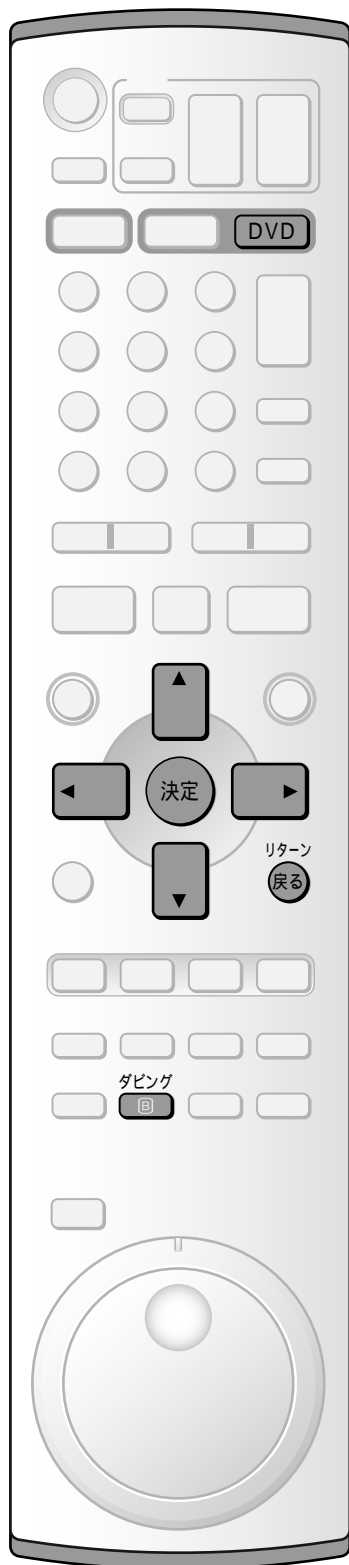
ダビング設定画面を使ってダビングする

DVDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、ビデオカセットにダビングすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25,33)
- [DVD]を押す。

VHS側：
- 録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- テープに十分な残量があることを確認しておく。

1 **停止中に、**

ダビング [B]

- ダビング設定画面が表示されます。

2 **ダビング方向を設定する**

- ダビング元を「DVD」、ダビング先を「VHS」に設定します。 テレビ画面
- 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順3に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ **1** 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、[決定]を押す [▲][▼]で「DVD」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す [▲][▼]で「VHS」を選び、[決定]を押す

4 [◀]を押す

5 [決定]を押す

- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。
- ダビング先を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。

3 **録画モードを選ぶ**

- 設定を変更しないときは、[決定]を押して、手順4に進んでください。

■ **設定を変更する**

➡ **1** 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [▲][▼]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「標準」、「3倍」、「5倍」から選びます。

4 [◀]を押す

5 [決定]を押す

ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、[決定]を押して、手順9に進んでください。

4 **「リスト作成」が選ばれている状態で、**

[▶]を押す

5

[▲][▼]で「新規登録」を選び、

[決定]を押す

6

[▲][◀][▶]で「ビデオ」または「プレイリスト」を選び、

[決定]を押す

● 番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、「プレイリスト」を登録するときは「プレイリスト」を選びます。

7

[▲][▼][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、

[決定]を押す

● 手順5～7を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

(ダビングリストの画面表示と便利な機能 ➜91)

8

[▼]で「確定」を選び、

[決定]を押す

● [決定]を押す前に、" ダビング時間 "が" ダビング先残量 "よりも小さいことを確認してください。

9

自動CM早送り(➜87)の切/入を選ぶ

● 設定を変更しないときは、**[決定]**を押して、手順10に進んでください。

■ 設定を変更する

➡ 1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [決定]を押す

ダビングリストの作成が終わったら

10

「ダビング開始」が選ばれている状態で、

● 確認画面が表示されます。
[◀]で はい を選び、**[決定]**を押してください。
ダビングが開始されます。

■ ひとつ前の画面に戻る ➡ [リターン/戻る]を押す

■ ダビングを途中でやめる ➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

DVD→VHSへダビングする（つづき）

お願い/ヒント

- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜78)
- DVD側の**初期設定**「共用出力設定」を「手動」(➜32,65)にしてDVDからの出力を選んでいても、ダビングが始まると自動的にVHS側に出力が切り換わります。
  また、手動で出力を切り換えることはできません。(ダビングを終了または中断するとDVD側に戻ります)
- コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ダビングが始まると、DVD側の**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➜67)になります。

ワンタッチダビング時(➜108)：

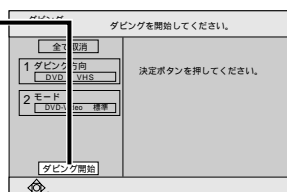
- ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプが約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- 本体表示窓でDVD側の“ 再生 ”が点滅しているときは、続き再生メモリー機能(➜35)によって、ディスクの再生開始位置が記憶されています。このときにダビングを開始すると、再生開始位置が含まれるタイトル(➜49)の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。

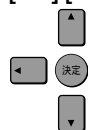
ファイナライズしたDVD-R(DVDビデオ)をダビングする

ディスクを再生しながら、再生している内容をビデオカセットに録画します。
ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。

- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。**
- **DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。**

110ページ手順1〜3のあと

4 **「ダビング開始」が選ばれている状態で、**

- 確認画面が表示されます。
  [◀]で はい を選び、
  [決定]を押してください。
- ディスクのトップメニューが表示されます。「ファーストプレイ選択」(➜58)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。

5 **トップメニューが表示されたら**
[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたいタイトルを選び、

[決定]を押す

- 選んだタイトルから順に再生します。
- ディスクの最後のタイトルの再生が終わったあとは、トップメニューを録画し続けます。ダビングをやめるときは、[停止■]を押してください。

■ **ひとつ前の画面に戻る** ➡ **[リターン/戻る]**を押す

■ **ダビングを途中でやめる** ➡ **[停止■]**を押す

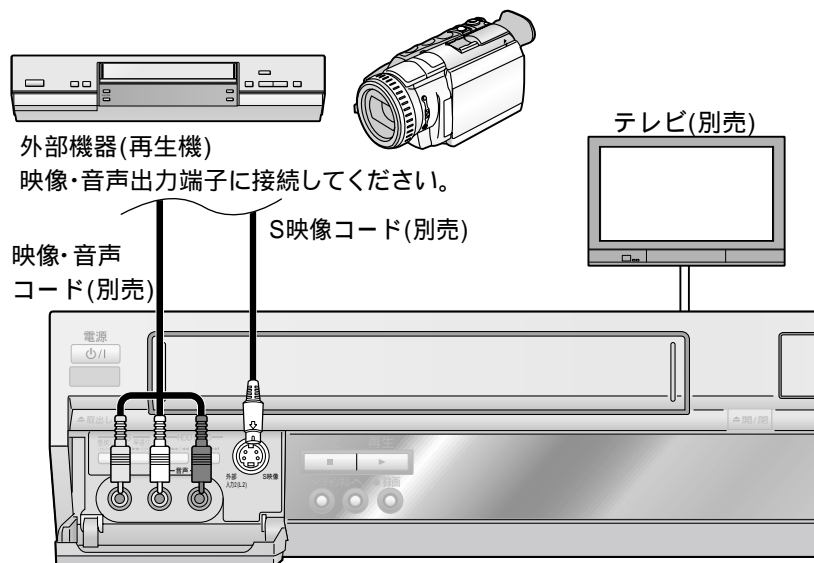
- **[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お願い/ヒント

- 最初に右の画面が録画されます。
- ダビングの開始から終了までが1タイトルとして記録されます。
- 自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは[再生▶]を押してください。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビング開始点を選んでダビングすることもできます。(➜109)

開始点を決めるときに使うと便利です。(➜73)

外部入力を録画する HDD DVD VHS

他のビデオなどから録画する

例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)端子に接続することもできます。

■ 外部機器の音声出力端子がモノラルのとき

- 本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、音声は[左/モノ]に接続してください。
- 本機後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

■ S映像入力について

- S映像コードからの入力は、HDD/DVD側ではS1/S2規格(**➜23**)に対応しています。
  VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

準備
- [**HDD**]、[**DVD**]または[**VHS**]のいずれかを押して、録画する側にする。
- 録画可能なディスク(**➜39**)、またはカセットを入れる。

1 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3：外部入力3端子(後面)に接続したとき

2 録画開始点を探す(HDD/DVD側で録画する場合、この操作は不要です)

再生
カセットを再生する

一時停止
録画の開始点で、静止画にする

VHS録画
録画の一時停止にする

3 録画モードを選ぶ(➜38,74)

録画モード

4 再生機で、再生を始める

- 二重放送の音声を録音する場合、接続する機器側で、再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(**➜右記**)

5 録画を始める

■ HDD/DVD側で録画するとき

録画を始めたい場面で HDD/DVD録画

■ VHS側で録画するとき

録画を始めたい場面で 一時停止

お願い/ヒント

- HDD/DVD側で録画する場合、" ぴったり録画 "(**➜40**)を使うと、ビデオなどの映像を最後まで録画する設定ができます。(ディスクの残量によっては、最後まで録画できない場合があります)

■ 二重放送の音声を録音するとき

HDD RAM：
本機で再生したとき音声を正しく切り換えられるように、接続する機器側で主音声と副音声を同時に出力してください。

DVD-R：
" 主音声 "または" 副音声 "の一方を接続する機器で出力させてください。両方の音声を出力させても再生時に音声を選ぶことはできません。

■ 本機を再生機として使うとき

- テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(**➜67,85**)にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

■ テレビの近くで操作するとき

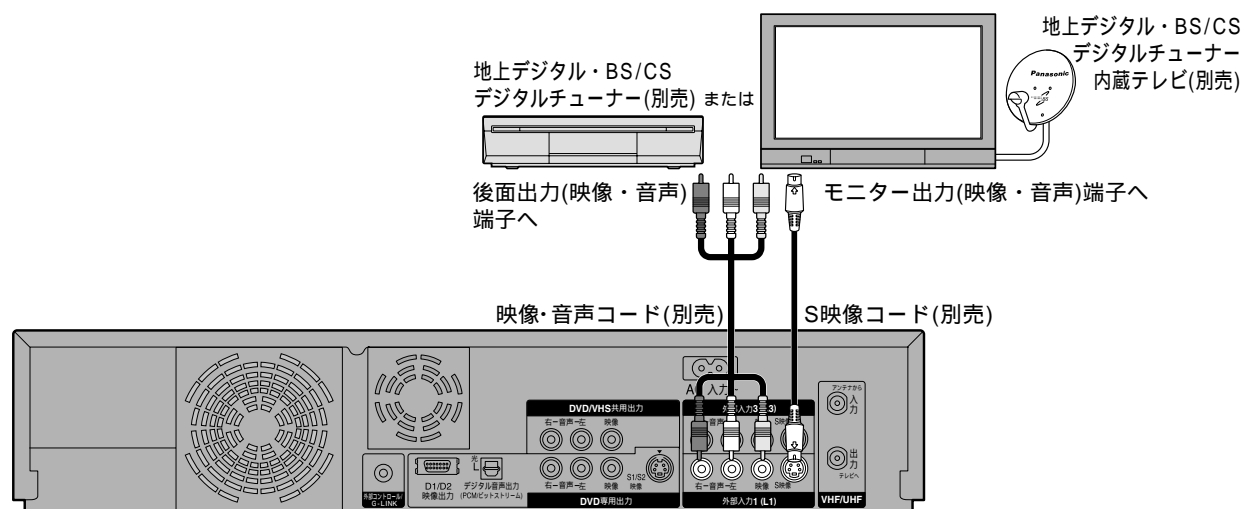
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

■ 録画をやめる

➡ **[停止■]を押す**

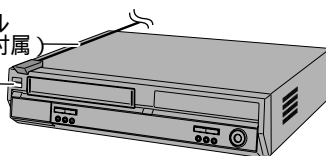
- 再生機も停止させてください。

他のビデオなどから録画する（つづき）

地上デジタル・BS・CS番組を録画するとき

- テレビモニター出力から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- 詳しくは、テレビの説明書もお読みください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

■ 地上デジタル、BS/CSデジタルチューナーと接続するとき

- 地上デジタルやBS、CS放送をご覧になるには、それぞれ対応したチューナー(別売)が必要です。また、有料の場合はそれぞれの放送会社との受信契約が必要な場合があります。(詳しくは、それぞれの放送会社にご相談ください)
- チューナー側の説明書もお読みください。
- 110度CSデジタル放送をお楽しみいただく場合は、販売店にご相談ください。
- 本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(**➔右ページ**)に対応しています。(チューナーなどのIrシステムがDVDビデオレコーダーに対応していることをご確認ください)
  Irシステムの設置・設定・操作方法は、チューナー側の説明書をお読みください。

Irシステムケーブルの設置例

詳しくはチューナーなどの説明書をお読みください。

コピー禁止処理がされている映像は録画することができません。

- 市販されているビデオ、DVDソフトのほとんどや地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。
  また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

デジタル放送をディスクに録画するときは、HDDまたはCPRM(➔右ページ)対応のDVD-RAMをお使いください。DVD-Rには録画できません。(デジタル放送の録画制限について➔14)

- 著作権保護のため、デジタル放送には1回だけ録画を許可するコピー制御信号が加えられています。(2004年4月より)
  これらの映像を録画するには、HDDまたは“ CPRM ”に対応しているDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで“ CPRM ”対応かどうか確認してください。
  録画する方法は制限のない映像の場合と同じですが、録画した番組は複製できません。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

用語解説

■ サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

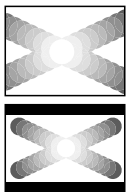
■ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

■ ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルに混合することです。5.1chのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。ダウンミックスが禁止されたディスクは、本機ではフロントの2チャンネルのみが再生されます。

■ デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

■ ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)とDVDのことをいいます。データの読み書きを行います。

■ パン＆スキャン/レターボックス
DVDソフトの多くは、ワイドテレビ画面(横縦比が16：9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4：3)のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が4：3に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

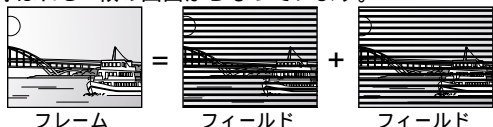
- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

■ ファイナライズ
録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-Rのファイナライズが可能です。ファイナライズすると、録画や編集ができなくなります。

■ フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は､DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

■ フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDDとDVD-RAMのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

■ フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

＝
＋
フレーム　　フィールド　　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

■ プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています)

■ プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

■ プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

■ Bitstream
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

■ CPRM (Content Protection for Recordable Media)
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応したディスクにのみ録画できます。

■ Dolby Digital (ドルビーデジタル)
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2ch)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

■ DTS (Digital Theater Systems)
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

■ EPG (Electronic Program Guide)
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表を使って予約録画などができます。

■ HDD (ハードディスクドライブ)
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の一つです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

■ Irシステム
チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVDビデオレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

■ ID3タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

■ LPCM (リニアPCM)
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

■ MP3 (MPEG AUDIO Layer3)
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

■ P.PCM (パックトPCM)
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

■ SQPB (S-VHS Quasi Playback)
S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

■ VBR (Variable Bit Rate)
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

故障かな？

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに、操作できない**	● 予約録画の待機中になっている。 ● 各種安全装置が働いていることがあります。 **HDD/DVD部の操作ができない場合：** 1. 本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を切る。 ● 電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) 2. 本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を入れる。 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	47,78 —
	自動的に電源が切れた	● **初期設定**の「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます) ● 各種安全装置が働いていることがあります。[**DVD/VHS電源**]を押し、電源を入れてください。	65 —
接続・設置	**本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった**	● テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)	—
	テレビに本機の画面が出ない	● テレビの入力を切り換えていない。 ● プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体HDD/DVD側の[**停止■**]と[**VHS▷DVD**](**ダビング**)を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ● テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。	25 — —
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない **有料番組やハイビジョン放送が見られない**	● 接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ● 本機ではハイビジョン放送は見られません。	114 —
	ハウリング(ピー)音が出る	● モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
リモコン	**リモコンが操作できない** **本機が操作できない**	● 電池が消耗している。 ● 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ● リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがある。 ● 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ● [**HDD**]または[**DVD**]と、[**VHS**]を間違って選んでいる。 ● 予約録画の待機中になっている。 ● 本体とリモコンモードが合っていない。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。	17 17 17 17 16 47,78 68
	テレビが操作できない	● メーカー番号が合っていない。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。	24
本体	**時刻表示が“ 0：00 ”で点滅している**	● 時刻が合っていない。	69
	表示が暗い	● **初期設定**の「FLディマー」で明るさを変えてください。	67
	VHSのテープカウンター表示の値が動かない	● テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	HDDの起動が遅い	● HDDが休止状態になっている（表示窓に“ HDD SLP ”と表示)。	11
	ディスク・カセットが取り出せない	● 予約録画の待機中、または実行中になっている。 ● 録画中になっている。 ● 上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体HDD/DVD側の[**停止■**]と**チャンネル**[**∧**]を同時に約5秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	47,78 38,74 —
	ディスク・カセットが入らない	● 電源プラグがコンセントから外れている。 ● 正しく入れていない。	— 34,70

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音がする。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- HDD休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- 早送り/早戻し(VHSでは巻き戻し再生)すると映像が乱れる。

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜131)にお問い合わせください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD 映像	画面の横縦比が4：3に指定された映像が、左右方向に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	● テレビ側の画面モードを確認してください。 ● プログレッシブ映像の横縦比を調節できないテレビの場合、**画面設定**の「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ● **初期設定**の「接続するTV」、「DVD-Video」や「DVD-RAM」、「ワイドモード」の設定を確認してください。	― 63 65,67
	再生時の映像に残像が多い	● **画面設定**の「3次元NR」「インテグレイテッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	63
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	● 映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**画面設定**の「プログレッシブ」を「切」にしてください。	63
	画質を調整しても映像が変わらない	● 映像によっては効果が得られない場合があります。	―
	テレビにHDD/DVD側の画面が出ない	● 初めて使うDVD-RAMやDVD-Rには何も記録されていません。	―
HDD・DVD 表示	画面メッセージが出ない	● **初期設定**の「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	67
	ブルーバック(青い画面)にならない	● **初期設定**の「ブルーバック」を「入」にしていない。	67
	再生・録画時間が実際の時間どおり表示されない	● 少なく表示されることがありますが、実際の録画には影響ありません。 ● 早送り/早戻しすると、実際の時間どおり表示されないことがあります。	― ―
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする	● 残量表示は実際より増減することがあります。 ● DVD-Rに録画や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	― ―
HDD・DVD 再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	● ディスクを正しく入れていない。 ● ディスクが汚れている。 ● 本機で使えないディスクや未記録のDVD-RAM、DVD-Rが入っている。 ● 他の当社製DVDレコーダーでDVD-RAMに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ● DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	34 13 ― ― 65
	映像や音声が一瞬止まる	● プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。 ● 高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。	― ―
	DVDビデオを再生できない	● DVDで視聴制限が設定されている。(**初期設定**の「視聴制限」を変更してください)	65
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	● ディスクに複数の言語が収録されていない。 ● **画面設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	― ―
	字幕が出ない	● ディスクに字幕が収録されていない。 ● **画面設定**の「字幕情報」が「入」になっていない。	― 63
	アングルを切り換えられない	● 複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	―
	視聴制限の設定をしたときの暗証番号を忘れた	● 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 **[DVD]**を押し、**[⏏開/閉]**を押してトレイが開いている状態で、本体HDD/DVD側の[**⏮/◀◀] [▶▶/⏭**]を同時に5秒以上押すと戻ります。	―
	早見再生ができない	● **初期設定**の「早送り時の音声と1.3倍速再生」が「入」になっていない。 ● 音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ● 録画モードが“ XP ”または“ FR ”での録画中は働きません。RAM ● シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。	66 ― ― ―
	自動CM早送り再生が働かない	● 最大49個働きます。それを超えた場合は働きません。	―
	続き再生メモリー機能が働かない	● 本体表示窓の“ 再生 ”が点滅していないときは働きません。 ● 記憶した位置は、電源を切ったりディスクトレイを開けると解除されます。プレイリストの場合は、番組(タイトル)やプレイリストを編集したときも解除されます。	35 ―
	操作できない	● ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。	―
HDD・DVD 録画	録画できない	● ディスクが入っていない。または対応していないディスクが入っている。 ● ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ● 録画に制限のある番組を録画しようとした。 ● ディスク残量がない場合や、番組(タイトル)数が最大数になっている場合は録画できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使う) ● フォーマットされていない。RAM ● ファイナライズ後のDVD-Rには録画できません。DVD-R ● ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、録画や編集ができなくなることがあります。DVD-R ● 本機で録画したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	13 39,58 14 50 58 58 ― ―
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	● 停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。消失した番組内容やディスクは補償できません。フォーマット(HDD RAM)するか、新しいディスクを使ってください。	―

故障かな？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD 音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音がおかしい、小さい	● 接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。 ● アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ● 正しい音声を選んでいない。 ● ディスクによってはサラウンドの効果が出にくいものや、出ないものがあります。以下の場合は**画面設定**「サラウンド」を切ってください。 ・カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合 ・二重放送の番組を再生する場合 ● ディスク側で音声の出力方法が制限されている。(表示窓の“ D.MIX ”が表示されない3チャンネル以上のディスクは、本機ではフロントの2チャンネルのみが再生されます) ディスクのジャケットなどを確認してください。 DVD-A	22,67 — 61 63 —
	音声が切り換えられない	● 以下の場合は音声の切り換えができません。 ・「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-Rが入っている場合 ・録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」がLPCMの場合 ・**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」が「入」の場合 ● 光デジタルケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ● ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	— 67 —
HDD・DVD 編集・整理	番組(タイトル)を消去しても残量が増えない	● パソコンのデータなどが記録されていて、タイトル消去を行ってもディスクの残量が増えない場合は、必要であればフォーマットしてください。 RAM ● 消去しても残量は増えません。 DVD-R	58 50
	フォーマットできない	● ディスクが汚れている場合は、専用のディスククリーナー(別売)(**➔128**)できれいにふいてからフォーマットしてください。 ● フォーマットできないディスクは、本機では使えない場合があります。	13 —
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	● 作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ● イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ● 静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	● チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	53
	プレイリストが作成できない	● 番組(タイトル)が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	54
VHS 表示	画面メッセージなどが出ない	● **VHSメニュー**の「オンスクリーン」を「切」にしている。	85
	再生画面がブルーバックになる	● テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ● 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
VHS 再生	再生できない	● 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。	—
	再生画面がチラチラする	● ビデオヘッドが汚れている。 ● テープが古い、またはいたんでいる。	82 10
	再生画面にノイズが出る	● 本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	—
VHS 録画	録画できない	● カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ● カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。	75 75
	テレビ番組が録画できない	● 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	74

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
VHS音声	聞きたい音声が聞こえない	● 正しい音声を選んでいない。	84
	音声がステレオではない	● ステレオ音声を選んでいない。	84
	ステレオ音声がブツブツと聞こえる	● トラッキングがずれている。 ● 再生中のテープに傷などが付いている。	82 10
HDD・DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない	● 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。 ● 予約録画の待機状態になっていない。 ● 予約録画の時間帯が重なっている。 ● 時刻が合っていない。	46,78 47,78 — 69
	[停止■]を押しても、予約録画が終わらない	● 予約録画実行中は[**タイマー 切/入** ◴]を押してください。	47,78
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	● 毎日・毎週予約のときは消えません。	—
	予約録画中の映像が映らない	● 予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画の内容を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
番組表(EPG)	番組表が表示されない 8日分表示されない	●「番組表設定」を確認してください。 ● 番組表データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後や、データ送信時間に本機を使用していた場合は、番組表データが受信されていません。電源「切」状態でしばらくお待ちください。(1日程度かかる場合があります。お買い上げ時の受信時刻設定は、「番組表データ送信時刻」をご覧ください) ● 時刻が合っていない。 ● ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	30 27,127 69 —
	番組表に表示されない放送局がある	●「放送局名」が正しく設定されていない。 ●「Gガイド地域」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表に放送内容は表示されません。	29,124 31,126
	番組表に“ 予 ”が表示されない	● 番組の一部のみを予約している。	—
	録画した番組とタイトル名が合っていない	● 予約設定後に番組が変更されても、予約時のタイトル名で録画されます。	—
ダビング・外部入力	ビデオカセットからディスクにダビングできない ディスクからビデオカセットにダビングできない	●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ● ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ● 市販されているビデオソフトやDVDソフト(レンタルビデオ、レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたビデオカセットの場合は、再度、HDDやDVD-RAMにダビングできません。	75 39,58 114 15
	DVD-Rに高速モードでダビングできない	● 録画時に**初期設定**「DVD-R高速モード用録画」が「入」になっていない。	65
	高速モードでのダビングに時間がかかる	● 高速記録に対応していないディスクを使っている。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ● 番組(タイトル)数が多い場合は時間がかかります。 ● 6時間以上の番組(タイトル)は、EP(8H)モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-Rに高速モードでダビングできません。	— — —
	DVD-Rでディスクの回転音が大きい	● DVD-Rへの録画時や高速モードでのダビング時は、通常のディスク回転音より音が大きい場合があります。	—
	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	● ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオカセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
	黒い帯状のノイズが録画された	● 再生側機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。再生側の機器をテレビから離してください。	113
	外部機器から録画・録音できない	● 正しく接続していない。 ● 再生機を接続した外部入力チャンネル“ L1 ”、“ L2 ”または“ L3 ”を選んでいない。	113 113

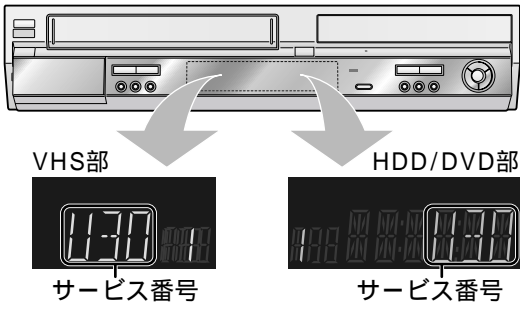
	Q(質問)	A(回答)	ページ
電源	転居先で使えるか?	● 日本国内であれば使えます。転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。	26
	海外でも使えるか?	● 本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使えません。	—
接続	モノラルテレビと接続したいが?	● ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。	128
	ビデオ入力(映像·音声)端子がないテレビと接続したいが?	● 本機とは接続できません。	—
	ハイビジョンテレビに接続できるか?	● できます。特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	22
	S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?	● DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。 コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。	22
	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か	● 当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	—
	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?	● 本機だけではマルチチャンネル音声は楽しめません。光デジタルケーブルでドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへ接続し、アンプに6本のスピーカーを接続してください。 ● 本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネル(ステレオ)のため、DVDオーディオのマルチチャンネル音声は楽しめません。	23 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか?	● 本機には直接接続できません。アンプなどをとおして接続してください。	—
DVD・VHS出力切換	電源を入れた直後、DVDの映像に切り換わるときがあるが、なぜか?	● 本体にディスクが入ったまま電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生が始まることがあります。 **初期設定**の「共用出力設定」を「自動」にしているときは、ディスクの再生が始まると自動的にDVD側の映像に切り換わります。映像を自動的にDVD側に切り換えたくないときは、「手動」を選んでください。「自動」にしていても、電源を入れたときにディスクが入っていないと、DVD側の映像に切り換わりません。	32
その他	地上デジタルやCS、BSの放送を見ることができるか? また、それらの放送を録画できるか?	● 本機だけでは地上デジタルやBS、CSの放送を見ることはできません。地上デジタル・BS/CSデジタルのチューナーなどを外部入力に接続し、チューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ● チューナーのIrシステムがDVDビデオレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご確認ください。 ● 有料放送を見るには、放送会社との(複数のBS放送を見るには放送局ごとに)受信契約が必要な場合があります。 ● デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか“CPRM”対応のDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、これらの映像は複製できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、カセットにも録画できます。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、DVD-Rには録画できません。 ● デジタルハイビジョン画質での録画はできません。	114 114 114 14 14 14 —
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか?	● M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力(L1、L2またはL3)に接続し、外部入力を接続したチャンネルを選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	—
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか?	● 使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。(自動で裏返すことはできません)	34,39
	DVD-R、CD-R/RWやDVD-RWは使えるか?	● DVD-Rは使用できます。(ただし、ファイナライズしたDVD-Rは再生のみ)高速記録対応のDVD-Rも使用できます。 ● DVD-RWは使用できません。 ● フォーマットはできません。 ● CD-DA、MP3、ビデオCDのいずれかの規格で記録後、ファイナライズされた音楽用CD-R、CD-RWが再生できます。 ● CD-R/RWには記録できません。	12 13 58 12 —
	海外で買ったDVDビデオやビデオCDは再生できるか?	● 映像方式がNTSCであれば再生できます。ただし、DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	12
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか?	● DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	—

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

	Q(質問)	A(回答)	ページ
カセット	**S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?**	● できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ● S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	75 70
	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?	● カセットアダプター(別売)を使えばできます。ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ● S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	ー ー
	海外で録画したカセットを再生できるか?	● 同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。	ー
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	● できません。	75
HDD・DVD録画・録音	**本機で録画したDVD-Rは他の機器で再生できるか?**	● 本機で録画したDVD-Rをファイナライズすると、DVDプレーヤーなど、他の再生対応機器で再生できます。ただし、すべての機器で再生を保証するものではありません。記録状態によって再生できない場合があります。	58
	本機でデジタル信号のまま録音できるか?	● できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	ー
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	● できます(PCM)。ただし、DVDの音声を録音する場合、**初期設定**の「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」：「入」 「Dolby Digital」：「PCM」 「DTS」：「PCM」 ただし、ディスクがデジタル録音を禁止していないことと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。 ● MP3信号は録音できません。	67 ー
	録画中、二重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか?	● 再生中のDVD-RAMは**[音声]**で切り換えられます。 ● DVD-Rがディスクトレイにあるときは切り換えできません。 DVD-Rの音声は録画する前に**初期設定**「二重放送音声記録」で切り換えておいてください。	61 66
	ディスクに高速でダビングできるか	● 高速記録対応のディスクを使用すると、DVD-Rに最大32倍速、DVD-RAMに最大24倍速でダビングできます。	87
VHS録画	**録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?**	● できます。**[音声]**で聞きたい音声を選んでください。	84
	ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?	● できません。	ー
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?	● BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。	ー
予約録画	**予約録画は予約した順番に行われるのか？**	● 予約内容の日付・時刻順に行われます。	ー
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか?またはディスクやカセットを入れ替えることができるか?	● ディスクやカセットを他のものに入れ換えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ● DVDの予約待機中でもHDD・DVD-RAMの再生、VHSの再生・録画ができます。 ● VHSの予約待機中でもHDD・DVD-RAMの再生・録画ができます。	47,78 42 76
	テレビの電源は入れていなくてもいいのか？	● 本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。 ● テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。	ー 114

メッセージ表示一覧

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
異常が発生しました。決定ボタンを押してください。	● [**決定**]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に“ SELF CHECK ”表示中)は操作できません。	—
ディスクが入っていません。	● ディスクが裏返しになっていませんか。	34
記録できないディスクが入っています。	● DVD-RAM、DVD-R以外のディスクやファイナライズ後のDVD-Rが入っています。	12
このディスクは規定のフォーマットがされていません。	● フォーマットされていないDVD-RAMが入っています。	58
ディスクがいっぱいで記録できません。	● 不要な番組(タイトル)を消去してください。 HDD RAM	50
番組数がいっぱいで記録できません。	● 新しいディスクを使ってください。	—
ダビング先の容量が足りません。		
ディスクへの書き込みができません。	● ディスクに傷や汚れがありませんか。	13
ディスクを確認してください。		
フォーマットできません。		
ディスクを交換してください。	● ディスクに異常が発生した恐れがあります。 [**⏏開/閉**]を押して、ディスクを取り出し(電源が切れます)、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	13
ホスト局が設定されていません。	● チャンネルと番組表設定を設定してください。	26,30
番組データは未取得です。		
この放送局の番組データは取得できません。	●「Gガイド地域」の設定に対応していない放送局ではありませんか。 ● 放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	126 28
🚫	● ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—
再生できません。	● 非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	13
ダビングできませんでした。	● ディスク、または光ピックレンズ※が汚れています。 ※ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。	13
コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	● コピー禁止処理がされたカセットをワンタッチダビングしようとしています。 ● コピー禁止処理がされたカセットをマニュアルダビングしようとしています。	96, 100 97, 101
コピーガードがかかっています記録できません	● コピー禁止処理がされたディスクをマニュアルダビングしようとしています。	109
1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできない録画先へダビングしようとしています。	15

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のメッセージやサービス番号を表示します。

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	● ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ● DVD-RAM/PDレンズクリーナー(別売)(➜128)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[▲開/閉]を押してクリーナーを取り出してください。	13 —
SLF CHECK	● 停電または、動作中に電源コードが抜けたため、復旧動作中です。表示が消えると使えます。	—
UNS PPORT	● 本機で再生や録画できないディスクが入っています。	13
HAR D ERR	● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD SLP	● HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。[HDD]を押すとHDDが起動します。	11
PROG FULL	● HDD/DVD側ですでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。 ● VHS側ですでに16件の予約がされています。不要な予約を消してください。	46 78
U11	● ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	82
U30	● 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 リモコンモードを合わせてください。	68
U59	● 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	7
U99	● 本体が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切／入してください。	—
H□□またはF□□	● 異常と思われます。(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) 「故障かな?」の項目に従って点検してください。それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。 1. 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。 2. [DVD/VHS電源]を押し、電源を入れる。(直ることがあります) 上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。	131

市外局番チャンネル設定一覧表

市外局番チャンネル設定(➔26)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。

市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	Po(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)														
			Po 1			Po 2			Po 3			Po 4			Po 5		
			放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示
北海道	札幌	011	HBCテレビ	1	1				NHK総合札幌	3	3	TV北海道	17	17	STVテレビ	5	5
	旭川	0166				NHK教育札幌	2	2				TV北海道	33	33			
	北見	0157				NHK教育札幌	2	2									
	帯広	0155	HTBテレビ	34	34							NHK総合札幌	4	4			
	釧路/室蘭	0154/0143				NHK教育札幌	2	2				TV北海道	29	29			
	函館	0138	TV北海道	21	21	UHBテレビ	27	27	HTBテレビ	35	35	NHK総合札幌	4	4			
青森	青森	017	青森放送	1	1				NHK総合青森	3	3				NHK教育青森	5	5
	八戸	0178										青森朝日放送	31	31			
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	めんこいテレビ	33	33	テレビ岩手	35	35	NHK総合盛岡	4	4	IATテレビ	31	31
宮城	仙台	022	東北放送	1	1				NHK総合仙台	3	3				NHK教育仙台	5	5
秋田	秋田	018				NHK教育秋田	2	2							秋田朝日放送	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1							NHK総合秋田	4	4	秋田朝日放送	59	59
山形	山形	023										NHK教育山形	4	4	さくらんぼ	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1				NHK総合山形	3	3				さくらんぼ	24	24
福島	福島	024	東北放送	1	1	NHK教育福島	2	2				テレビユー福島	31	31			
	会津若松	0242	NHK総合福島	1	1				NHK教育福島	3	3	テレビユー福島	47	47			
	いわき	0246				テレビユー福島	32	32				NHK総合福島	4	4			
茨城	水戸	029	NHK総合東京	44	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	46	3	日本テレビ	42	4	放送大学	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合東京	29	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	27	3	日本テレビ	25	4	とちぎテレビ	31	31
群馬	前橋	027	NHK総合東京	52	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	50	3	日本テレビ	54	4	群馬テレビ	48	48
埼玉	さいたま	048	NHK総合東京	1	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合東京	1	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16
東京	東京	03	NHK総合東京	1	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合東京	1	1	MXテレビ	14	14	NHK教育東京	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16
新潟	新潟	025							新潟テレビ21	21	21	テレビ新潟	29	29	新潟放送	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	MROテレビ	6	6	NHK総合富山	3	3	石川テレビ	37	37			
石川	金沢	076	北日本放送	1	1				富山テレビ	34	34	NHK総合金沢	4	4			
福井	福井	0776							NHK教育福井	3	3						
山梨	甲府	055	NHK総合甲府	1	1				NHK教育甲府	3	3	日本テレビ	4	4	山梨放送	5	5
長野	長野	026				NHK総合長野	2	2				長野朝日放送	20	20			
	飯田	0265	長野朝日放送	44	44				NHK教育長野	3	3	NHK総合長野	4	4			
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1				NHK総合名古屋	39	3				CBCテレビ	5	5
静岡	静岡	054				NHK教育静岡	2	2				静岡第一テレビ	31	31			
	浜松	053	東海テレビ	1	1	静岡第一テレビ	30	30				NHK総合静岡	4	4	CBCテレビ	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1				NHK総合名古屋	3	3				CBCテレビ	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	テレビ愛知	25	25	NHK総合名古屋	31	3	毎日放送	4	4	CBCテレビ	5	5
滋賀	大津	077				NHK総合大阪	28	28				毎日放送	36	4			
京都	京都	075				NHK総合大阪	32	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4			
大阪	大阪	06				NHK総合大阪	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4			
兵庫	神戸	078				NHK総合大阪	28	2	サンテレビ	36	36	毎日放送	18	4	テレビ大阪	19	19
奈良	奈良	0742				NHK総合大阪	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4	NHK総合大阪	51	51
和歌山	和歌山	073				NHK総合大阪	32	2				毎日放送	42	4	テレビ和歌山	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1				NHK総合鳥取	3	3	NHK教育鳥取	4	4			
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30												
	浜田	0855				NHK総合松江	2	2	日本海テレビ	54	54				山陰放送	5	5
岡山	岡山	086	OHKテレビ	35	35	テレビせとうち	23	23	NHK教育岡山	3	3				NHK総合岡山	5	5
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31				NHK総合広島	3	3	中国放送	4	4			
	福山	084	テレビ新広島	54	54				NHK教育広島	3	3				NHK総合広島	5	5
山口	山口	083	NHK教育山口	1	1	KBCテレビ	2	2	TVQ九州放送	23	23	山口朝日放送	28	28	大分放送	5	5
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	テレビ大阪	19	19	NHK総合徳島	3	3	毎日放送	4	4	テレビ和歌山	55	55
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19				NHK教育高松	39	39	毎日放送	4	4	NHK総合高松	37	37
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	NHK教育松山	2	2	広島テレビ	12	12	広島ホーム	35	35	テレビ新広島	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	NHK総合松山	2	2	広島テレビ	12	12	NHK教育松山	4	4	テレビ新広島	31	31
高知	高知	0888										NHK総合高知	4	4			
福岡	福岡	092	KBCテレビ	1	1	サガテレビ	36	36	NHK総合福岡	3	3	RKB毎日放送	4	4	TVQ九州放送	19	19
	北九州	093				KBCテレビ	2	2	FBSテレビ	35	35	サガテレビ	36	36	TVQ九州放送	23	23
佐賀	佐賀	0952	KBCテレビ	57	57	NHK教育佐賀	40	40	FBSテレビ	52	52	サガテレビ	36	36	TVQ九州放送	14	14
長崎	長崎	095	NHK教育長崎	1	1	KBCテレビ	57	57	NHK総合長崎	3	3	RKB毎日放送	4	4	長崎放送	5	5
熊本	熊本	096	KBCテレビ	1	1	NHK教育熊本	2	2	熊本朝日放送	16	16	KKTテレビ	22	22	長崎放送	5	5
大分	大分	097	KBCテレビ	1	1				NHK総合大分	3	3	RKB毎日放送	4	4	大分放送	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1				テレビ宮崎	35	35						
	延岡	0982				NHK教育宮崎	2	2				NHK総合宮崎	4	4			
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	テレビ熊本	34	34	NHK総合鹿児島	3	3	テレビ宮崎	35	35	NHK教育鹿児島	5	5
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	テレビ熊本	34	34				鹿児島放送	23	23			
沖縄	那覇	098	琉球朝日放送	28	28	NHK総合沖縄	2	2									

(VHF/UHF)

- 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの**[1]～[12]**を押すだけで選ぶことができます。
- **白抜き文字** の放送局はホスト局(番組表データの送信局)です。これらの放送局がいずれも受信できない地域では、番組表(テレビ番組ガイド)は使用できません。

Po(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)

Po 6			Po 7			Po 8			Po 9			Po 10			Po 11			Po 12		
放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示	放送局名	CH	表示
						UHBテレビ	27	27				HTBテレビ	35	35				NHK教育札幌	12	12
			STVテレビ	7	7	UHBテレビ	37	37	NHK総合札幌	9	9	HTBテレビ	39	39	**HBCテレビ**	11	11			
			STVテレビ	7	7	UHBテレビ	59	59	NHK総合札幌	9	9	HTBテレビ	61	61	**HBCテレビ**	53	53			
HBCテレビ	6	6				UHBテレビ	32	32				STVテレビ	10	10				NHK教育札幌	12	12
			STVテレビ	7	7	UHBテレビ	41	41	NHK総合札幌	9	9	HTBテレビ	39	39	**HBCテレビ**	11	11			
HBCテレビ	6	6										NHK教育札幌	10	10				STVテレビ	12	12
						UHBテレビ	27	27				青森朝日放送	34	34	HTBテレビ	35	35	**青森テレビ**	38	38
			NHK教育青森	7	7				NHK総合青森	9	9				青森放送	11	11	**青森テレビ**	33	33
IBCテレビ	6	6	ミヤギテレビ	34	34	NHK教育盛岡	8	8				東日本放送	32	32				仙台放送	12	12
			東日本放送	32	32				ミヤギテレビ	34	34							仙台放送	12	12
									NHK総合秋田	9	9				秋田放送	11	11	**秋田テレビ**	37	37
秋田放送	6	6				NHK教育秋田	8	8										**秋田テレビ**	57	57
テレビユー 山形	36	36				NHK総合山形	8	8				山形放送	10	10				山形テレビ	38	38
NHK教育山形	6	6				**テレビユー 山形**	22	22										山形テレビ	39	39
福島中央テレビ	33	33	東日本放送	32	32	ミヤギテレビ	34	34	NHK総合福島	9	9	福島放送	35	35	福島テレビ	11	11	仙台放送	12	12
福島テレビ	6	6	東日本放送	32	32	福島中央テレビ	37	37	ミヤギテレビ	34	34	福島放送	41	41				仙台放送	12	12
福島中央テレビ	34	34				福島テレビ	8	8				NHK教育福島	10	10				福島放送	36	36
TBSテレビ	40	6				フジテレビ	38	8	千葉テレビ	39	46	テレビ朝日	36	10				テレビ東京	32	12
TBSテレビ	23	6				フジテレビ	21	8				テレビ朝日	19	10				テレビ東京	17	12
TBSテレビ	56	6	放送大学	40	16	フジテレビ	58	8	テレビ埼玉	38	38	テレビ朝日	60	10				テレビ東京	62	12
TBSテレビ	6	6	テレビ埼玉	38	38	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	群馬テレビ	48	48	テレビ東京	12	12
TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
						NHK総合新潟	8	8				新潟総合テレビ	35	35				NHK教育新潟	12	12
チューリップ	32	32										NHK教育富山	10	10				富山テレビ	34	34
MROテレビ	6	6	北陸朝日放送	25	25	NHK教育金沢	8	8				テレビ金沢	33	33				石川テレビ	37	37
MROテレビ	6	6							NHK総合福井	9	9				福井放送	11	11	**福井テレビ**	39	39
テレビ山梨	37	37	**TBSテレビ**	6	6	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
テレビ信州	30	30							NHK教育長野	9	9	長野放送	38	38	**信越放送**	11	11			
信越放送	6	6				テレビ信州	42	42				長野放送	40	40						
テレビ愛知	25	25	岐阜テレビ	37	37	三重テレビ	33	33	NHK教育名古屋	9	9				メ～テレ	11	11	中京テレビ	35	35
静岡朝日テレビ	33	33							NHK総合静岡	9	9				**SBSテレビ**	11	11	テレビ静岡	35	35
SBSテレビ	6	6	テレビ愛知	25	25	NHK教育静岡	8	8				静岡朝日テレビ	28	28				テレビ静岡	34	34
岐阜テレビ	37	37	中京テレビ	35	35	三重テレビ	33	33	NHK教育名古屋	9	9				メ～テレ	11	11	テレビ愛知	25	25
ABCテレビ	6	6	三重テレビ	33	33	関西テレビ	8	8	NHK教育名古屋	9	9	読売テレビ	10	10	メ～テレ	11	11	中京テレビ	35	35
ABCテレビ	38	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	40	8	びわ湖放送	30	30	読売テレビ	42	10				NHK教育大阪	46	46
ABCテレビ	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育大阪	12	12
ABCテレビ	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育大阪	12	12
ABCテレビ	20	6				関西テレビ	22	8				読売テレビ	24	10				NHK教育大阪	26	12
ABCテレビ	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10	奈良テレビ	55	55	NHK教育大阪	12	12
ABCテレビ	44	6				関西テレビ	46	8				読売テレビ	48	10				NHK教育大阪	26	12
												山陰放送	22	22				山陰中央テレビ	24	24
NHK総合松江	6	6				山陰中央テレビ	34	34				**山陰放送**	10	10				NHK教育松江	12	12
						山陰中央テレビ	58	58	NHK教育松江	9	9									
			瀬戸内海放送	25	25				西日本放送	9	9				**山陽放送**	11	11			
			NHK教育広島	7	7				広島ホーム	35	35							広島テレビ	12	12
			中国放送	7	7				広島ホーム	57	57				広島テレビ	11	11			
			テレビ山口	38	38	**RKB毎日放送**	8	8	NHK総合山口	9	9	テレビ西日本	10	10	山口放送	11	11	FBSテレビ	35	35
ABCテレビ	6	6	サンテレビ	36	36	関西テレビ	8	8				読売テレビ	10	10				NHK教育徳島	38	12
ABCテレビ	6	6	瀬戸内海放送	33	33	関西テレビ	8	8	西日本放送	9	9	読売テレビ	10	10	**山陽放送**	29	29	OHKテレビ	31	31
NHK総合松山	6	6	愛媛朝日テレビ	25	25	**あいテレビ**	29	29	西日本放送	9	9	南海放送	10	10	**山陽放送**	11	11	愛媛放送	37	37
南海放送	6	6	瀬戸内海放送	33	33	**あいテレビ**	27	27	西日本放送	9	9	愛媛朝日テレビ	14	14	**山陽放送**	11	11	愛媛放送	36	36
NHK教育高知	6	6				高知放送	8	8				**テレビ高知**	38	38	高知さんさん	40	40			
NHK教育福岡	6	6							テレビ西日本	9	9				**RKKテレビ**	11	11	FBSテレビ	37	37
NHK総合福岡	6	6				**RKB毎日放送**	8	8				テレビ西日本	10	10	**RKKテレビ**	11	11	NHK教育福岡	12	12
テレビ熊本	34	34	**長崎放送**	5	5	**RKB毎日放送**	48	48	NHK総合佐賀	38	38	テレビ西日本	60	60	**RKKテレビ**	11	11	テレビ長崎	37	37
テレビ熊本	34	34	長崎国際テレビ	25	25	テレビ西日本	9	9	長崎文化放送	27	27	**RKKテレビ**	11	11	テレビ長崎	37	37	KKTテレビ	22	22
テレビ熊本	34	34	テレビ長崎	37	37	サガテレビ	36	36	NHK総合熊本	9	9	TVQ九州放送	19	19	**RKKテレビ**	11	11	**RKB毎日放送**	4	4
南海放送	10	10	テレビ大分	36	36	FBSテレビ	37	37	大分朝日放送	24	24	TVQ九州放送	19	19	テレビ西日本	9	9	NHK教育大分	12	12
			鹿児島放送	32	32	NHK総合宮崎	8	8	鹿児島テレビ	38	38	**宮崎放送**	10	10				NHK教育宮崎	12	12
宮崎放送	6	6				テレビ宮崎	39	39												
宮崎放送	10	10	鹿児島放送	32	32	KKTテレビ	22	22	鹿児島テレビ	38	38	熊本朝日放送	16	16	鹿児島読売	30	30			
鹿児島テレビ	35	35	KKTテレビ	22	22	NHK総合鹿児島	8	8	熊本朝日放送	16	16	**南日本放送**	10	10	**RKKテレビ**	11	11	NHK教育鹿児島	12	12
						沖縄テレビ	8	8				**琉球放送**	10	10				NHK教育沖縄	12	12

Gガイド地域・ホスト局一覧

表の見かた

Gガイド地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路
対応放送局	**HBCテレビ**
	NHK総合札幌
	STVテレビ
	UHBテレビ
	HTBテレビ
	TV北海道
	NHK教育札幌

- Gガイド地域：お住まいの地域
- **HBCテレビ**（網掛け）：ホスト局（番組表データの送信局）
- 対応放送局：設定したGガイド地域で番組表に放送内容が表示される放送局

- ホスト局がいずれも受信できない地域では、番組表は使用できません。
- ホスト局を変更したり、同一ホスト局以外の地域にGガイド地域を変更すると、それまでの番組表データは消え、次のデータを受信するまで表示されません。

（2004年8月現在）

Gガイド地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路	帯広、網走、北見	青森、八戸、むつ	盛岡、釜石、二戸	仙台、石巻、気仙沼	秋田、大館、大曲	山形、鶴岡、米沢	福島、いわき、会津若松	水戸、日立
対応放送局	**HBCテレビ**	UHBテレビ	青森放送	NHK総合盛岡	**東北放送**	NHK教育秋田	NHK教育山形	NHK教育福島	NHK総合東京
	NHK総合札幌	NHK総合札幌	NHK総合青森	**IBCテレビ**	NHK総合仙台	秋田朝日放送	**テレビユー山形**	**テレビユー福島**	NHK教育東京
	STVテレビ	**HBCテレビ**	青森朝日放送	NHK教育盛岡	NHK教育仙台	NHK総合秋田	NHK総合山形	福島中央テレビ	日本テレビ
	UHBテレビ	HTBテレビ	NHK教育青森	テレビ岩手	東日本放送	秋田放送	山形放送	NHK総合福島	**TBSテレビ**
	HTBテレビ	STVテレビ	**青森テレビ**	IATテレビ	ミヤギテレビ	**秋田テレビ**	さくらんぼ	福島放送	フジテレビ
	TV北海道	NHK教育札幌		めんこいテレビ	仙台放送		山形テレビ	福島テレビ	テレビ朝日
	NHK教育札幌								テレビ東京
									MXテレビ
									千葉テレビ

Gガイド地域	宇都宮、矢板	前橋、桐生	さいたま	熊谷、秩父	千葉	銚子	東京23区、八王子、多摩	横浜1、横浜2、平塚、秦野、小田原	甲府
対応放送局	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合甲府
	NHK教育東京	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	NHK教育甲府
	日本テレビ	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	山梨放送
	TBSテレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	**テレビ山梨**
	フジテレビ	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	
	テレビ朝日	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	
	テレビ東京	群馬テレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	千葉テレビ	フジテレビ	TVKテレビ	
	とちぎテレビ	テレビ東京	テレビ埼玉	テレビ東京	千葉テレビ	テレビ東京	TVKテレビ	テレビ東京	
	MXテレビ	MXテレビ	テレビ東京		テレビ東京	TVKテレビ	テレビ朝日	MXテレビ	
		テレビ埼玉			TVKテレビ		千葉テレビ		
							テレビ東京		

Gガイド地域	長野1、長野2、松本、飯田、岡谷・諏訪	新潟、上越	富山、高岡	金沢、七尾	福井、敦賀	岐阜、高山、中津川、名古屋、豊橋、豊田	静岡、浜松、富士、三島・沼津、島田、藤枝	津、伊勢、名張	大津、彦根
対応放送局	NHK総合長野	新潟テレビ21	北日本放送	石川テレビ	NHK教育福井	東海テレビ	NHK教育静岡	東海テレビ	NHK総合大阪
	長野朝日放送	テレビ新潟	NHK総合富山	NHK総合金沢	NHK総合福井	NHK総合名古屋	静岡第一テレビ	NHK総合名古屋	**毎日放送**
	テレビ信州	**新潟放送**	富山テレビ	**MROテレビ**	福井放送	**CBCテレビ**	静岡朝日テレビ	**CBCテレビ**	**ABCテレビ**
	長野放送	NHK総合新潟	NHK教育富山	NHK教育金沢	**福井テレビ**	中京テレビ	テレビ静岡	中京テレビ	京都テレビ
	NHK教育長野	新潟総合テレビ	**チューリップ**	テレビ金沢		NHK教育名古屋	NHK総合静岡	NHK教育名古屋	関西テレビ
	信越放送	NHK教育新潟		北陸朝日放送		岐阜テレビ	**SBSテレビ**	三重テレビ	読売テレビ
						メ～テレ		メ～テレ	びわ湖放送
						テレビ愛知		テレビ愛知	NHK教育大阪
						三重テレビ			

Gガイド地域	京都、舞鶴、福知山、大阪	神戸、神戸灘、川西、三木、姫路、明石	奈良、五條	和歌山、海南・田辺	鳥取	松江、浜田	岡山、津山、笠岡	広島、福山、尾道、呉	山口、下関、宇部、岩国
対応放送局	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	日本海テレビ	日本海テレビ	テレビせとうち	テレビ新広島	NHK教育山口
	京都テレビ	サンテレビ	奈良テレビ	テレビ和歌山	NHK総合鳥取	NHK総合松江	NHK教育岡山	NHK総合広島	山口朝日放送
	毎日放送	**毎日放送**	**毎日放送**	**毎日放送**	NHK教育鳥取	NHK教育松江	NHK総合岡山	**中国放送**	**テレビ山口**
	テレビ大阪	**ABCテレビ**	テレビ大阪	**ABCテレビ**	山陰中央テレビ	山陰中央テレビ	瀬戸内海放送	NHK教育広島	NHK総合山口
	ABCテレビ	関西テレビ	**ABCテレビ**	関西テレビ	**山陰放送**	**山陰放送**	OHKテレビ	広島ホーム	山口放送
	関西テレビ	読売テレビ	関西テレビ	読売テレビ			西日本放送	広島テレビ	
	読売テレビ	テレビ大阪	サンテレビ	NHK教育大阪			**山陽放送**		
	NHK教育大阪	NHK教育大阪	読売テレビ						
	サンテレビ		NHK教育大阪						
			京都テレビ						

Gガイド地域	徳島	高松、丸亀	松山、新居浜、今治、宇和島	高知	福岡、久留米、大牟田、北九州、行橋	佐賀（1）（ホスト局が「RKB毎日放送」の場合）	佐賀（2）（ホスト局が「RKKテレビ」の場合）	長崎、佐世保、諫早	熊本
対応放送局	四国放送	テレビせとうち	NHK教育松山	NHK総合高知	KBCテレビ	NHK教育佐賀	NHK教育佐賀	NHK教育長崎	NHK教育熊本
	NHK総合徳島	NHK教育高松	**あいテレビ**	NHK教育高知	NHK総合福岡	KBCテレビ	KBCテレビ	NHK総合長崎	熊本朝日放送
	毎日放送	NHK総合高松	NHK総合松山	高知放送	**RKB毎日放送**	**RKB毎日放送**	TVQ九州放送	**長崎放送**	KKTテレビ
	ABCテレビ	瀬戸内海放送	愛媛放送	**テレビ高知**	NHK教育福岡	TVQ九州放送	サガテレビ	長崎国際テレビ	テレビ熊本
	関西テレビ	OHKテレビ	愛媛朝日テレビ	高知さんさん	テレビ西日本	サガテレビ	NHK総合佐賀	長崎文化放送	NHK総合熊本
	NHK教育徳島	西日本放送	南海放送		TVQ九州放送	NHK総合佐賀	FBSテレビ	テレビ長崎	**RKKテレビ**
		山陽放送			FBSテレビ	FBSテレビ	**RKKテレビ**		

Gガイド地域	大分、中津	宮崎、延岡	鹿児島、阿久根、鹿屋	沖縄
対応放送局	NHK総合大分	テレビ宮崎	南日本放送	NHK総合沖縄
	大分放送	NHK総合宮崎	NHK総合鹿児島	琉球朝日放送
	テレビ大分	宮崎放送	NHK教育鹿児島	沖縄テレビ
	大分朝日放送	NHK教育宮崎	鹿児島放送	琉球放送
	NHK教育大分		鹿児島テレビ	NHK教育沖縄
			鹿児島読売	

放送局コード一覧

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	0290
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	0287
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	0289
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	0545
	テレビユー福島	0543

地区	放送局名	放送局コード
福島	福島テレビ	0523
関東	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
	テレビ埼玉	0806
	千葉テレビ	0302
	TVKテレビ	0298
	群馬テレビ	0304
	とちぎテレビ	0535
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	1059
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0277
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	長野朝日放送	0532
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906
	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	SBSテレビ	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	1057
	静岡第一テレビ	0799
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029

地区	放送局名	放送局コード
中部	メ～テレ	1547
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
	岐阜テレビ	1061
	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	0544
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	0281
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
	京都テレビ	1058
	サンテレビ	0548
	奈良テレビ	0311
	テレビ和歌山	1054
	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	0279
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772

地区	放送局名	放送局コード
広島	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	1055
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	1314
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	0284
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	愛媛放送	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531

地区	放送局名	放送局コード
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	0528
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

番組表データ送信時刻

（2004年8月現在）

ホスト局	データ送信時刻
HBCテレビ	0:30, 7:05, 11:05, 15:05, 17:05
秋田テレビ、東北放送、中国放送、大分放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:05
新潟放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:35
TBSテレビ	0:30, 5:05, 11:05, 14:30, 18:30
CBCテレビ	0:30, 5:35, 11:05, 14:35, 17:00
毎日放送	1:45, 6:05, 11:05, 14:35, 17:35
ABCテレビ	0:45, 5:45, 10:45, 14:45, 18:45
山陽放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:00
RKB毎日放送	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:00
その他	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:05

- **データを受信するには、送信時刻の10分以上前に本機の電源を「切」にしてください。**
- 1回の受信には数十分かかります。(受信中は、表示窓に“ EPG ”が表示されます。“ EPG ”表示中に電源を入れた場合は、データを受信できません)
- いったん番組表データを受信した後は、1日数回のデータ送信時刻に本機の電源が「切」であれば自動的に新しいデータを受信し、番組表の内容を更新します。(“ EPG ”表示中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、それまでの内容が残ります。ただし、本機の電源が「切」状態でも、VHS側だけで予約録画が実行中の場合は、データの受信ができます。HDD/DVD側が予約録画実行中の場合は、データの受信ができません)
- 送信時刻や回数は変更されることがあります。最新の送信時刻については、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。

http://www.ipg.co.jp/

別売品のご紹介

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。

- ★印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番は2004年8月現在のものです。

映像・音声コード(ステレオ⟷ステレオ)

品　番

- RP-CVP3G05(0.5 m)
- RP-CVP3G10(1.0 m)
- RP-CVP3G15(1.5 m)
- RP-CVP3G20(2.0 m)
- RP-CVP3G30(3.0 m)

映像・音声コード(ステレオ⟷モノラル)

品　番

- RP-CVP2G10(1.0 m)
- RP-CVP2G20(2.0 m)
- RP-CVP2G30(3.0 m)

音声コード(ステレオ⟷ステレオ)

品　番

- RP-CAP3G05(0.5 m)
- RP-CAP3G10(1.0 m)
- RP-CAP3G15(1.5 m)
- RP-CAP3G20(2.0 m)
- RP-CAP3G30(3.0 m)

S映像コード

品　番

- RP-CVS0G10(1.0 m)
- RP-CVS0G20(2.0 m)
- RP-CVS0G30(3.0 m)

D端子ピンケーブル

品　番

- RP-CVCDG15(1.5 m)
- RP-CVCDG30(3.0 m)

D端子ケーブル

品　番

- RP-CVDG15A(1.5 m)
- RP-CVDG30A(3.0 m)

光デジタルケーブル(光角形プラグ⟷光角形プラグ)

品　番

- RP-CA2005A(0.5 m)
- RP-CA2010A(1.0 m)
- RP-CA2020A(2.0 m)
- RP-CA2030A(3.0 m)

ブロードバンドレシーバー

品　番

- DY-NET2

カセットアダプター

品　番

- VW-TCA7

75Ω同軸ケーブル ★

品　番

- VJA1091(1.4 m)

75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用) ★

品　番

- VSQ1035

アンテナプラグ ★

品　番

- VUA7050

ビデオヘッドクリーナー ★

品　番

- VFK0923FM(乾式、使用回数180回)
- VFK0923FS(乾式、使用回数30回)

クリーニングクロス ★

品　番

- VUA7091(5枚入り)

DVD-RAM/PDレンズクリーナー ★

品　番

- JZSLFK123LC1

DVD-RAM/PDディスククリーナー ★

品　番

- RFKZ0093

DVD-RAM/PDディスククリーナー

品　番

- LF-K200DCJ1

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±10 %
消費電力　動作時 ：約39 W
待機時 ：時刻表示点灯時・約4.0 W、時刻表示消灯時・約1.0 W

HDD/DVD部

■記録可能ディスク
DVD-RAM 12 cm (4.7 GB/9.4 GB)
DVD-RAM 8 cm (2.8 GB)
DVD-RAM 12 cm (4.7 GB Ver.2.1/ 3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0)
DVD-R 12 cm (4.7 GB for General Ver.2.0)
DVD-R 8 cm (1.4 GB for General Ver.2.0)
DVD-R 12 cm (4.7 GB for General Ver.2.0/ 4X-SPEED DVD-R Revision 1.0)

■記録方式
DVD-RAM ：DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R ：DVD ビデオ規格準拠

■記録時間
最大8時間(4.7 GBディスク使用時)
XP：約1時間　SP：約2時間
LP：約4時間　EP：約8(6)時間
最大284時間(内蔵HDD使用時)
XP：約36時間　SP：約70時間
LP：約138時間　EP：約284(212)時間

■再生可能ディスク
DVD-RAM、DVD-R、DVD-Audio、DVD-Video
音楽用CD(CD-DA)、ビデオCD(VCD)、
CD-R/RW(MP3、CD-DA、VCDフォーマットのディスク)

■ドライブ　高速対応ドライブ
(DVD-R 4倍速、DVD-RAM 3倍速記録対応)

■内蔵HDD容量　160 GB

■映像方式
● **記録圧縮方式**　MPEG2(Hybrid VBR)
● **入力**(ピンジャック)　1.0 Vp-p　75 Ω
● **S映像入力**　Y入力: 1.0 Vp-p　75 Ω
C入力: 0.286 Vp-p　75 Ω
● **出力**(ピンジャック)　1.0 Vp-p　75 Ω
● **S映像出力**(DVD専用)　Y出力: 1.0 Vp-p　75 Ω
C出力: 0.286 Vp-p　75 Ω
● **D1/D2映像出力(525 P/525 I)**(DVD専用)　Y出力：1.0 Vp-p　75 Ω
PB/CB出力：0.7 Vp-p　75 Ω
PR/CR出力：0.7 Vp-p　75 Ω

■音声方式
● **記録圧縮方式**　Dolby Digital：2ch記録
リニアPCM(XPモードのみ切り換え可)：2ch記録
● **アナログ入力**(ピンジャック)
基準入力レベル：　309 mVrms
入力レベル：　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
入力インピーダンス：　22 kΩ
● **アナログ出力**(ピンジャック)
基準出力レベル：　309 mVrms
出力レベル：　FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB)
出力インピーダンス：1 kΩ、負荷インピーダンス：10 kΩ
● **デジタル出力**　光コネクター
(PCM、ドルビーデジタル、DTS対応)

VHS部

■録画方式　VHS規格
■テープ速度　標準 ：33.35 mm/秒
3倍 ：11.12 mm/秒
■使用カセット　VHSビデオカセット
■録画時間　最大9時間(T-180使用、3倍の場合)
■早送り・巻き戻し時間
約54秒(T-120使用の場合)
高速リターン時： 約36秒(T-120使用の場合)

■映像方式
● **入力**(ピンジャック)　1.0 Vp-p　75 Ω
● **S映像入力**　Y入力: 1.0 Vp-p　75 Ω
C入力: 0.286 Vp-p　75 Ω
● **出力**(ピンジャック)　1.0 Vp-p　75 Ω

■音声方式
● **入力**(ピンジャック)　309 mVrms
入力インピーダンス　22 kΩ
● **出力**(ピンジャック)　309 mVrms
出力インピーダンス　1 kΩ
負荷インピーダンス　10 kΩ
● **トラック数**
3トラック(ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック)

HDD/DVD/VHS共通部

■本体外形寸法
約幅 430 mm×高さ89 mm×奥行371 mm
■本体質量　約7.2 kg
■映像方式
テレビジョン方式
NTSC方式、525本、60フィールド
アンテナ受信入力
VHF：1～12チャンネル　75 Ω
UHF：13～62チャンネル　75 Ω
CATV：C13～C63チャンネル　75 Ω
■許容動作温度
5 ～ 40 ℃
■許容動作湿度
35 ～ 80 %(結露なきこと)
■時計部　クォーツ制御、24時間、デジタル表示

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDビデオレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?」**(➜116〜119)**に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」**(➜123)**が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	DVDビデオレコーダー
品番	DMR-E250V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

さくいん

HDD/DVDの操作

VHSの操作

共通操作・その他

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 **長年ご使用のDVDビデオレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか	● 再生しても映像や音声が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物が入った ● 時刻表示などに異常がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある	▶	このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-E250V
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT0L34
F0804Tj0 (10000 Ⓐ)